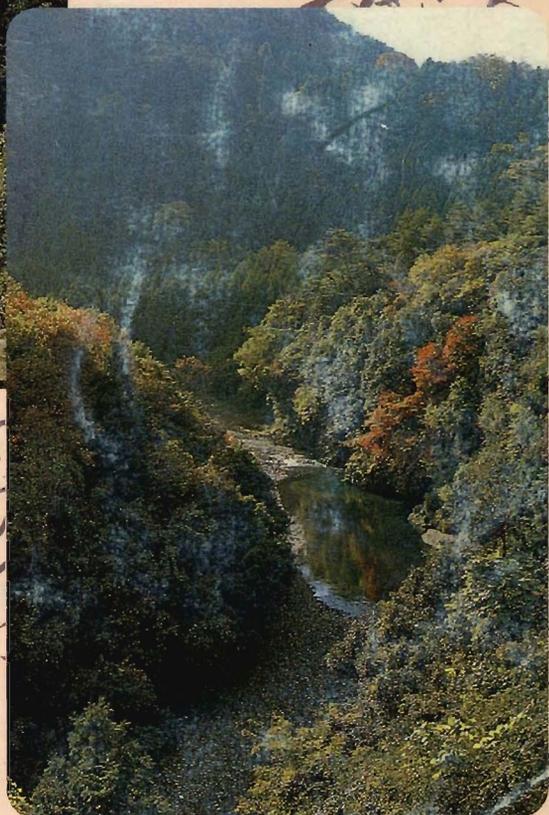
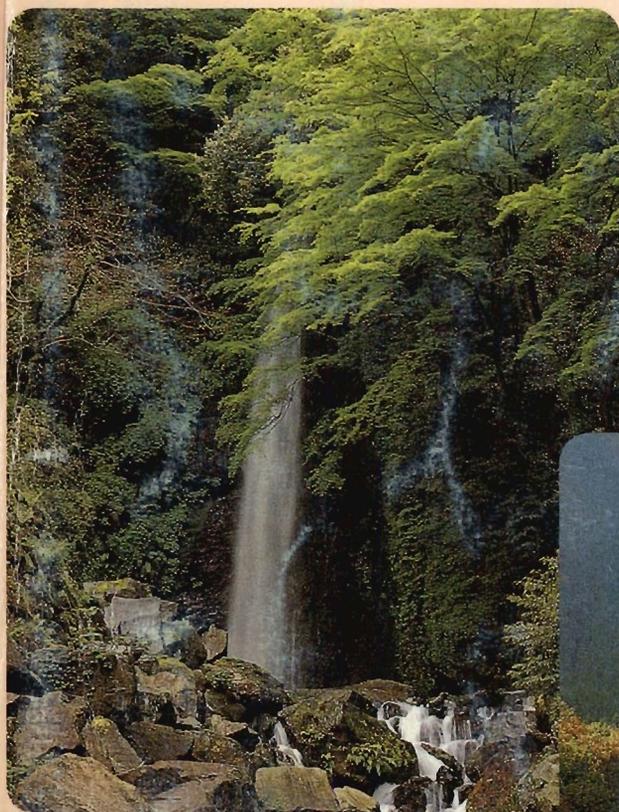


# ふるさとと養老



養老郡教育振興会学校教育部会

# ふるさと養老



養老郡教育振興会学校教育部会

# 発刊によせて

みなさんが住んでいる養老町は、孝子伝説が伝わり歴史が古く、豊かな緑と清らかな水にめぐまれた自然あふれるふるさとです。

わたしたちの祖先は、大昔から、この土地を切り開き、水とたたかいながら今日の養老町をきずいてきました。近ごろは、道路も整備され、新しい工場や住宅がたくさん作られめざましく発展してきました。これも、町の人々のたゆまぬ努力の結果といえます。

この本は養老町のようにすかくわしく書いてあり、きっとみなさんの学習に役立つと思います。ふるさとの心と文化を大切に、わたしたちの住む養老町をみんなの力で、明るく住みよい町にするよう勉強してほしいものです。

養老町長

清水敏郎



町の花 キク

わたしたちのまち上石津町は、美しい森林と清らかな流れに恵まれたところです。わたしたちの祖先は、この素晴らしい自然を生かし、豊かな実りをあげる努力を続けてきました。山では炭焼きや植林、平地では米づくり、茶づくりなどを進めてきました。

今でも多くの人々が、自然を生かした住みよい町づくりのありかたを考え、実行しています。たとえばトンネルや新しい道路づくり、音楽村づくり、下水道づくり、新しい住宅づくり、などです。

この本には上石津町のすがたがくわしくのせてあります。みなさんの学習に役立ててください。そして、わたしたちのまち上石津町を、ますます明るく、住みよい町にするよう勉強してください。

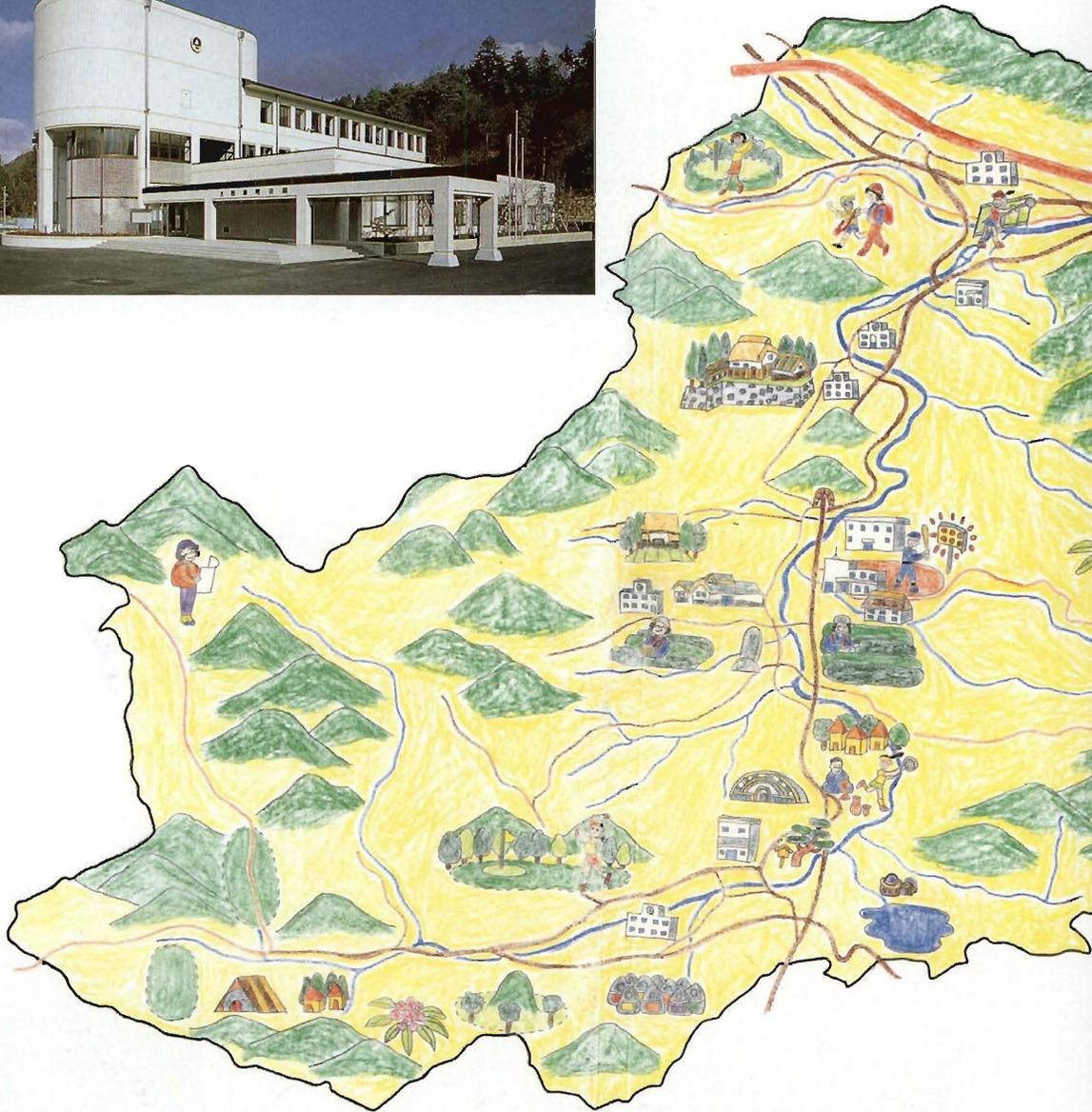
上石津町長

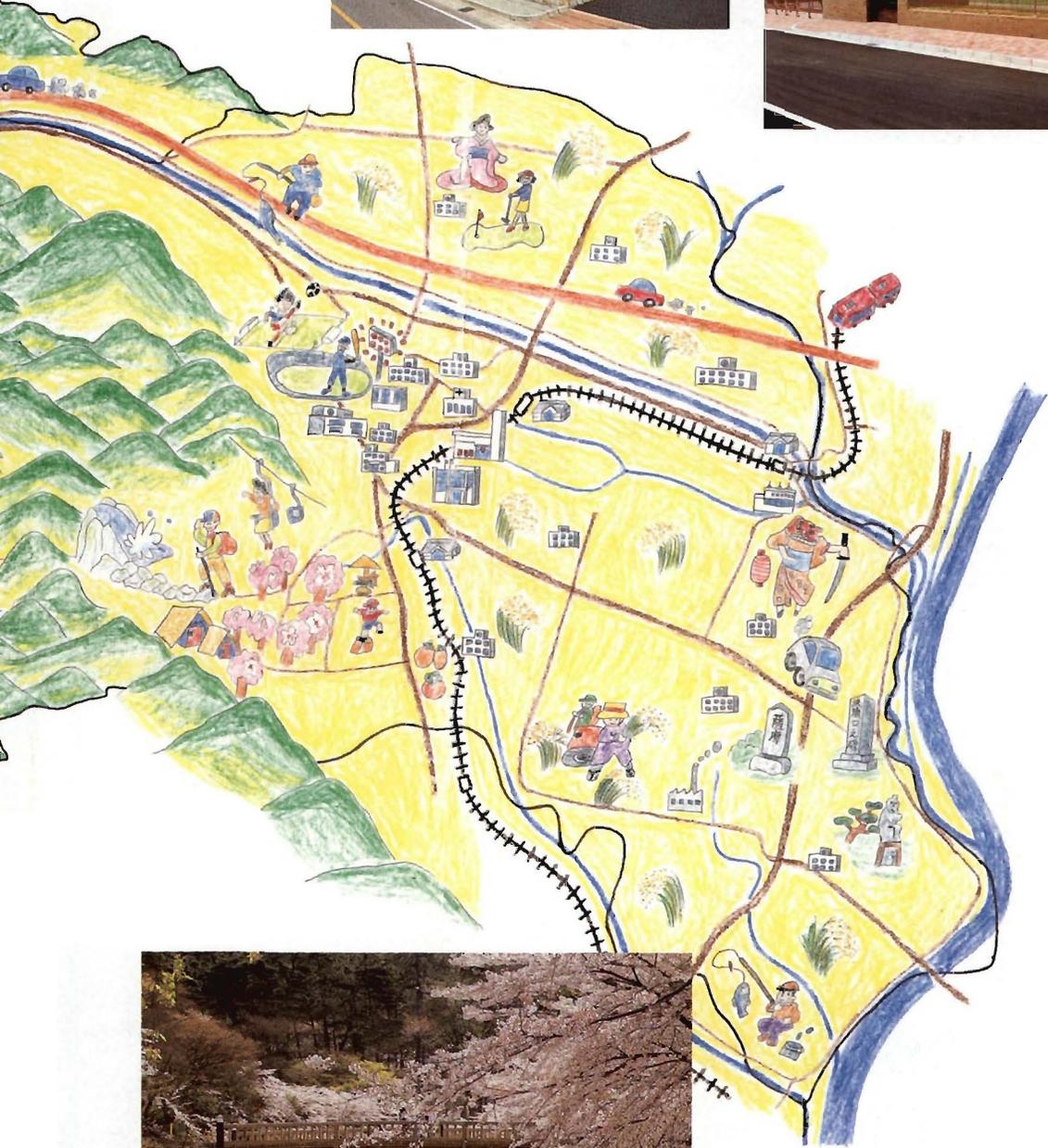
小川一善



町の花 シャクナゲ

# わたしたちのまち







①はなとみどりのまちづくり



②みんなの公民館



③スーパーマーケット



④店の集まっているところ



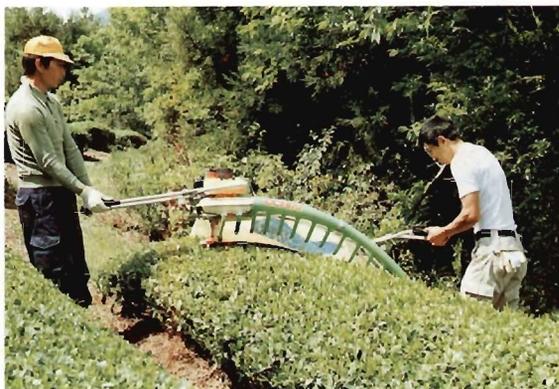
⑤米づくり



⑥工場で作っているもの



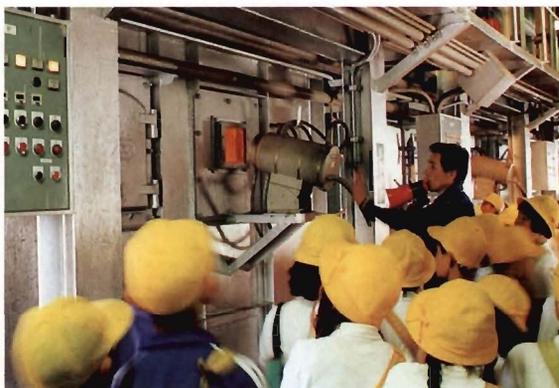
⑦ハウスさいばい



⑧お茶づくり



⑨郷土資料館



⑩ごみと住みよいくらし



⑪上水道のしせつ



⑫ごみのしょり工場



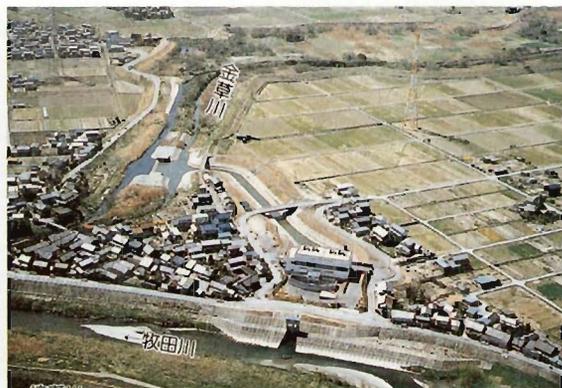
⑬けいさつのおじさん



⑭しょうぼうくんれん



⑮ため池



⑯はい水機場



⑰山地のくらし



⑱はい水機場

# ふるさと養老

養老町立養北小学校	
No. 7273	
77年4月7日	090
	3
	26

1. みんなでつくるまち

- (1)花とみどりのまちづくり……………1～4  
 (2)みんなの公<sup>こう</sup>みん館……………5～10

2. わたしたちのまちのようす

- 高く高くとんでみたら……………11・12  
 (1)学校のまわりのようす……………13～20  
 (2)各校<sup>がく</sup>下のようす……………21～42  
 (3)まち全体のようす……………43～55

3. くらしと商店がい

- 毎日のくらしと買いもの……………56  
 買いものようす……………57  
 (1)スーパーマーケット……………58～61  
 (2)近くのお店……………62～64  
 (3)店の集まっているところ……………65～71

4. わたしたちのくらしとものをつくるしごと

- しなものさがし……………72  
 スーパーマーケットにならぶとうふ……………73  
 (1)とうふ工場……………74～82  
 (2)自動車部品<sup>どうぶひん</sup>工場……………83～92  
 (3)まちの工場<sup>のうさくもつ</sup>でつくっているもの……………93～96  
 (4)農作物をそだてる  
 つくられている作物……………97～99  
 ① ハウスさいばい……………100～105  
 ② お茶づくり……………106～111

5. 変わ<sup>か</sup>ってきた人びとのくらし

- (1)道具<sup>どうぐ</sup>から昔<sup>むかし</sup>を調べる……………112～115  
 (2)くらしのうつり変わり……………116～121  
 (3)ちいきの古いものさがし……………122～124

1. 住 <small>す</small> みよいくらしをささえる	
(1)ごみと住 <small>す</small> みよいくらし	125~141
(2)くらしをささえる水	142~151
2. 安全なくらしを守る	
(1)交通じこ安全なまち	152~161
(2)火事をふせぐ	162~169
3. きょうどを開く	
(1)きょうどの発 <small>はっ</small> てんにつくした人びと	170
① ため池づくり	171~176
② こう水 <small>ちいさ</small> をふせぐ (宝曆治水)	177~187
(2)新しい地域づくり	
① 養老町	188~191
② 上石津町	192~195
4. いろいろな土地のくらし	
(1)山地のくらし	196~201
(2)低地のくらし	202~210

## 資 料

1. 町のうつりかわり年表	養老町	211・212
	上石津町	213・214
2. 町民憲章		215・216
3. 白地図		

# 1 みんなでつくるまち

わたしたちのまちには、たくさんの花だんがあります。

毎年、春と秋には美しい花がさき、わたしたちを楽しませてくれます。



⑤ 国道ぞいの花だん



⑥ 各地区ごとの花だん



⑦ 国道ぞいの花だん

## わたしもうえた、ぼくもうえた

わたしたちの地区花だんは子どもとおとなが  
いっしょになってせわをして育てています。

時地区の花だんづくりは、花のたねまきから  
はじめます。

## 1. 花とみどりの まちづくり



⑩パンジーのたねまき



⑪アキランサスのいしょく

地区花だんには、<sup>しき</sup>四季おりおりの花がいっぱい  
いさきます。

<sup>いけべ</sup>池辺地区では、春と秋の2回花だんコンク  
ールが行われます。

しんさいんは、公みん館長、区長会長、教育  
長さんや子ども会育成会長さん、PTAの役員  
さんなど大ぜいの人たちです。



④みごとにさいいた春花だん



⑤花のせつめいをする子ども



⑥しんさいのようす

## きれいなまちにしたいな

花いっぱいのもちにするために、道路ぞいにも花だんがつくられています。

国道ぞいにも美しい花がいっぱいさいています。役場やちいきの人々が協きょうりょく力し合って花いっぴいのまちづくりをすすめています。



① 休耕田を利用したコスモス畑



② 道路ぞいの花だん



③ 国道ぞいの花の手いれ

## 2. みんなの 公みん館

わたしたちの地区には、公みん館があり、いろいろな活動が行われています。

上多度公みん館では、大きな行事として8月にはぼんおどり大会、11月には文化祭が行われます。



かみたど  
①上多度公みん館



①町民運動会



①ぼんおどり大会

上多度公みん館をたずねました。かいだんを  
上がって白いたてもものに入ると、館長さんが出  
むかえてくださいました。



⑤ 館長さんのせつめいを聞く



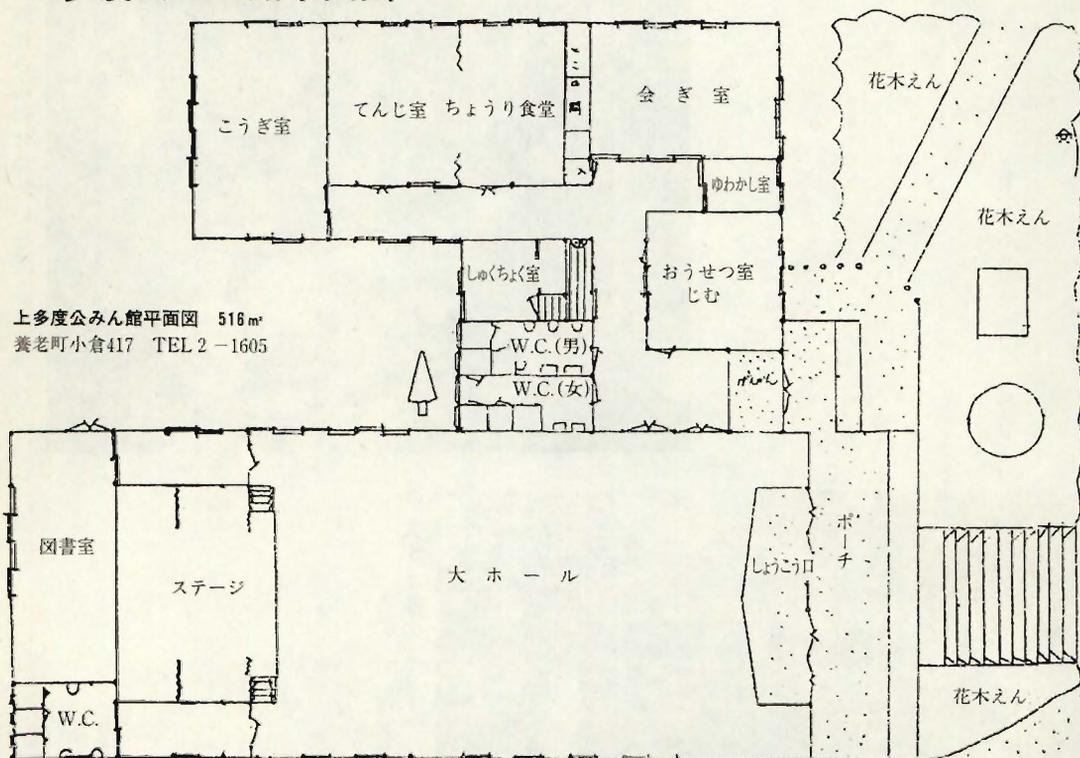
⑥ 大ホールのようす



⑦ ちようり教室のようす

館長さんに、公みん館の中を案内してもらいました。

### 上多度公みん館平面図



上多度公みん館平面図 516㎡  
 養老町小倉417 TEL 2-1605



①文化祭の作品てんじ



②会ぎ室



③てんじ室への入り口

公みん館は、子どもからお年よりまで利用し、  
いろいろな教室・こうぎや会議ぎが行われています。



㊦ 書道教室



㊧ 手話教室



㊨ 紙工作教室



公民館では、いろいろなもよおしがあります。

もっともっと気軽<sup>がる</sup>に利用していきたいです。



⑦ 生け花教室



⑧ 竹とんぼづくり

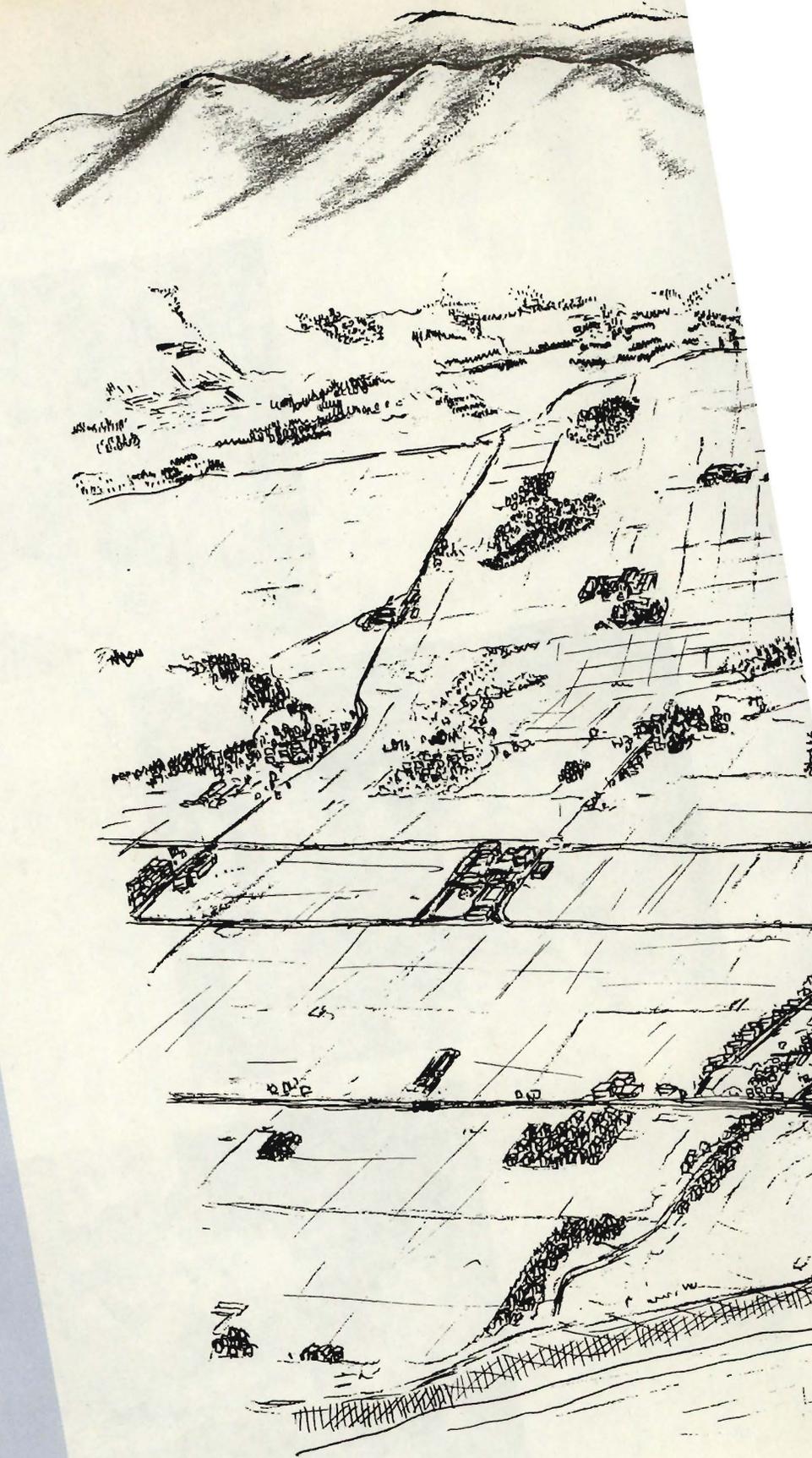


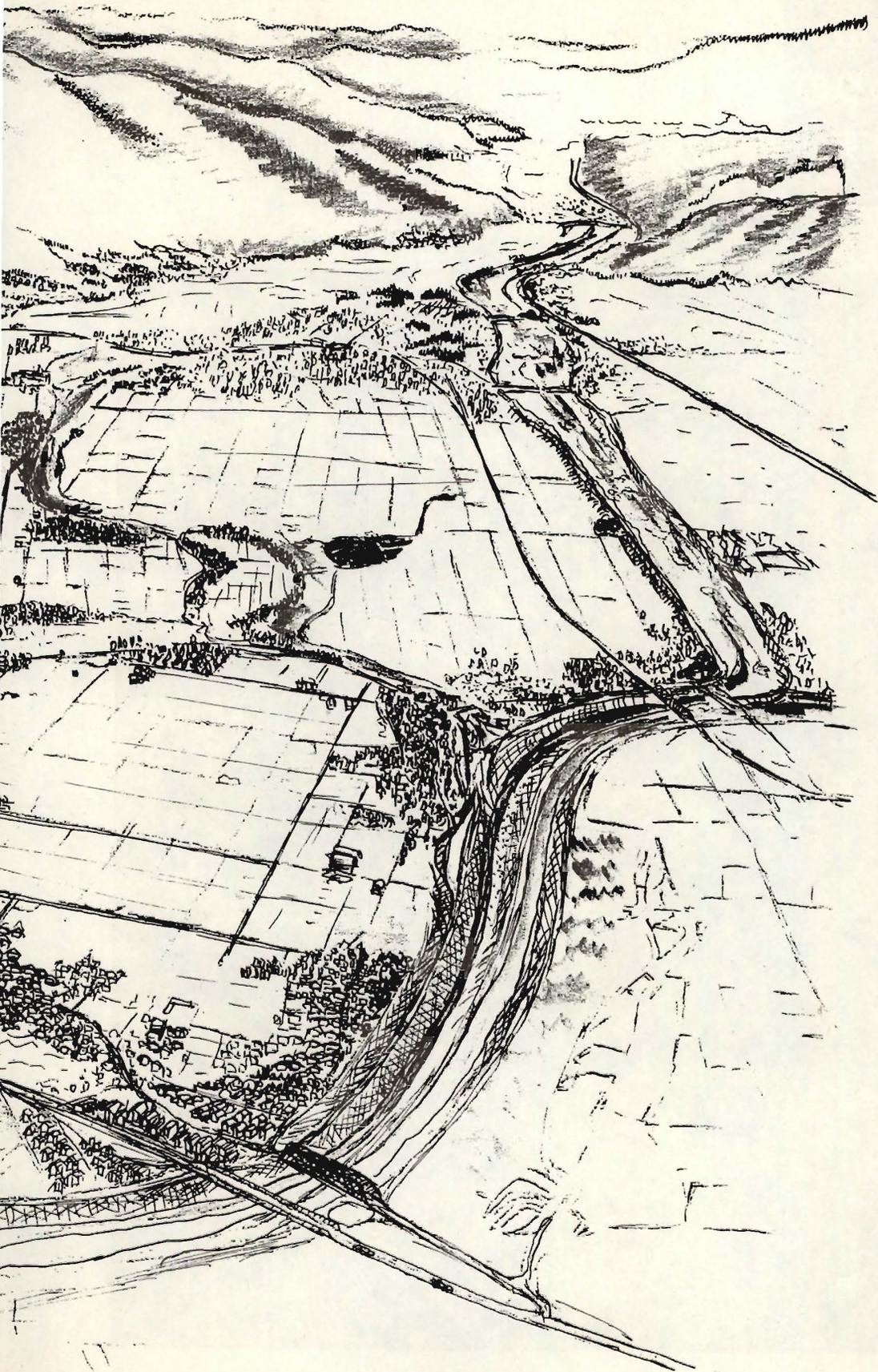
⑨ おやつづくり

2

# わたしたちのまちのようす

高く、高く  
とんでみたら





## 1. 学校の まわりの ようす

もつともつと近付<sup>づ</sup>いてみたら

養老小学校のまわりが見えました。知っている店や通ったことがある道が見つかりました。方角によってようすもだいぶちがうようです。



## 西へ歩いたら

学校から西へ歩くと、養老町中央公みん館、文化会館(町民会館)がありました。さらに進んでいくと田がまわりにありました。やがて、右手に大きな建物<sup>たてももの</sup>が見えてきました。そう合体育館です。野球のグラウンドもありました。その北がわには、住たくがびっしり<sup>た</sup>建ちならんでいました。



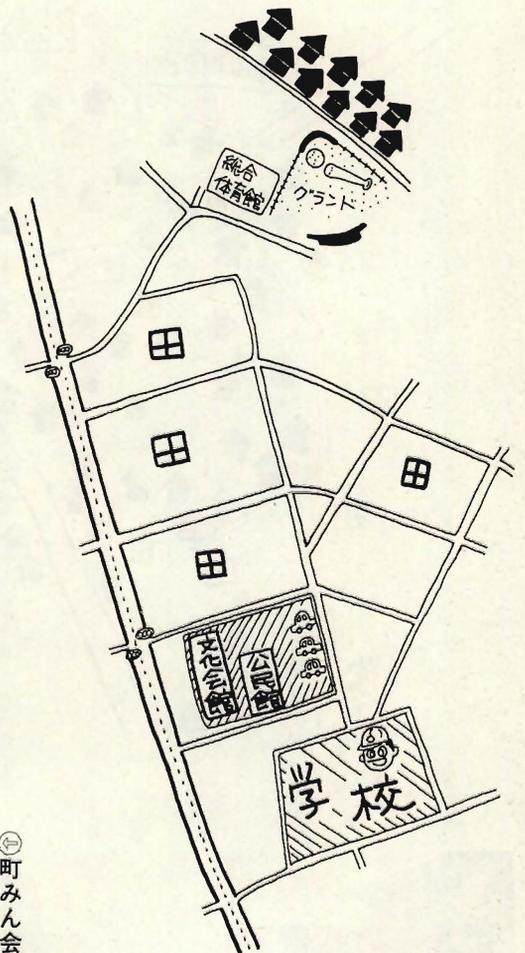
㊦ならんだ住たく



㊧そう合体育館

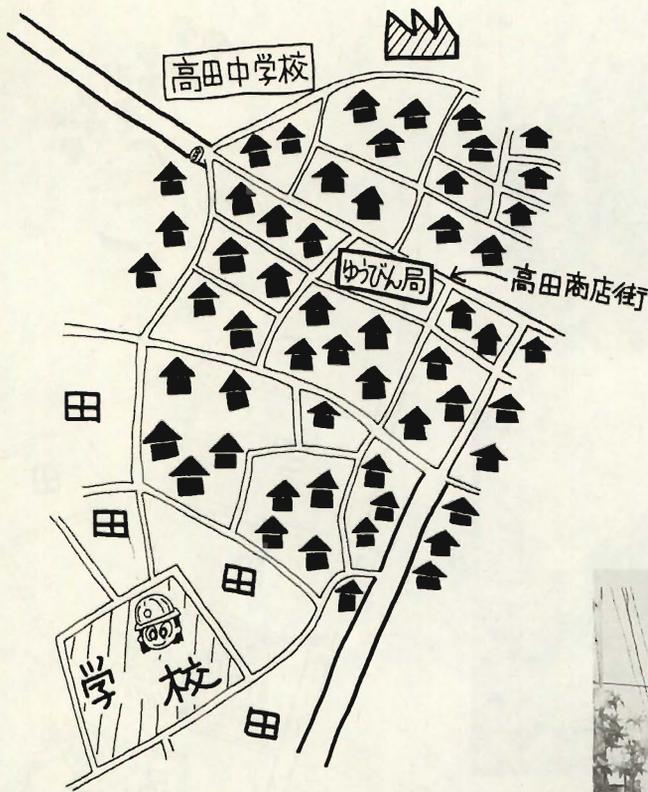


㊨町みん会館



## 北へ歩いたら

学校の前の細い道を北に行くと住たくがたくさんあつまっていました。やがて東西の広い道にでました。この道を歩いてみると、まわりには店がいっぱいならんでいました。<sup>たかだしょうてん</sup>高田商店街という看板がいくつもあって、<sup>がい</sup>買物<sup>かんばん</sup>をする<sup>もの</sup>人たちがにぎわっていました。



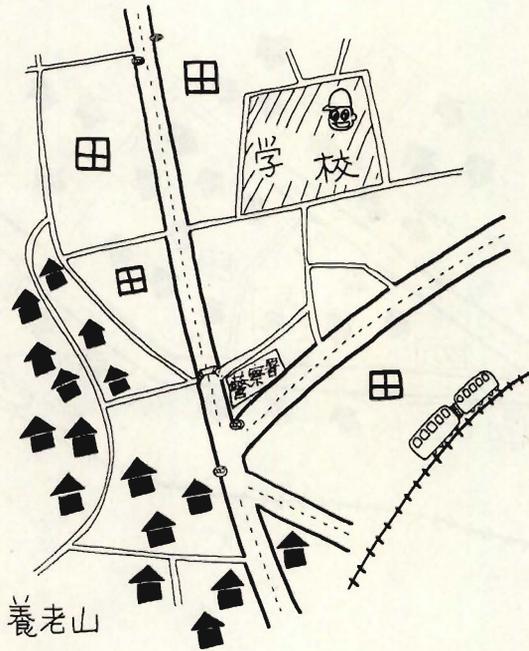
① 住たく街<sup>がい</sup>



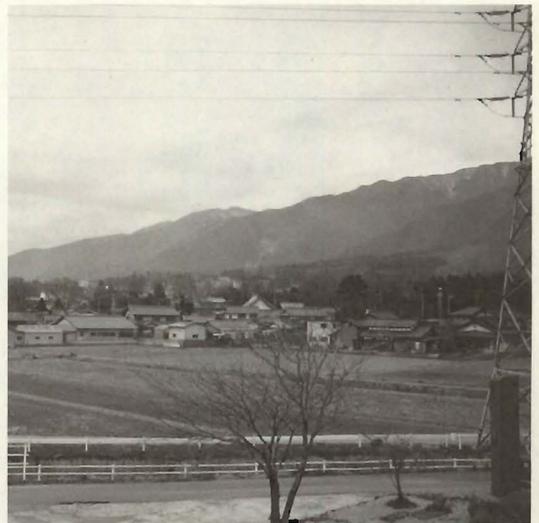
① 商店街<sup>しょうてんがい</sup>

## 南へ歩いたら

学校の体育館のうらの細い道を南に行くと田が広がっていました。やがて広い道に出ました。大型のトラックや乗用車がたがさかんじょうに通って行きました。道をわたって田のなかを歩いていくと、養老の山のふもとにつきました。ふもとには家がありました。



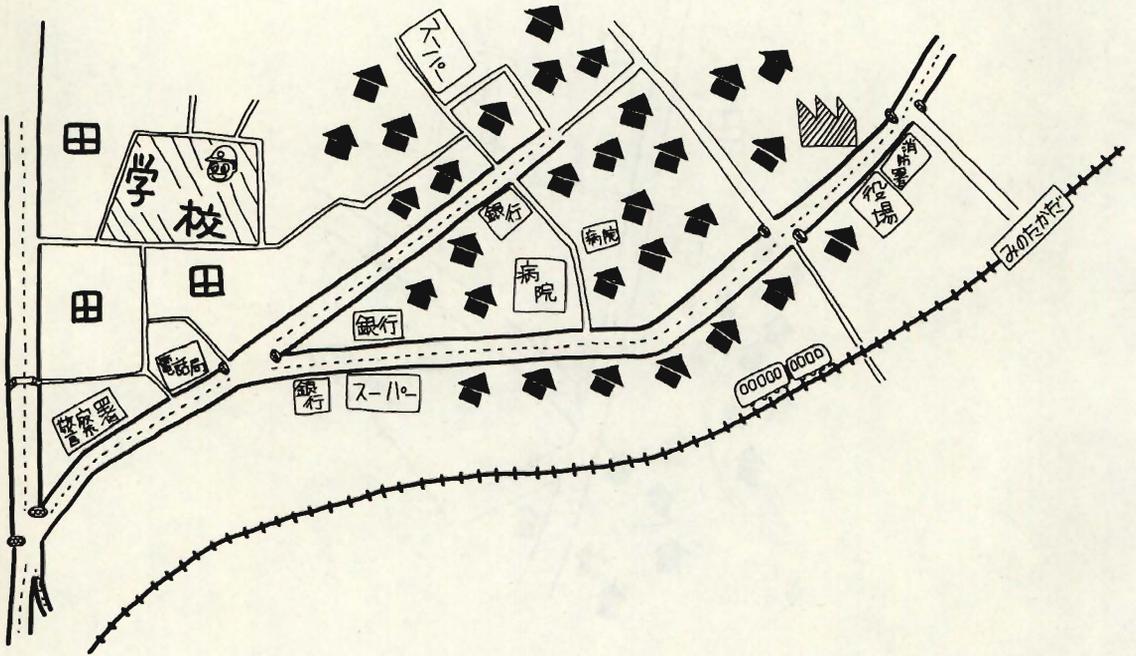
① 広い道



② 山のふもとの家

## 東へ歩いたら

学校から東へ歩いていくと、右手に養老けい  
 さつしょがありました。さらに行くとも南北に走  
 っている広い道にでました。そこをわたってい  
 くとも<sup>ぎんこう</sup>銀行やスーパーがありました。そばには近<sup>きん</sup>  
<sup>てつようろうせん</sup>鉄養老線が通っていました。さらに行くとも大き  
 な<sup>びょういん</sup>病院や<sup>やく</sup>役場や<sup>しょうぼうしょ</sup>消防署がありました。



① 養老けいさつしょ



② 養老<sup>やく</sup>町役場

## 絵地図をまとめる

東西南北の絵地図をつなげてみました。

わかったことやしらべたことも書き入れました。



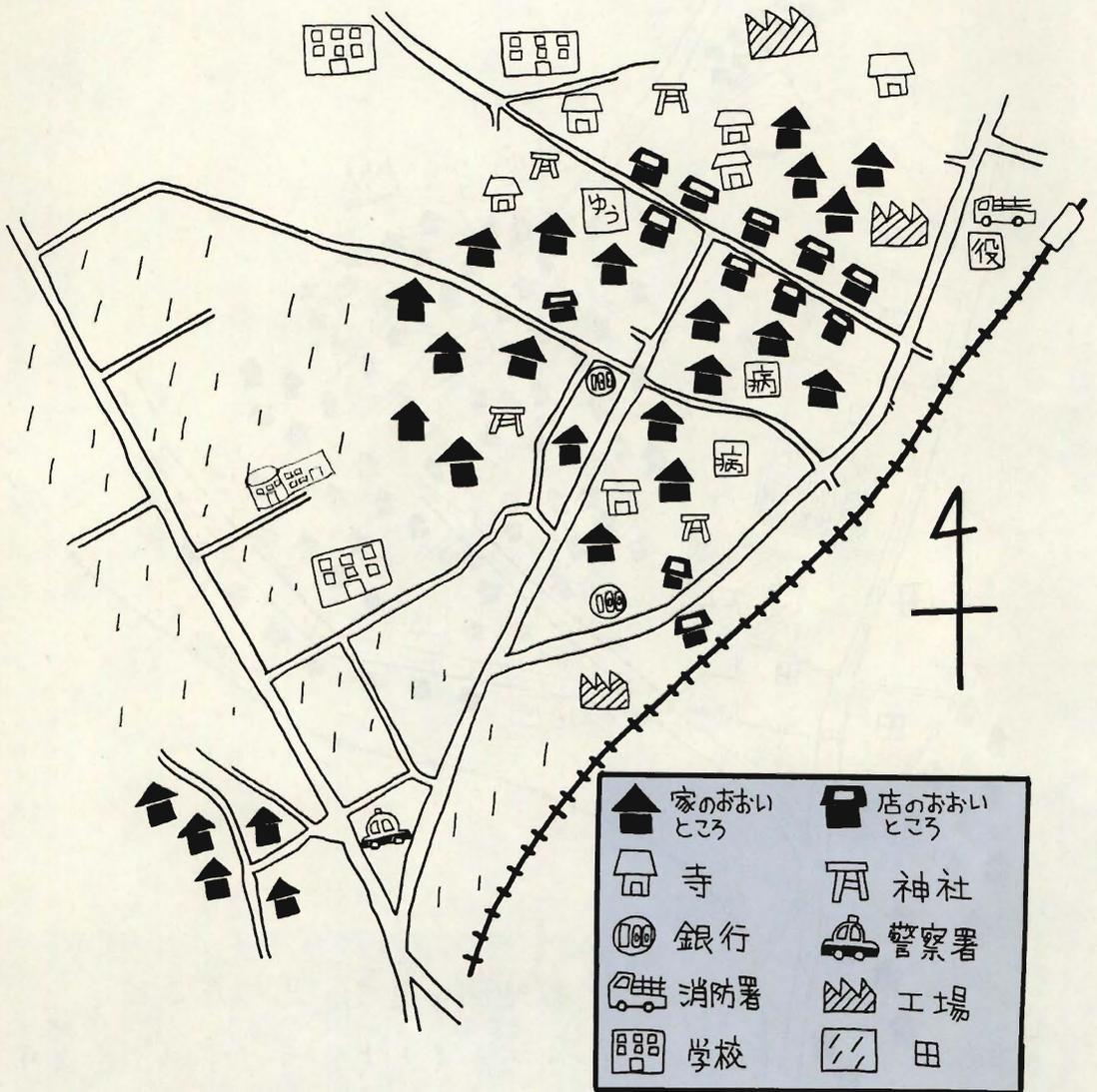
絵地図を見て、思ったこと

- ・方がくがちがうとずいぶんようすがかわるね。
- ・北や東の方に住たくが多いね。

.....

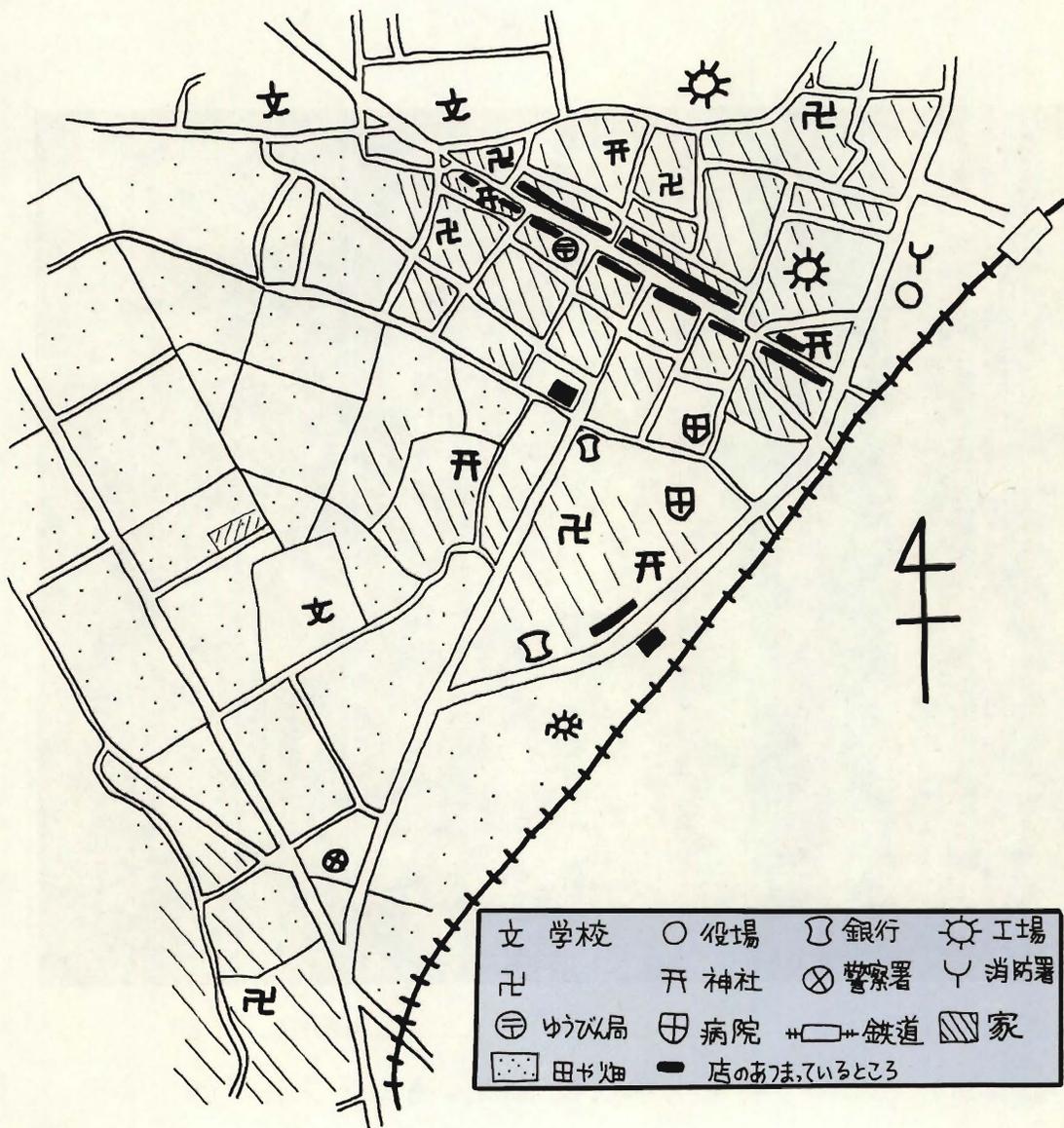
## つか マークを使った絵地図

前のページの絵地図をわかりやすいマークを使って書きかえてみました。



## 先生の地図とくらべて

先生がみせてくださった地図とくらべてみました。わたしたちの地図よりわかりやすい工夫がたくさんされています。



かく  
2. 各校下の  
ようす

養老小校下の  
ようす



① 養老の滝 たき



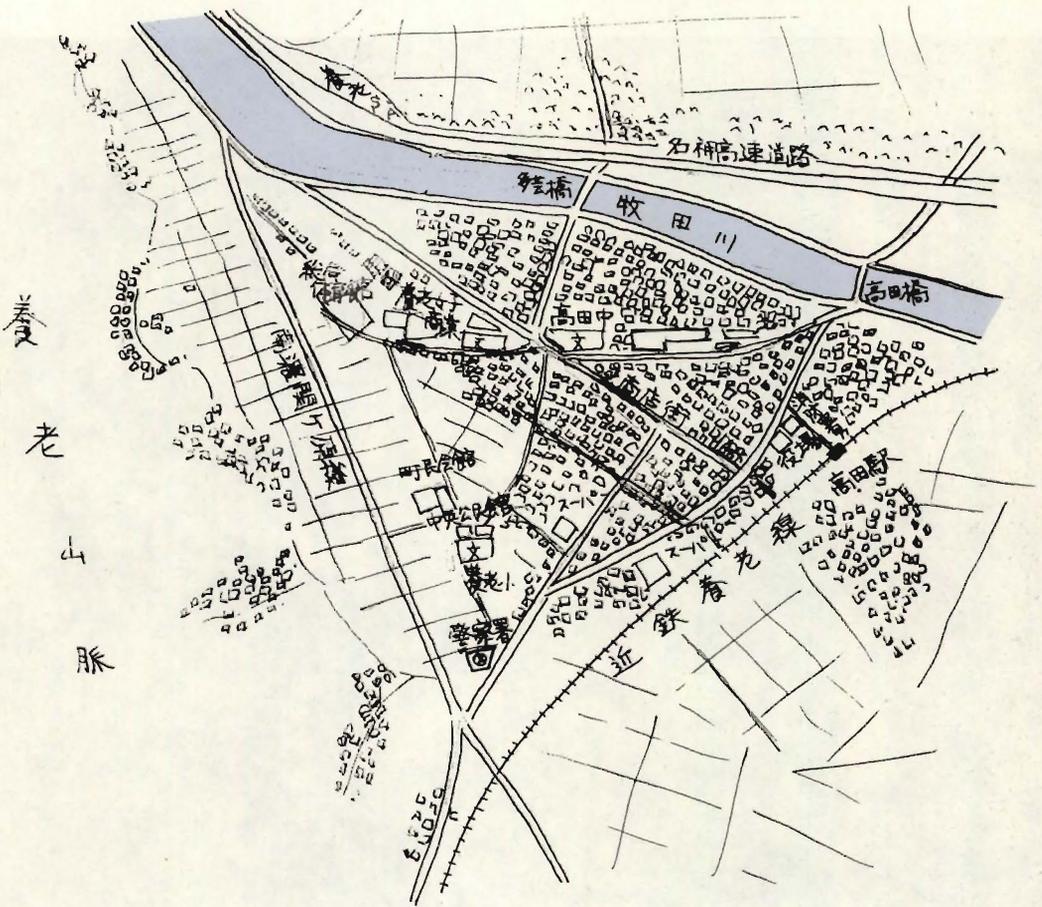
養老小学校校下は、たかだ高田・たぎ多芸西部・ぶ養老の  
三地区からなっています。ここは、養老町の中  
おう央からぶ西部にかけての地いきです。がわ北側はまきだ牧田  
川、がわ西側には養老山地があります。



①高田まつり

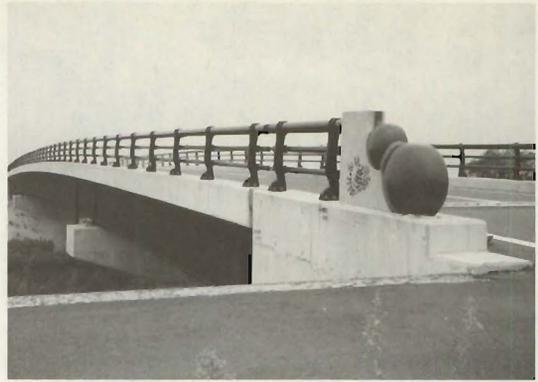


②新しい住たく



たかだ しょう  
 高田地区は、養老町役場や消ぼうしょなど公  
 共のしせつがあつたぎぶが集まっています。多芸西部地区に  
 は新しい住たくがふえてきました。養老地区は  
 ようろう たき かん  
 養老の滝、子どもの国など観光の中心になっ  
 ています。

ひろはた  
広幡小校下の  
ようす



ひろはた  
① 広幡橋



ひろはた おう がわ  
広幡地区は養老町の中央部にあります。北側  
かなくさ なが  
に金草川が流れています。

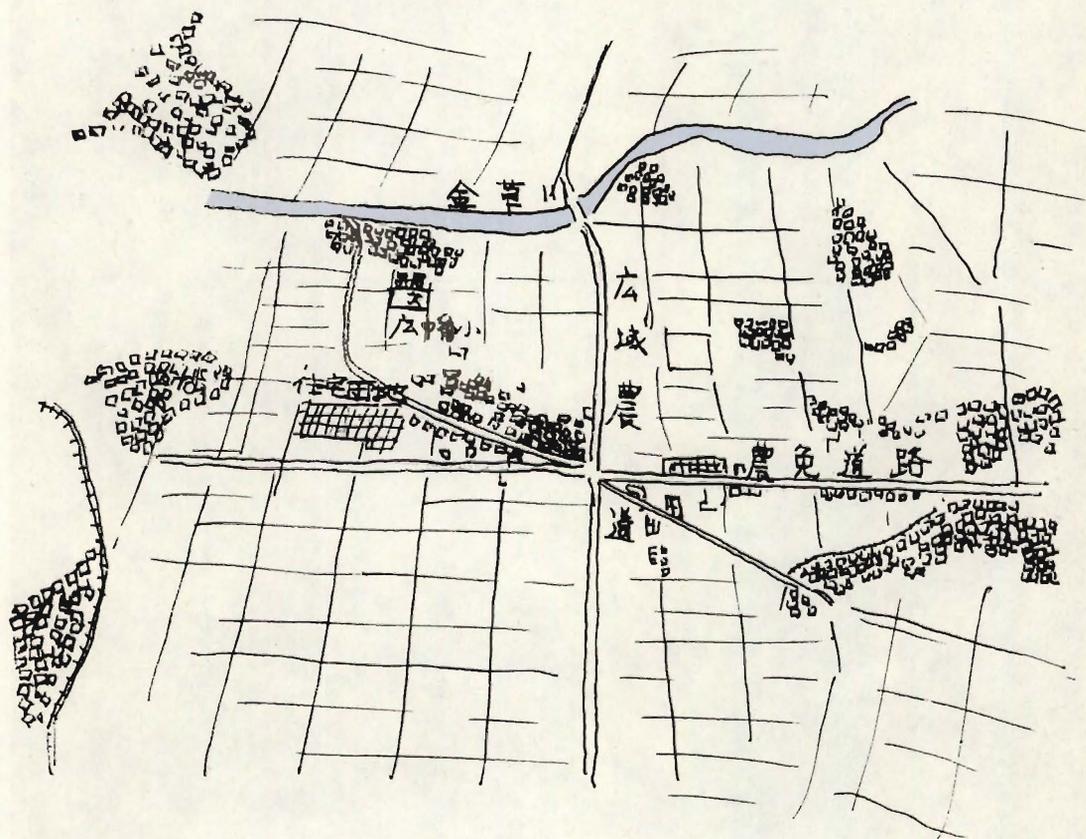
地区の中を南北に広いき農道のうが走り、東西に  
のうめん ろ  
は農免道路が走っています。



① 田中道麿 みちまろ



② ハリヨ



さい たく のうぎょう い はたら  
 最近、住宅団地ができ、農業以外で働く人  
 もふえてきました。

ろ なが  
 水路にはきれいな水が流れ、ハリヨがすんで  
 います。

かみたど  
上多度小校下の  
ようす



養老駅



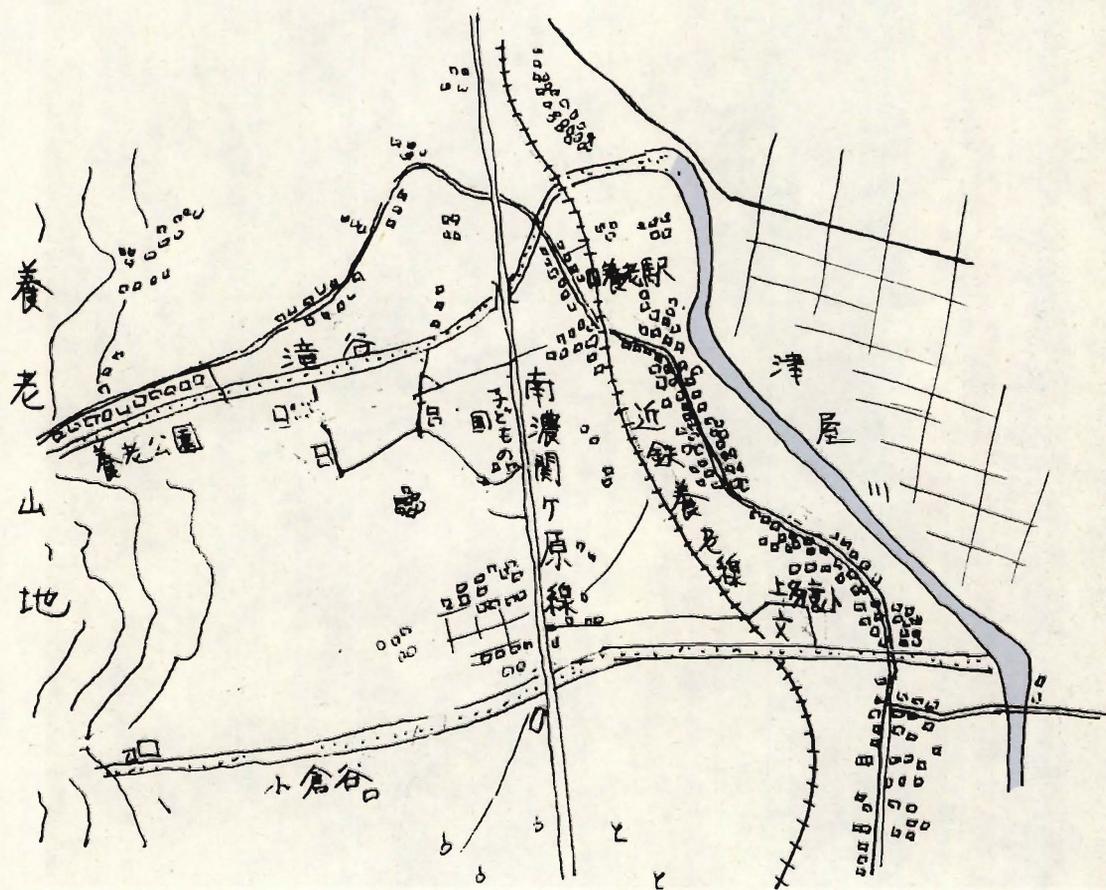
かみたど  
上多度地区は養老町の南西部にあります。西  
がわ 側は養老山地で、山からたきだに おぐらだに つ  
谷川に注ぎ、せんじょう地になっています。  
地区の中を南北にけん せきが はら なんのう  
県道関ヶ原・南濃線が走って  
います。



⑦ 鷲巣太鼓  
わしのすたいこ



⑧ 鬼面山の碑  
きめんざん



きんてつようろうせん  
近鉄養老線が南北に走り、養老駅は養老公園  
や岐阜県子どももの国をおとずれる人でにぎわい  
ます。

いけべ  
池辺小校下の  
ようす



ゆっかんあと  
① さつまぎし役館跡



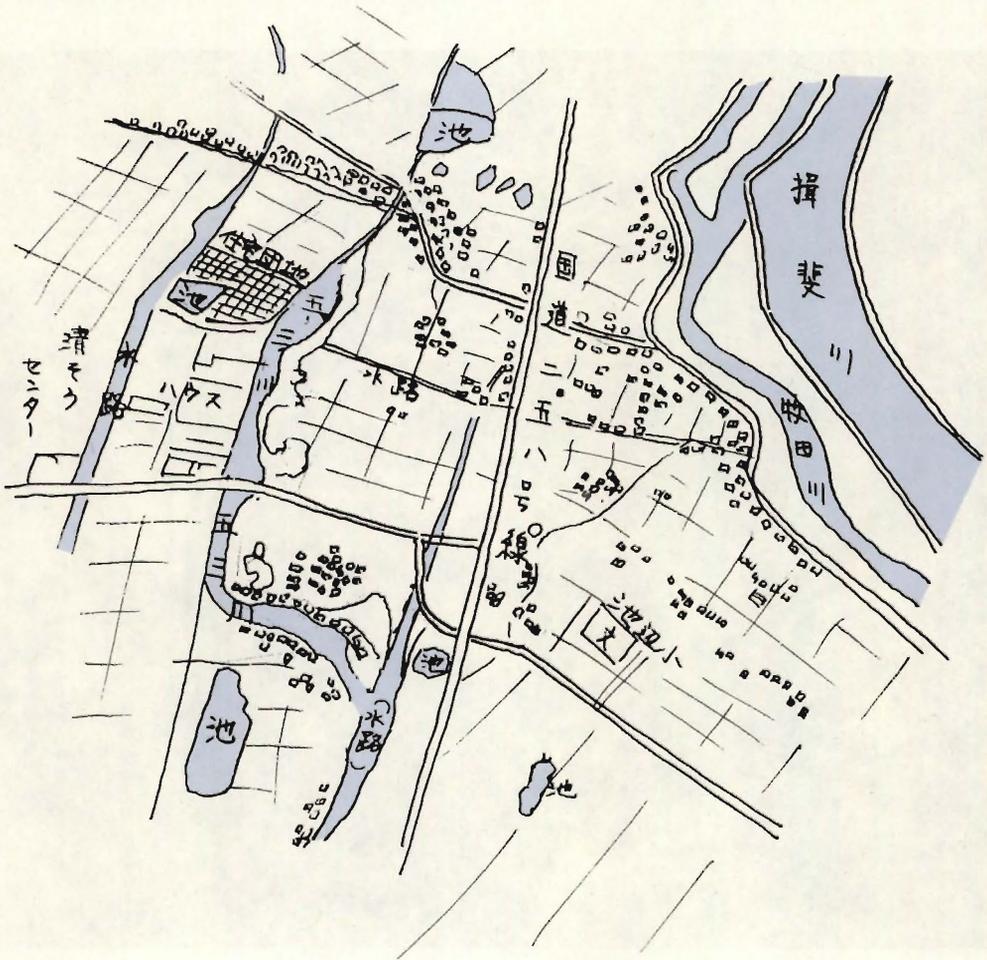
いけべ  
池辺地区は養老町の南部にあります。  
がわ まきだ いび なが  
東側に牧田川、揖斐川が流れています。また大  
きな池がたくさんあります。南北に国道258号  
が走っています。



① 決壊口之碑<sup>けつかいこう</sup>



② ならばビニールハウス



大きな田やビニールハウスがたくさんあり、  
 のうぎょう ところ  
 農業がさかんな所です。

近年、大きな住宅<sup>たく</sup>だん地ができ、人口がふえてきて、会社づとめの人も多くなりました。

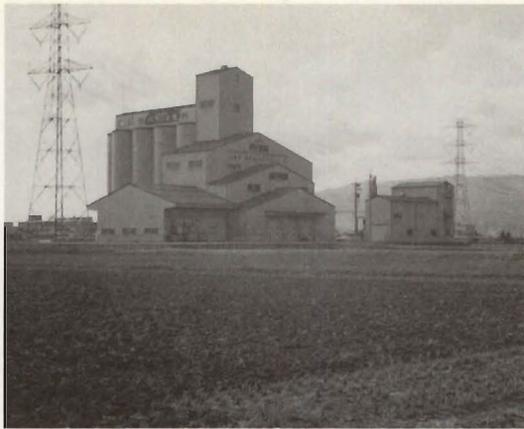
かさごう  
笠郷小校下の  
ようす



くりがき  
① 栗笠のししまい



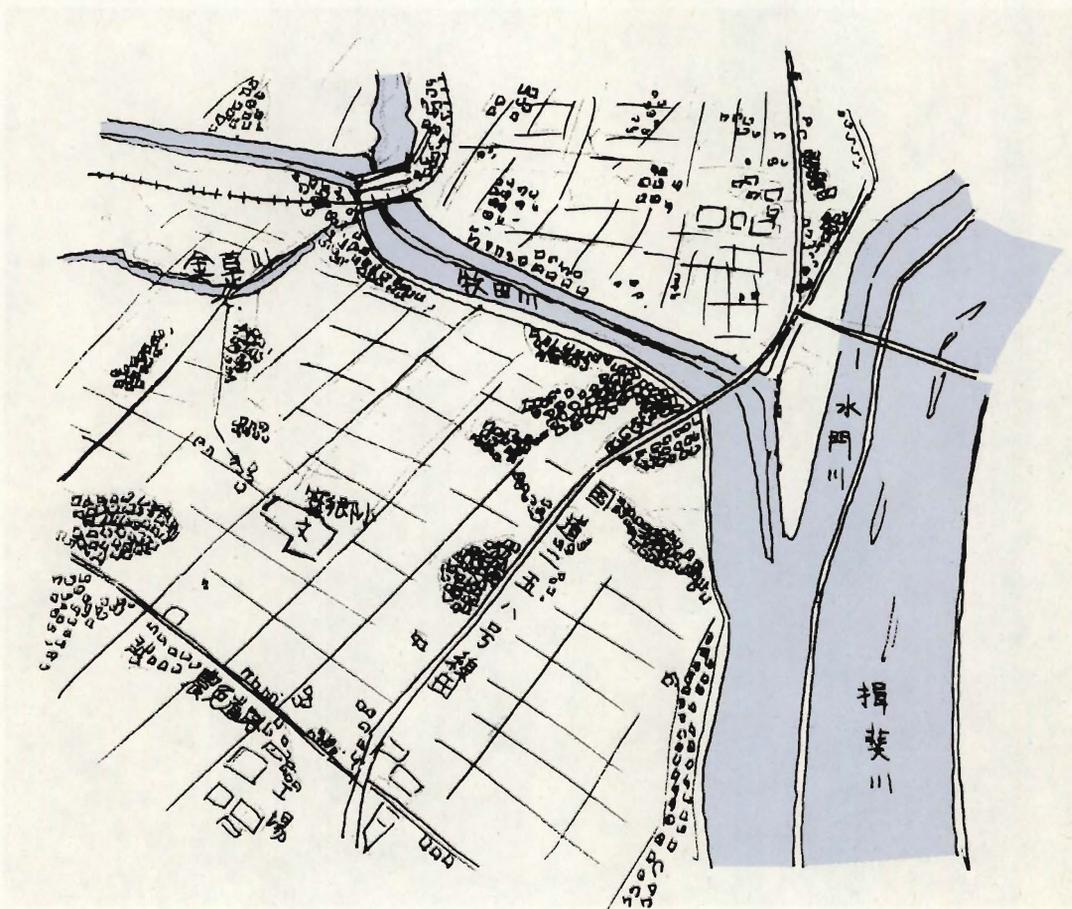
かさごう  
笠郷地区は養老町の南東部にあります。  
がわ まきだ がわ いび なが  
北側は牧田川、東側には揖斐川が流れています。  
ごう のうめん ろ  
南北に国道258号が走り、東西には農免道路が  
走っています。



⑤カントリーエレベーター



④三湊 (栗笠) 跡  
きんみなと くりがき あと



むかし まきだ  
 昔、牧田川ぞいに川のみなどがあって、たく  
 さんの人やにもつがいきかいました。  
 近年、新しい住宅もでき、工場や倉庫もふえ  
 てきました。

ようほく  
養北小校下の  
ようす



①名神高速道路バス停



ようほく  
養北地区は養老町の北東部にあります。  
地区の南側に牧田川が流れ、名神高速道路も通  
っています。

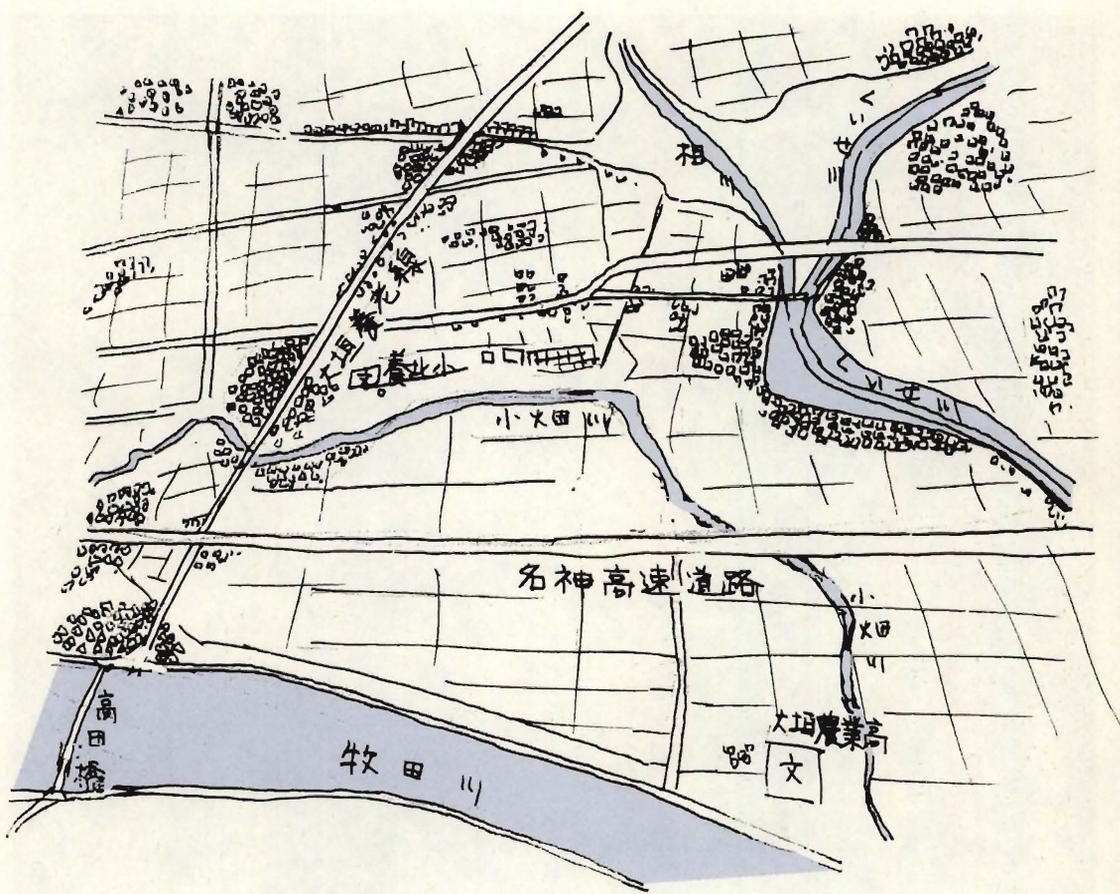
けん おおがき  
南北には県道大垣養老公園線が走っています。



けん おおがき  
① 県道大垣養老公園線



① 大垣農業高等学校



けん たく  
県道をはさむようにして新しい住宅もふえて  
きました。しだいに<sup>おおがき</sup>大垣市のほうへつながって  
いくようなふえかたです。県道<sup>けん</sup>ぞいにはいろいろ  
な店もできてきました。

ひよし  
日吉小校下の  
ようす



ぞうびざんだいこ  
①象鼻山大鼓



ひよし ようろう  
日吉地区は養老町の北西部にあります。  
北側は川をはさんで不破郡とせっしています。  
かわ ぞうびざん べっしょやま  
西側には象鼻山（別所山）があります。  
かわ めいしんこうそく まきだ  
南側には名神高速道路が牧田川にそって通っ  
ています。



① 室原文楽  
むろはらぶんらく



② 橋爪古墳群  
はしづめこふんぐん



国道21号や関ヶ原インターチェンジに近いなど、交通の便がよいので、大きな工場が次々と建てられました。

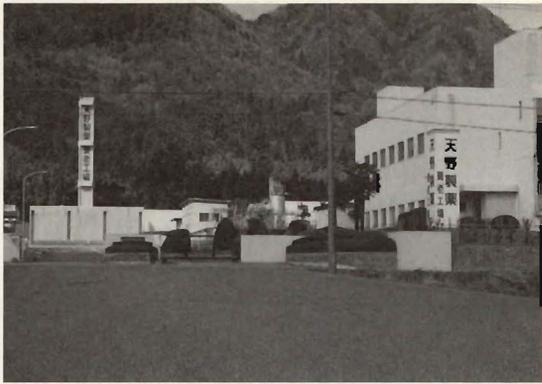
まきだ  
牧田小校下の  
ようす



うえのしゆくごいけ  
①上野宿の五井家



まきだ かみいしづ  
牧田地区は上石津町の北東部にあります。北  
がわ がわ がわ ひく かこ  
側、西側、南側は低い山々に囲まれています。  
まきだ なが しゅうへん  
地区の中を牧田川が流れています。その周辺  
には田が広がっています。



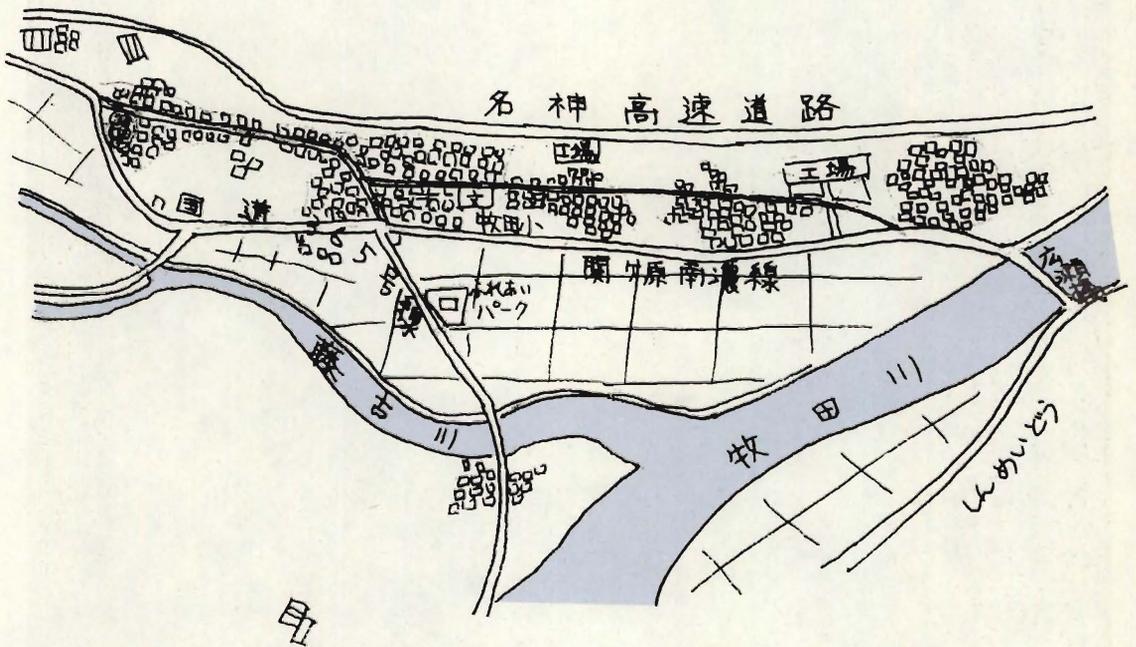
① せいやく  
製薬工場



② そう合体育館

南 宮 山 地

石  
石  
場



昔から大切な道が集まる<sup>むかし</sup>ところで、人や荷物<sup>にもつ</sup>が行きかいました。近年は<sup>せきが</sup>関ヶ原<sup>はら</sup>インターチェンジが近いなどの交通の便利<sup>べんり</sup>さを生かして大きな工場<sup>た</sup>が建てられたり、新しい住宅<sup>じゅうたく</sup>ができてりしてきました。

いちのせ  
一之瀬小校下の  
ようす



ながひこじんじや  
①長彦神社



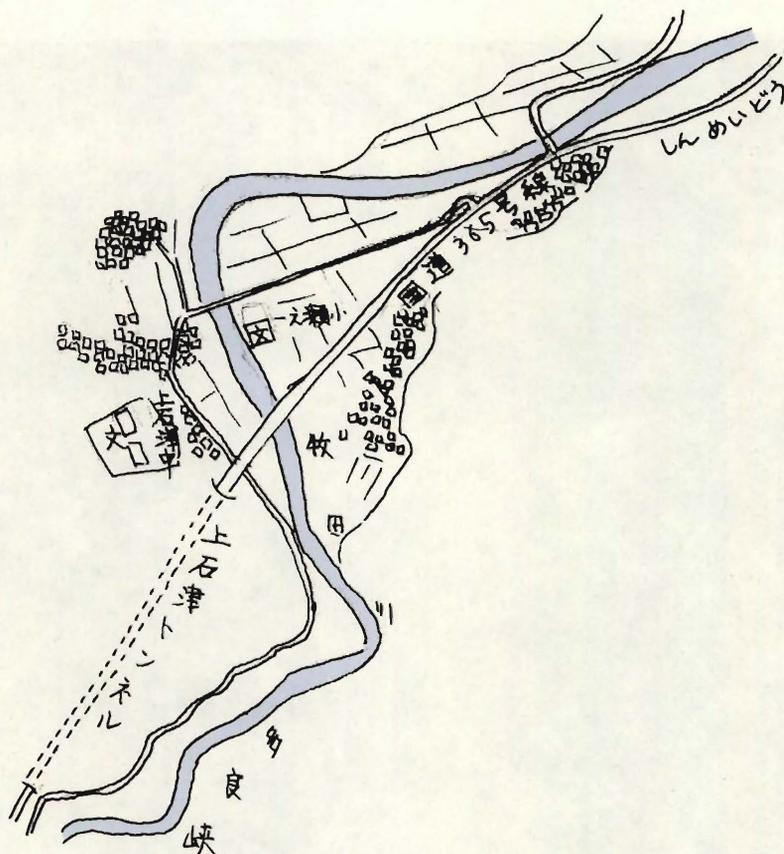
いちのせ かみいしづ おう  
一之瀬地区は、上石津町の中央よりやや北部  
にあります。山にはさまれた ほんちじょう 盆地 状の水田地  
たい 帯で まきだ 牧田川が地区の中を流れています。また、  
なが 国道365号が ごう 南北に走っています。



くわばら  
①桑原家住宅



てんきじ  
①天喜寺



じゅうようぶん かざいくわばら てんきじ ながひこ  
 国の重要文化財桑原家住宅や天喜寺、長彦  
 じんじゃ しせき  
 神社などの史跡があります。

かみいしづ しんいちのせ た  
 上石津トンネルや新一之瀬橋ができ、他の地  
 いきどの行き来がとても楽にできるようになり  
 ました。

たら  
多良小校下の  
ようす



かみいしづちょうやくば  
①上石津町役場



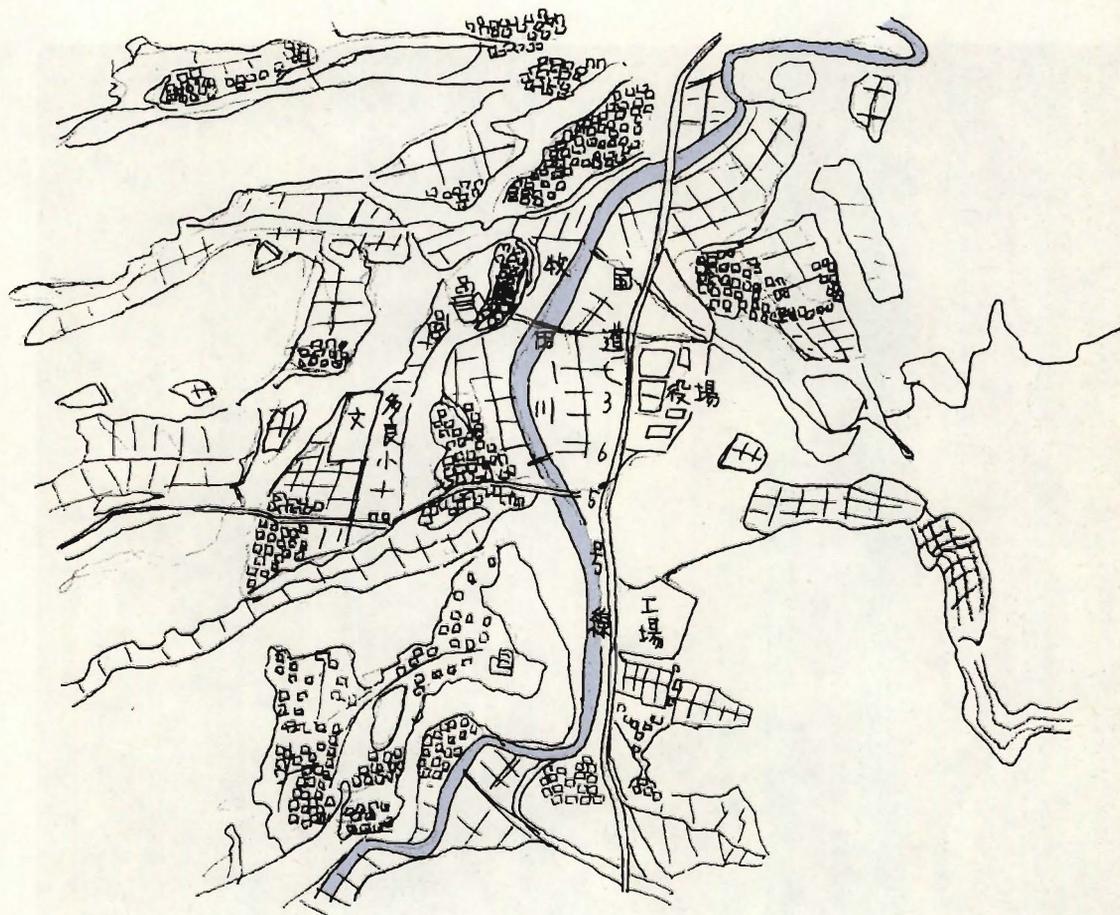
たら かみいしづちょう ちゅうおうぶ  
多良地区は上石津町の中央部にあります。  
まわりは山にかこまれています。地区の中央を  
南北にまきだ川が流れ、国道365号が通っています。



① 高木家陣屋跡  
たかぎけ



② 緑の村公園



国道365号のバイパスができてからは役場や  
 消防署など公共の施設がこのバイパスぞいに  
 できました。また、新しい店もたくさんできま  
 した。古くからある地いきですが、ずいぶん変  
 化してきています。

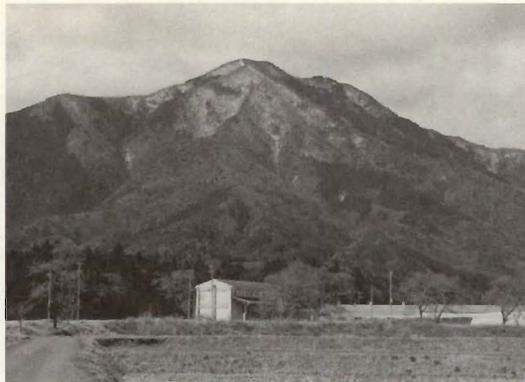
とき  
時小校下の  
ようす



しやうわ  
①日本昭和音楽村



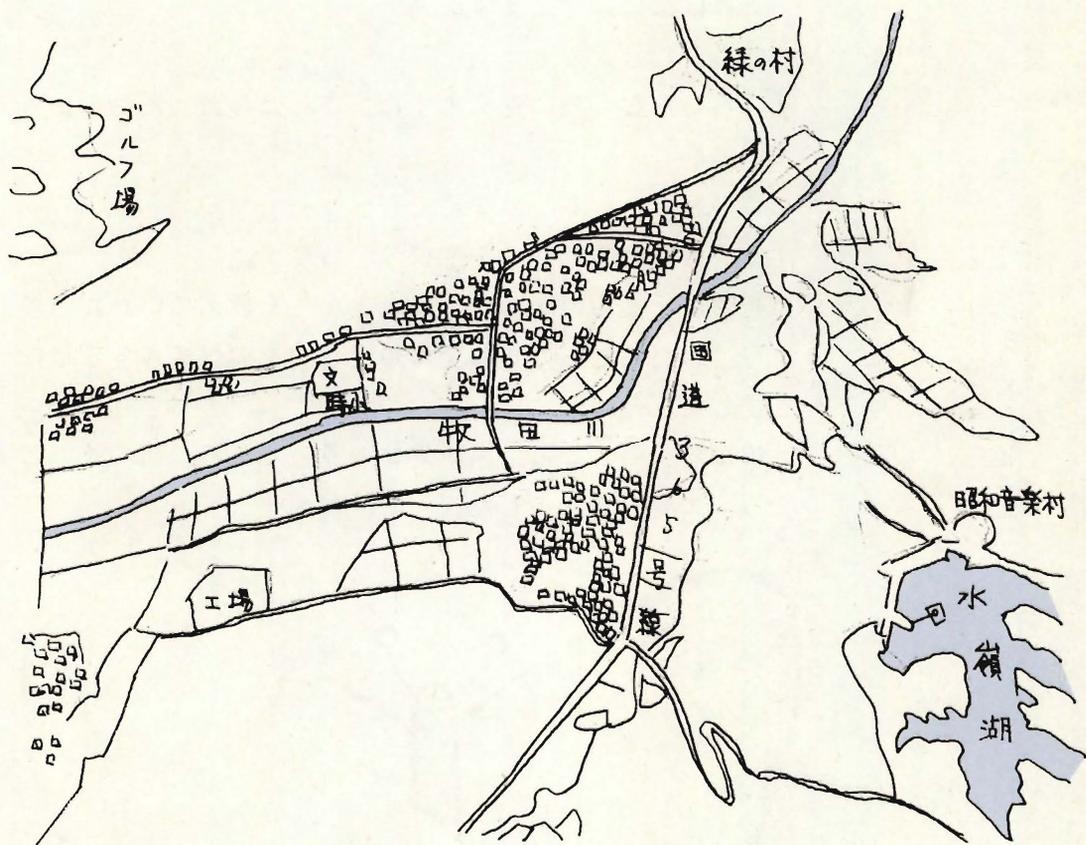
とき かみいしづ ちやう  
時地区は上石津町の南部にあります。町を  
なが まきだ じやうりゆう ようろうさんち  
流れる牧田川の上流です。東を養老山地、西  
すずかさんみやく かこ ほんち  
を鈴鹿山脈に囲まれた盆地で、山が家のすぐ  
そばまでせまっています。



① えぼし岳 だけ

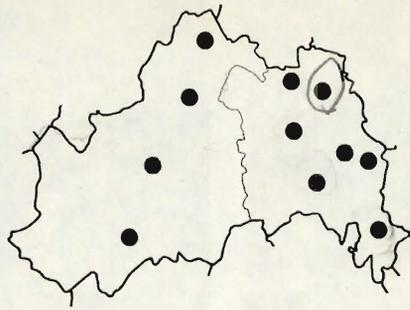


② 唯願寺 ゆいがんじ



森林資源しげんにめぐまれ、これをいかす工夫くふうがさ  
 れてきました。以前は炭焼きいぜん すみや とくが特に有名ゆうめいでした。  
 最近さいきんではダム湖こ けんせつの建設とそのまわりの音楽村づ  
 くりくりに力を入れています。

3. まち全体の  
ようす



まちの地図を広げて

「これはなにに見えますか。」

「だんごむし。ちょう。」

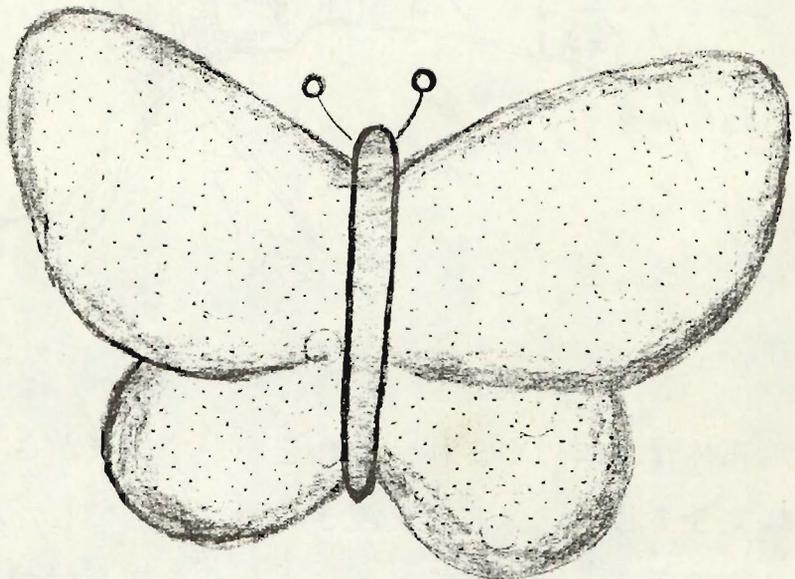
「いろいろなものに見えますね。これはわたしたちのまちです。」

「この、黒いしるしはなんでしょう。」

「そうです。養老郡ようろうの小学校のいちです。」

先生に、まちのかんたんなかきかたを教えていただいてから、わたしたちのまち全体ぜんたいのようすを調べてみることにしました。

田畑たてものの多いところ、家や建物の多いところ、店の多いところ、工場もありました。



## 店の多いにぎやかなところ

ようろうちょう ちゅうおう たかだ

養老町の中央部高田地区には店の多いにぎやかなところがあります。

たかだ むかし

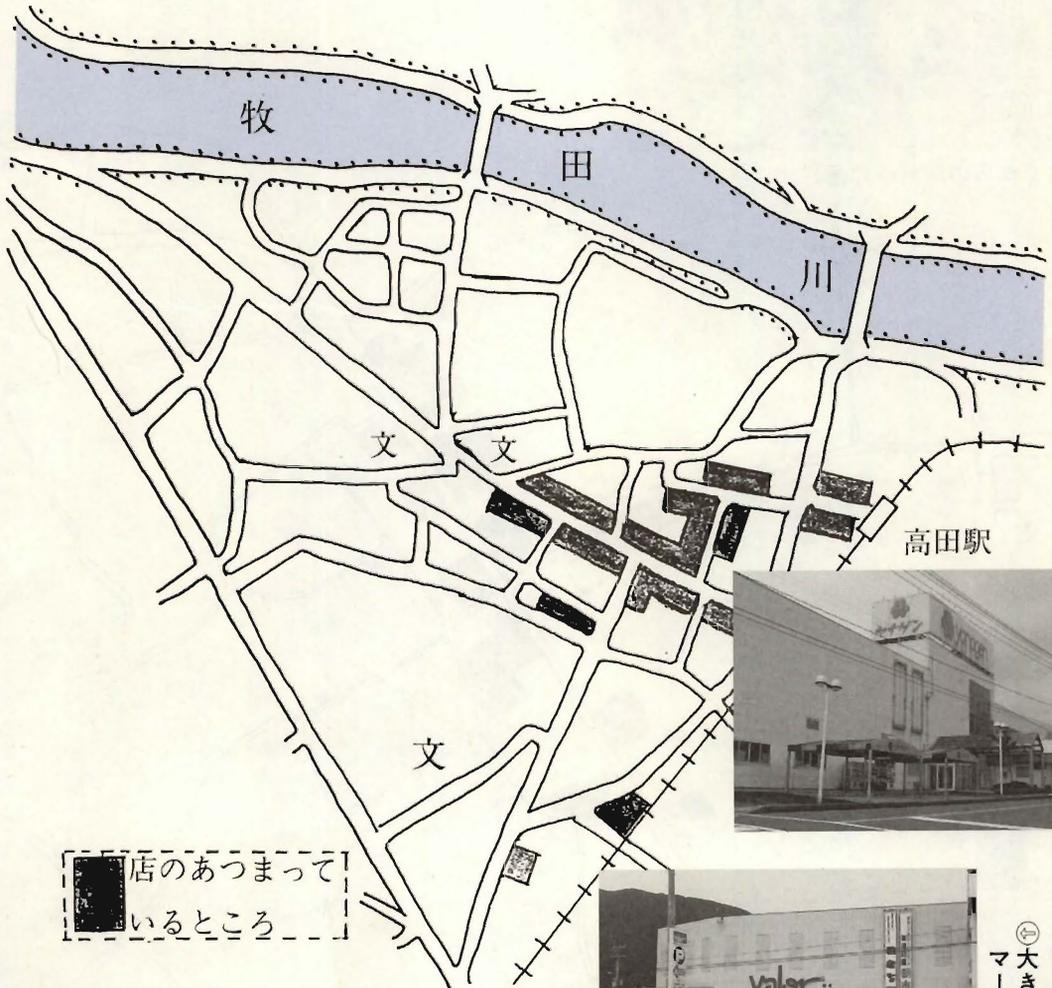
高田地区は昔からたくさんの店があつてにぎわっています。東の方には大きなスーパーマーケットなどの新しい店ができてきました。

ようろうちょう

養老町の人々はよくこれらの店を利用しています。



① 高田商店がい



② 大きなスーパーマーケット

高田地区



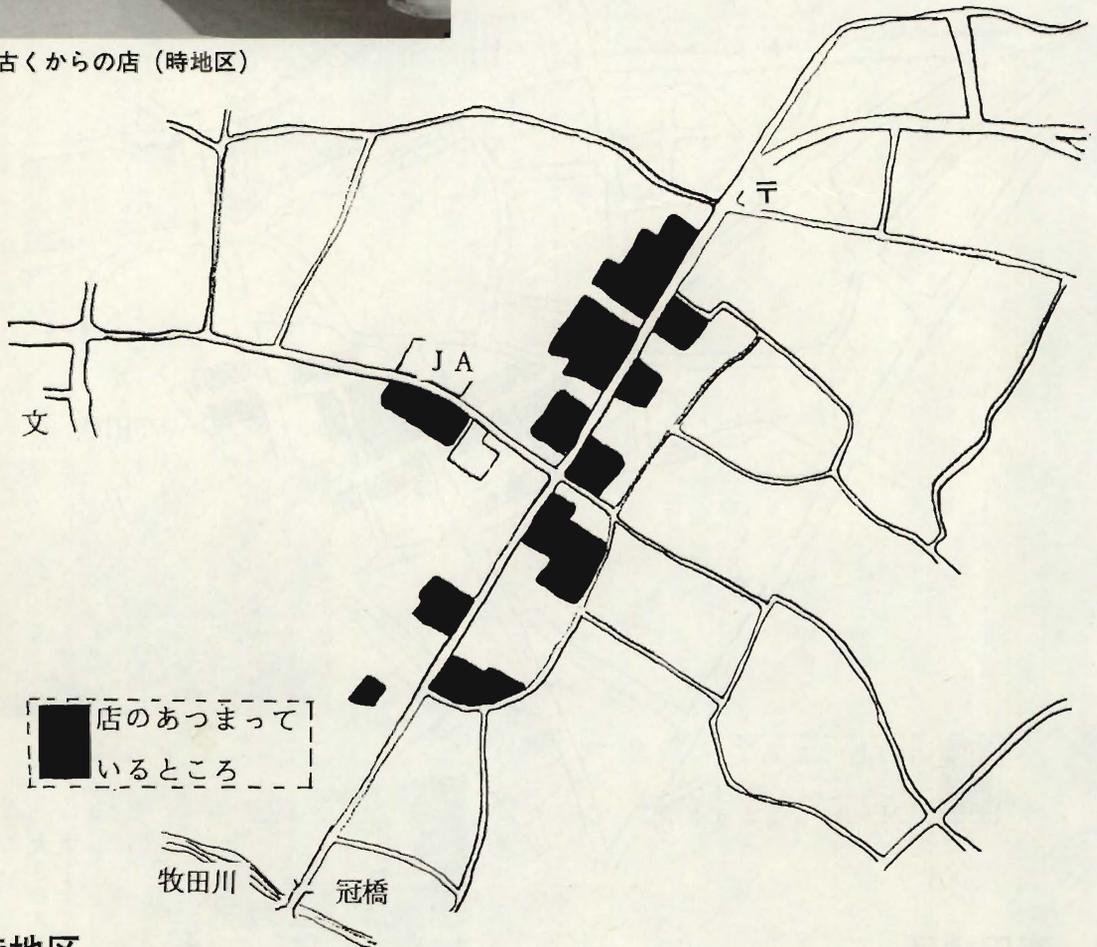
①スーパーマーケット

かみいしづ とう  
上石津町では古くからのかい道  
にそって店があります。

さいきん ごう  
最近では国道365号ぞいにどんど  
ん新しい店がならぶようになりま  
した。



②古くからの店（時地区）



時地区

# 住宅の多いところ

養老町の<sup>たか</sup>高田地区には<sup>たく</sup>たくさんの住宅があり  
 ます。養老山地の<sup>ようろう</sup>すそのや、大きな川の<sup>たか</sup>堤防ぞ  
 いにも古くからの<sup>たく</sup>住宅があります。<sup>さいきん</sup>最近では、  
 新しく開発された<sup>たく</sup>住宅地もふえてきました。



① 三神町



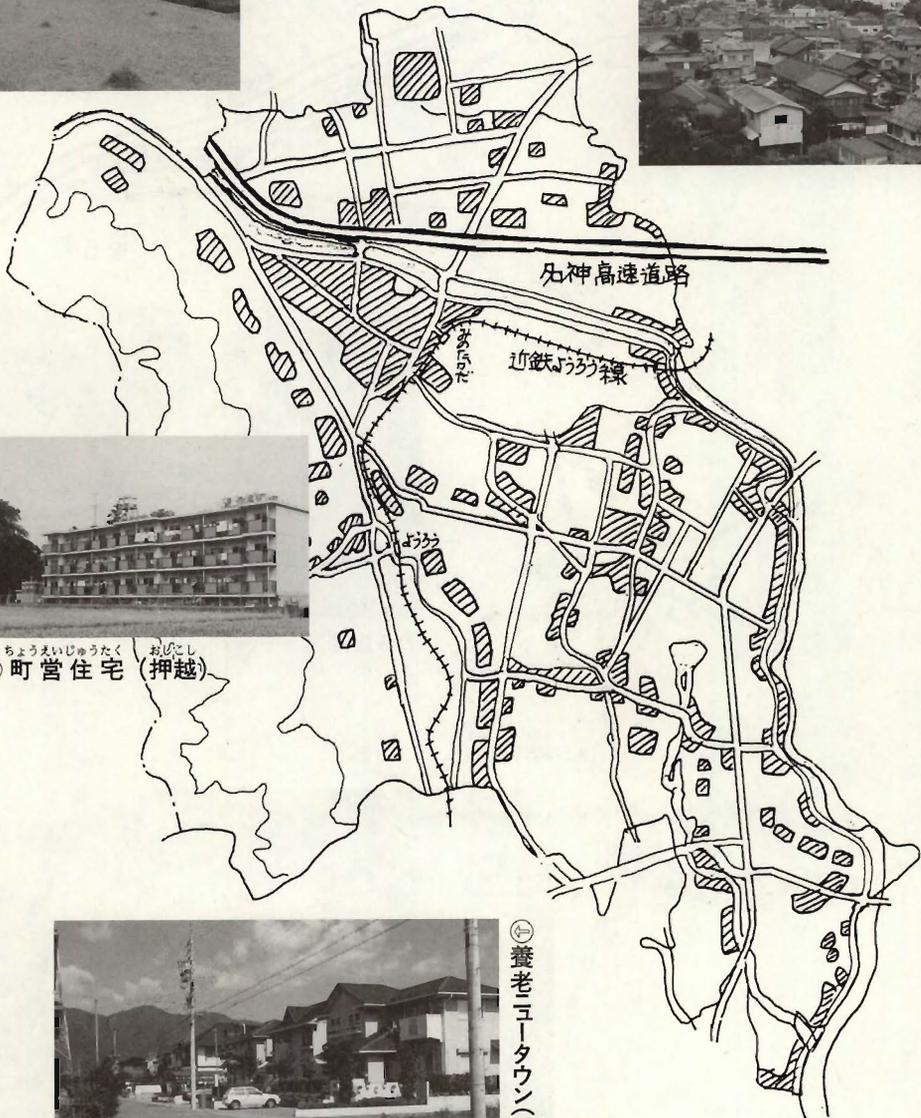
② 高田



③ 町営住宅 (押越)



④ 養老ニュータウン (平東)

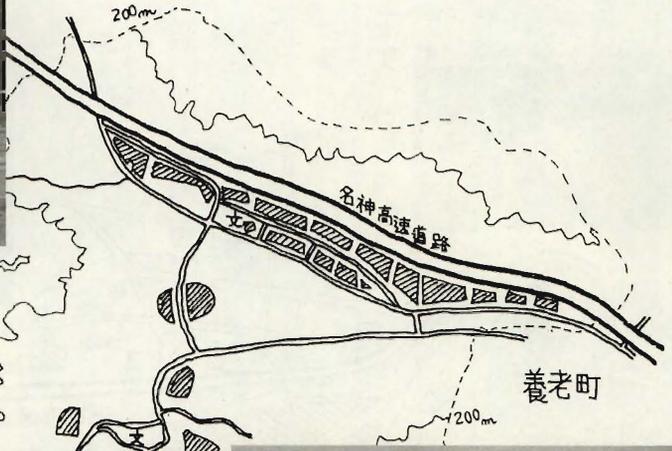


かみいしづ

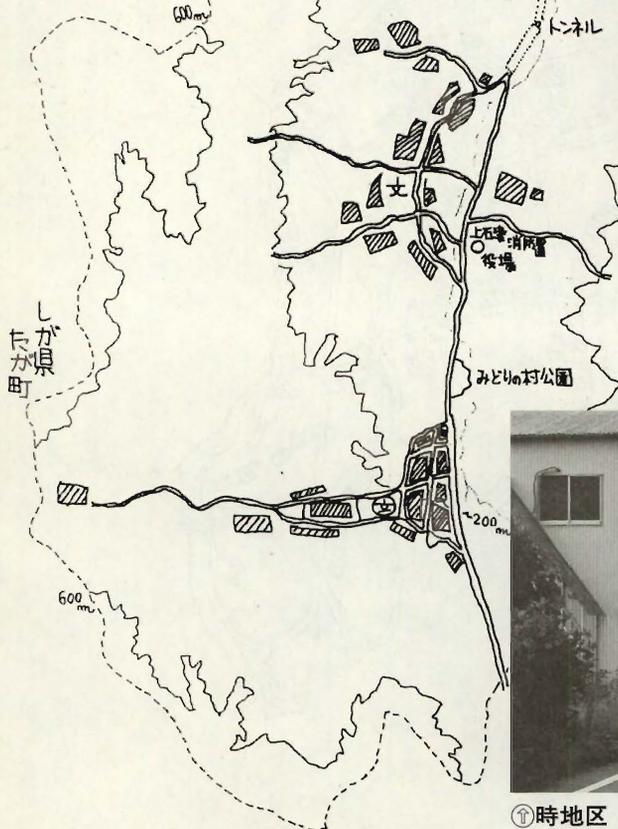
上石津町ではどの地区も、牧田川より少し小  
高いところ<sup>たく あつま</sup>に住宅が集っています。またかい道<sup>りょうがわ</sup>  
の両側にならぶようにたっているところもめ  
だちます。



① 牧田地区



① 多良地区



① 時地区

## 工場の多いところ

<sup>ようろう</sup> 養老町には、いろいろなところに工場があります。

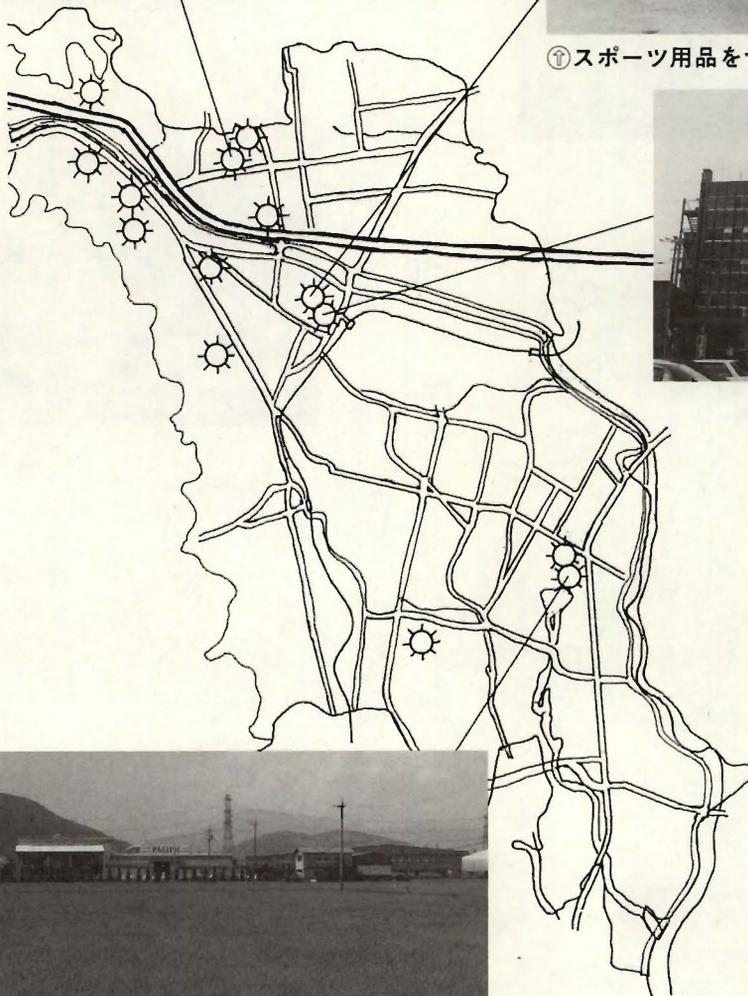
工場は、<sup>はたら</sup>働く人の行き来や<sup>りょう</sup>原料・<sup>せい</sup>製品の<sup>べんり</sup>ゆ送に便利なところにあります。



① 金ぞくをつくる工場



② スポーツ用品をつくる工場



③ <sup>さけ</sup>お酒をつくる工場

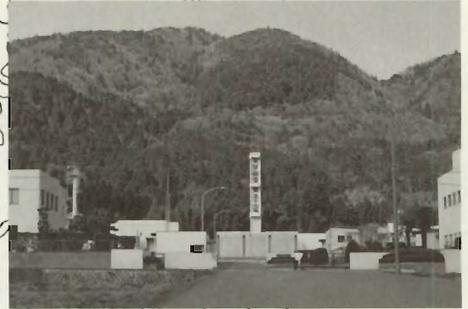
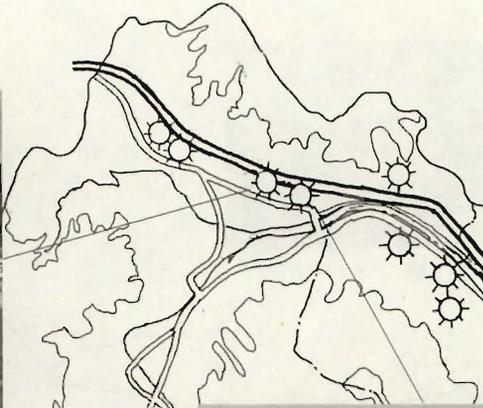


④ 自動車部品をつくる工場

かみいしづ  
 上石津町では大きな工場は田よりやや小高い  
 住宅<sup>たく</sup>近くにたっています。また近くには国道や  
 広い県道があり交通の便のよい<sup>べん</sup>ところでもあり  
 ます。



Ⓢ自動車部品をつくる工場



Ⓢ<sup>くすり</sup>薬をつくる工場



Ⓢ<sup>だいいりせき</sup>大理石工場

## 田の多いところ

<sup>ようろう</sup> 養老町の低い土地にはいちめん田が広がっています。みな同じくらいの大きさの長方形に区切られていて、水路がたくさん通っています。秋になるとゆたかな<sup>いな</sup>稲ほが<sup>みの</sup>実りまるで<sup>おうごん</sup>黄金のじゅうたんのようです。



① 笠郷地区

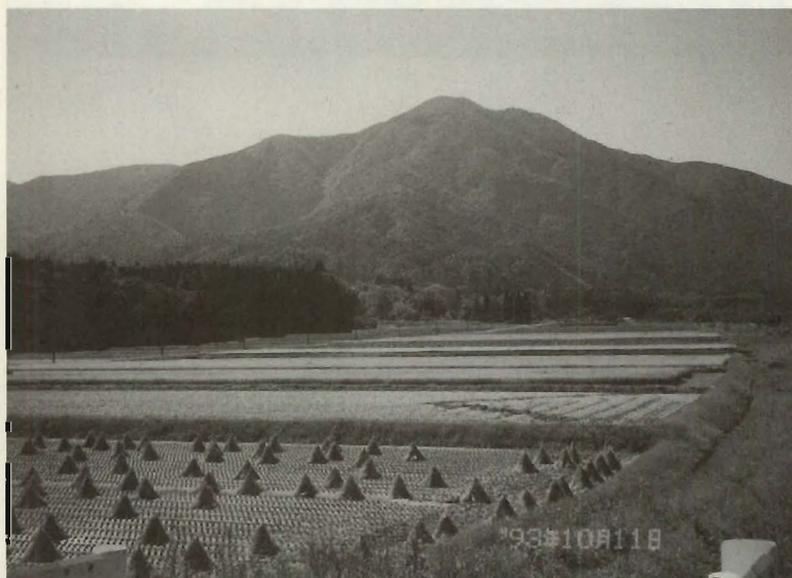


② 池辺地区

かみいしづ ひく  
上石津町も低い土地には田が広がっています。  
まきだ ろ  
牧田川からひいた水路のほかに、谷川の水を利  
用したため池もところどころにみられます。



① 牧田地区

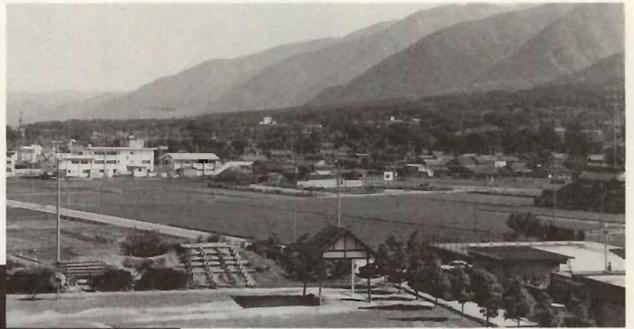


② 時地区

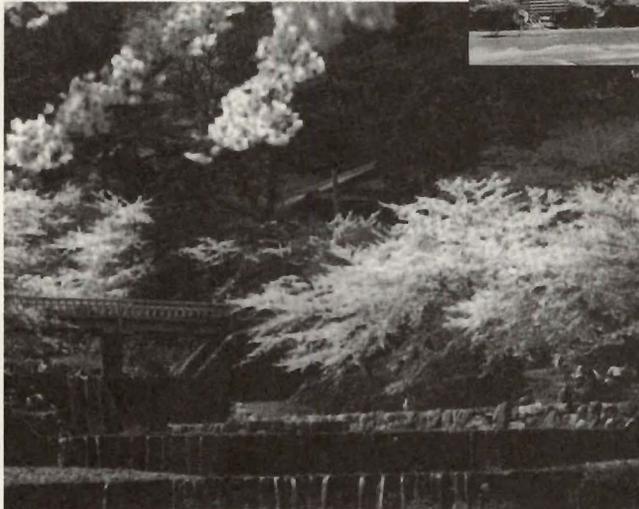
## みどりの多いところ

<sup>ようろう</sup> 養老町の西にはみどりが多い<sup>ようろう</sup> 養老山地があります。<sup>ようろう</sup> 養老町のどこからも見えます。山には木がおおいげってみどりでいっぱいです。

山には<sup>ようろう たき</sup> 養老の滝、子どもの国などがあります。  
<sup>とうかい し ぜん ぼ どう</sup> 東海自然歩道が通り、ハイキングもできます。  
みどりの中からは、鳥の声が聞こえてきます。



<sup>ようろう</sup> 養老山地



<sup>ようろうこうえん</sup> 養老公園



<sup>ぎふ</sup> 岐阜県子どもの国

かみいしづ  
上石津町の山にはスギやヒノキがきれいにな  
らんでうえられています。

小高いところや山のしゃめんは茶畑として使  
われているところがあります。

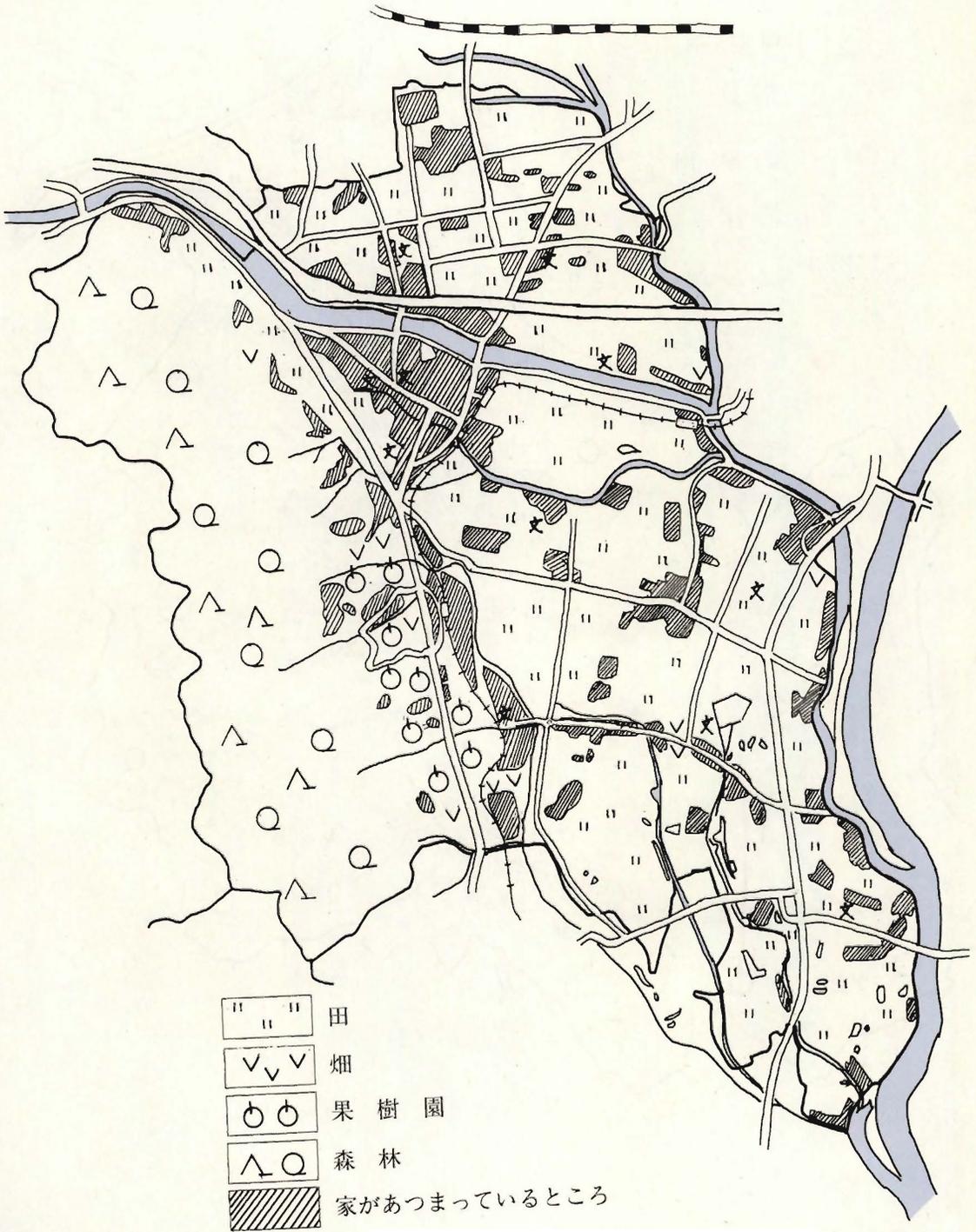


①植林された山



①茶畑

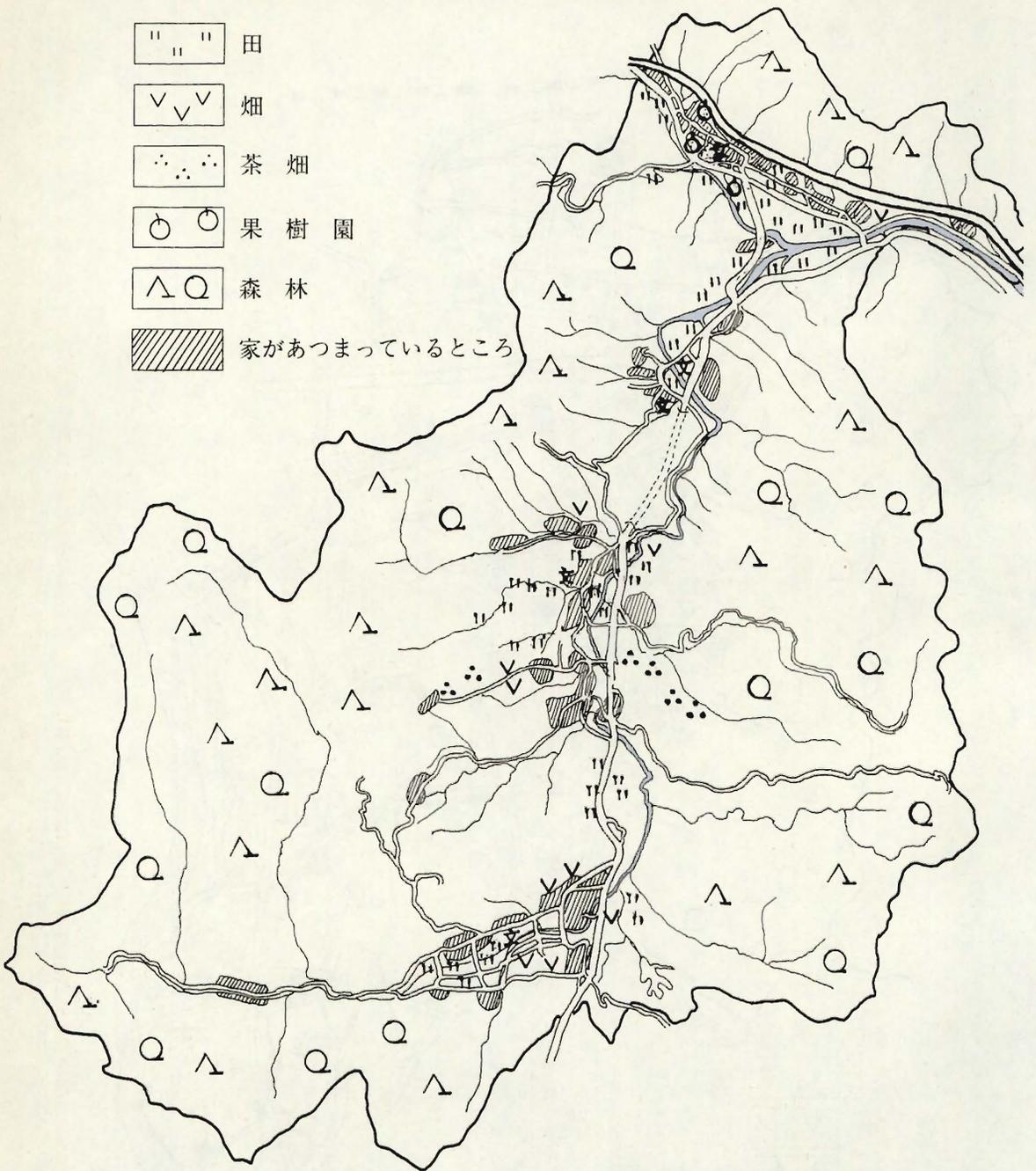
# 養老町の土地利用図



- 田
- 畑
- 果樹園
- 森林
- 家があつまっているところ

# 上石津町の土地利用図

- 田
- 畑
- 茶畑
- 果樹園
- 森林
- 家があつまっているところ



# 3 くらしと商店がい

## 毎日のくらしと買いもの

スーパーマーケットで買いものをし、レシートを見ました。買ったものを種類ごとに色分けをしてみると、<sup>しゅるい</sup>食料品だけでなく、ティッシュペーパーやかん電池などの日用品<sup>ひん</sup>も買っていることがわかりました。



① 食料品



レジ②



③ 日用品



たかだ  
① 高田商店がい

## 買いものようす

どこで、どのように買いものをするか調べてみると、行き先や買いものの回数、1回の買いものの金額など、ずいぶんちがうことがわかりました。

近くの店や商店がい、スーパーマーケットといろいろなところで買いものをしています。



① 近くの店



① スーパーマーケット

## スーパーマーケットの中ようす

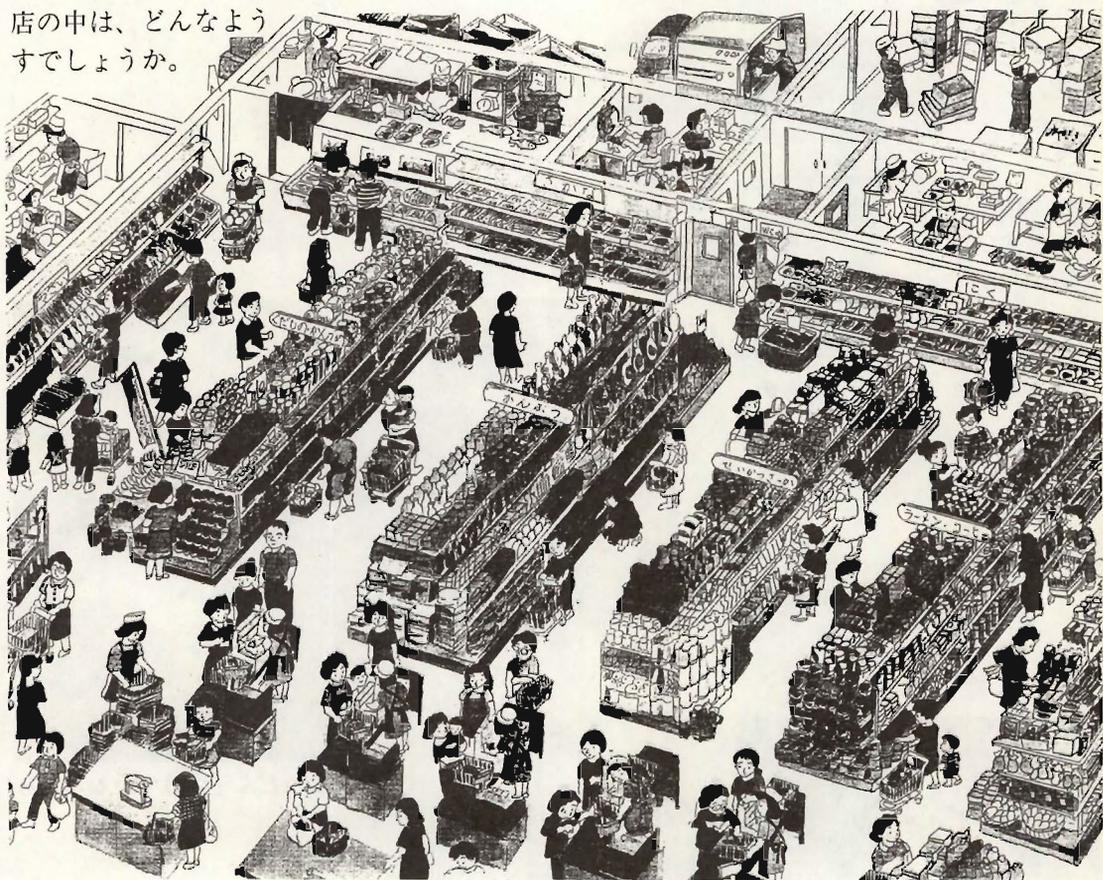
近くのスーパーマーケットの中を歩いてみました。

たくさんの<sup>しなもの</sup>品物が並び、多くの<sup>きやく</sup>お客さんが  
買いものをしていました。

## 1. スーパー マーケット

### スーパーマーケットの中ようす

店の中は、どんなよう  
すでしょうか。

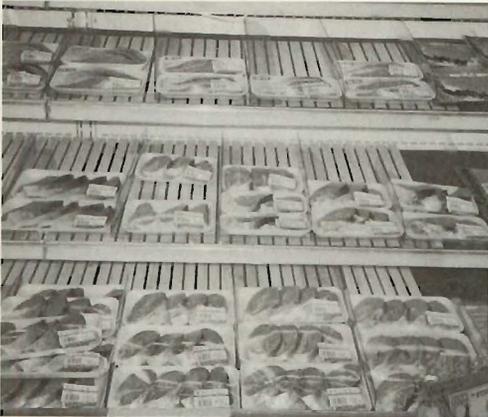


(東京書籍の教科書にもとづく)

## しなもののならべ方とはたらく人

たくさんのしなものが種類ごとに、きちんと  
たなにならべられ、目につきやすいようになっ  
ています。

店では、たくさんの方がはたらいしていること  
がわかりました。



①きちんと並べられたしなもの



②ねだんをつけているところ



③魚を切っているところ

**2 日本限り**

**本日ハートシール 3倍発行**

毎週木曜日は 恒例 **野菜の日**

たまご 10個入りパック 38円

昭和 サラダ油 1800g 98円

高和 サラダ油 1500g 118円

若鶏むね肉 100g 48円

若鶏もも肉 150g 68円

ナゲル 35T乳 178円

ヤナゲン 3.5牛乳 118円

生鮭切身 300g 180円

大塚ホンカレ 2箱 128円

大塚ホンカレ (甘口、中華、辛口) 2箱 128円

11月4日限定 300円

大塚ホンカレ 4食 398円

生鮭切身 300g 180円

午後4時からのタイムバゲン

午後5時より **生鮮食品 食品見切りセール**

たまご 10個入りパック 38円

UCCティステイコーヒー 250・30g 1500円

若鶏スライスステーキ 10枚入りパック 198円

キユーリ 3本 98円

トマト 2玉 158円

レタス 1玉 198円

ピーマン 箱 98円

人参 500g・1箱 198円

① 広告

たくさんのお客さん

たくさんのお客さんに来てもらおうと努力していることがわかりました。

また、駐車場や自転車おき場を広くして、お客さんが買いものに来やすいようにしています。



② 駐車場



③ 駐車場



④ 自転車おき場

# しなものがうまれたまち

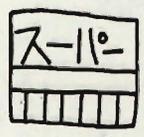
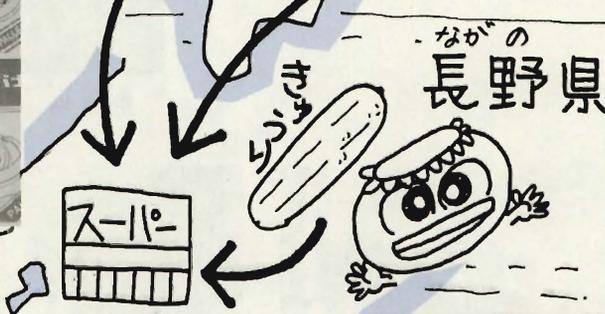
しなものは、遠くのまちや外国から来ています。  
 市場やつくられたところから、トラックで朝早くとどきます。



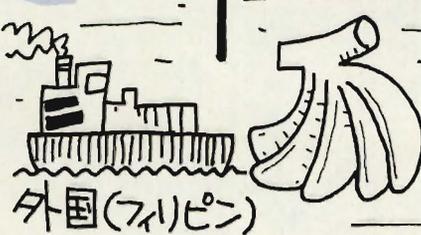
①にもつをおろしているところ



②外国からきたしなもの



③遠くのまちからきたしなもの



外から見るとふつうの家のようなたてものです。中に入るとしなものがぎっしりとならんでいます。

衣服、くつ、かばん、日用品、学用品、台所用用品、園芸用品などです。ふだん使うものでそろわないものはないくらいです。また、田畑や山の仕事で使う道具はスーパーマーケットなどよりもそろっています。

## 2. 近くのお店



① 近くのお店



② 店の中の様子

近くの人がよく買いものに来てもらえるよう  
にどんな工夫くふうをしているか、お店の人にたずね  
てみました。



・近くの人とよくあいさつや話をし  
てなかよくなるようにしています。

・近くの人がいつごろ、どんなもの  
をほしいのか、いつもたずねたり調しら  
べたりしています。

・学校や子ども会や地域ちいきの行事ぎょうじがいつあって、どんな  
ものがあるか。

・田畑や山の仕事でいつ、どんなものがあるか。

・学校ではどんなノートやえんぴつを使っているか。

いつごろ、どんな学用品がくようひんがあるか、(はさみ、のり、  
ちょうこくとう  
彫 刻刀など)

・今はやっている品物しなものをテレビのコマーシャルでみ  
て自分も使ってみます。よいものならお店に置きま  
す。



近くのお店のよいところを、お客さんたちに  
たずねてみました。



・自分のことをよく知っていてにこにこあいさつしてくれたり、親切しんせつにして  
くれたりするので、たのしい。

・わざわざ遠くまでいかななくてもいい  
のでべんりです。すぐほしいものがあったても手に入る  
のでべんり。

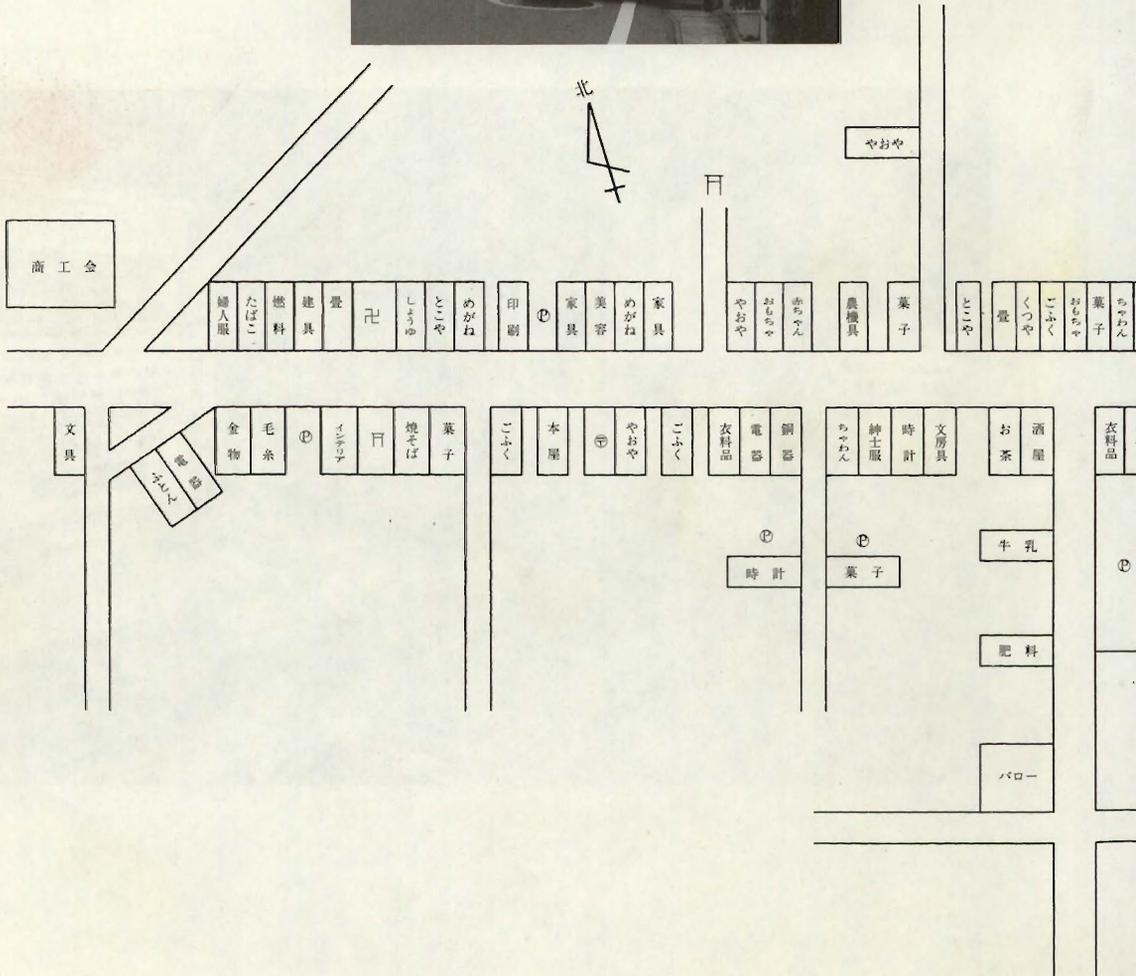
・あちらこちらの店へいかななくても一つの店で何でも  
そろるのでべんり。

・夜おそい時でもたのむと売ってくれた。



### 3. 店の 集まって いるところ

ようろう たかだ おしこし ちいき とく  
 養老町の高田から押越にかけての地域は特に  
 たくさんの店が集まり、大きな商店がいができて  
 います。

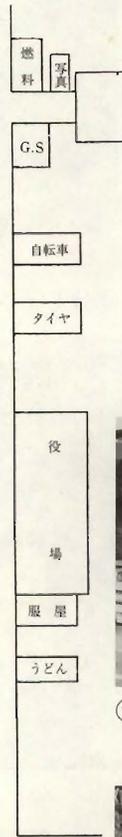
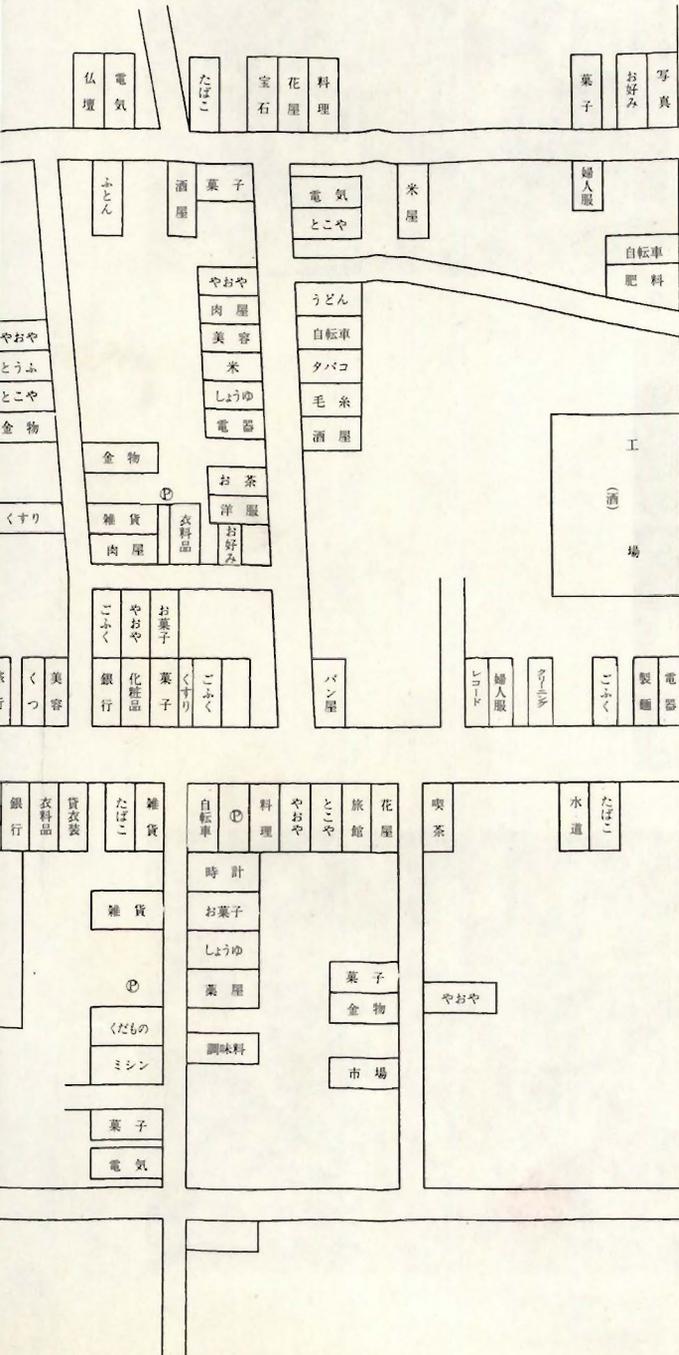


# 商店がい

高田の商店がいには、およそ150の店があります。



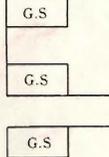
①文ぼう具店



①菓子店



①くつ店



## 商店がいの店

商店がいには、1つの種類<sup>しゆるい</sup>のしなものだけを  
売っている店（<sup>せんもん</sup>専門店）が多くあります。



①けしょうひん店



①書店



①花店

## 買い物に来るお客さんきゃく

専門店では、同じ種類しゅるいのしなものが多いので  
ほしいものを選びやすいのが特徴です。  
せんもん

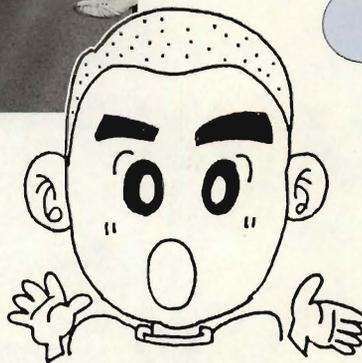
また、店の人もしなもののことをよく知っ  
ているので、安心して買いものができます。そし  
て必要なしなものについて相談そうだんしたり、取りよ  
ひつようせてもらうこともできます。  
と

店は夜8時ごろまでやっているところも多く、  
つとめ帰りに買いものもできます。



①  
この商店がいでは、ど  
んなしなものでもそろ  
うだね。

②  
つとめ帰りにでも店が  
開いているのでとても  
ありがたいなあ。



## 店どうしの協<sup>きょうりょく</sup>力

商店がいには、自動車<sup>じどうしゃ</sup>でお客<sup>きやく</sup>さんが来やすいように中央<sup>ちゅうおう</sup>駐<sup>ちゅう</sup>車<sup>しゃ</sup>場<sup>じょう</sup>があります。また、店どうし<sup>きょうりょく</sup>で協<sup>きょうどう</sup>力<sup>ちゅうしゃじょう</sup>し、共同<sup>きょうどう</sup>で駐<sup>ちゅう</sup>車<sup>しゃ</sup>場<sup>じょう</sup>をもっているところもあります。



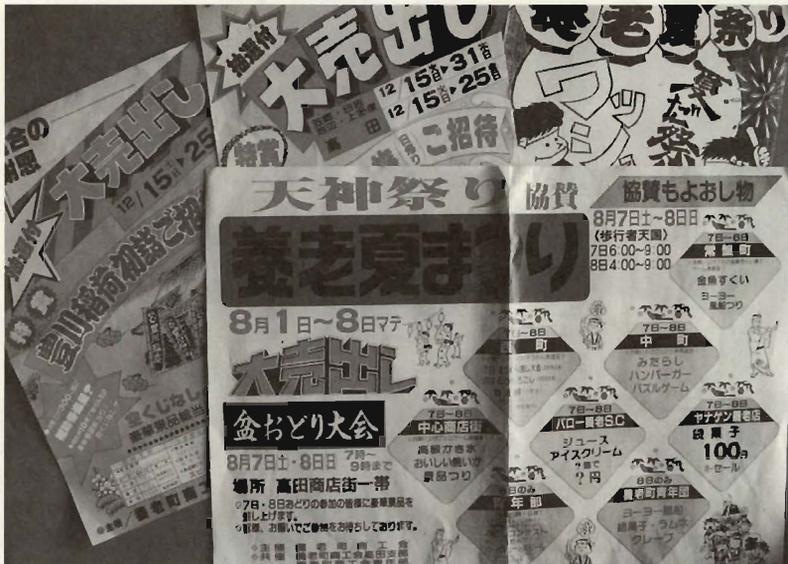
㊦ 共同の駐車場



㊦ 中央駐車場

## 商店がいの人々の工夫

商店がいでは、町内ごとに商店会をつくって、どうすればしなものがよく売れるようになるか話し合っています。年3回大売り出しをしたり、<sup>たかだ</sup>高田祭り・<sup>てんじんまつ</sup>天神祭りでは、商店がい通りを歩行者天国にするなど、力を合わせて、いろいろな<sup>くふう</sup>工夫をしています。



①大売り出しの広告



②天神祭り

## 商工会

商店がいの多くの店は、商工会に入っています。

商工会は<sup>さんぎょうさい</sup>産業祭もしていて、いろいろな店や会社が商品をつくりたり売ったりしています。

**'92養老町**

# 産業祭

とき/11月14日・15日  
ところ/養老町民会館

**14日**  
養老町民会館  
■特産品陳列 9:00~  
■産業祭式典 9:30~

**15日**  
養老町民会館  
■特産品陳列 9:00~  
■アトラクション 9:30~  
■養老町文化発表会  
■カラオケ大会 10:00~  
■豪華景品抽選会 10:00~

中央公民館  
■各バザー販売 9:00~  
■青空市場 10:00~  
■金魚すくい大会 10:00~  
■もろみ大会 11:30~

楽しさいっぱい！ご家族

⑩ ポスター



<sup>さんぎょうさい</sup>産業祭のようす



商工会  
しなものを売  
ったり作ったり  
する店や会社・  
工場につくって  
いる会

### しなものがし

いろいろなしなものが遠くからわたしたちのまちへはこばれてくることがわかりました。

ところで、わたしたちのまちでつくられているものには、どんなものがあるでしょう。

スーパーマーケットや近くのお店をのぞいてみました。



やさいにまいてあるテープやふくろのうらを見ると、わたしたちのまちの地名が書いてありました。



①店にならんでいるとうふ



正ちゃんの

もめんとうふ

地場産品  
認証  
岐阜県



4 907772 000015

品名	もめんとうふ	<b>大橋食品株式会社</b> 岐阜県養老郡養老町道江字 梓池533-1 TEL 工場(05843)4-0102 夜間(057)
原材料名	丸大豆・凝固剤	
標準内容量	450g	
製造年月日	別途表示	

①ラベル

## 見学の計画

みんなはわたしたちのまちでつくられている  
とうふについて知りたいことがたくさんありま  
した。工場へ行って調べてくることにしました。

- ・一日に何こぐらいつくっているか。
- ・とうふをつくる時にいるものは何か。
- ・どのようにしてつくるか。
- ・何人ぐらいはたらいているのか。
- ・一番気をつけていることは何か。

しらべたいことをカードに書いてこくばん黒板にはっ  
ていきました。

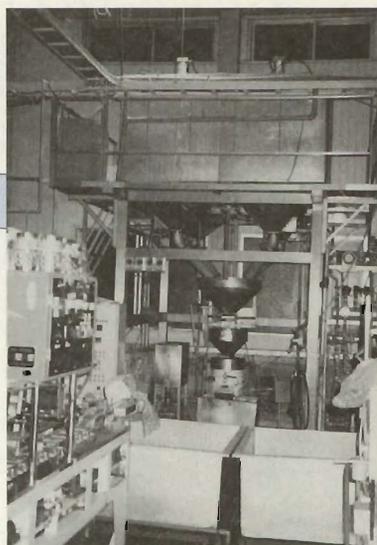
## 1. とうふ工場



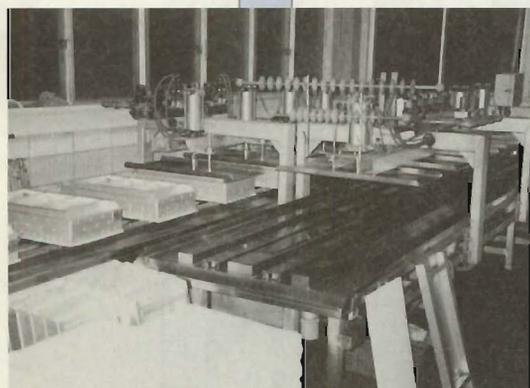
# とうふができるまで



① 大豆を前日に水にひたしてふやかしておく



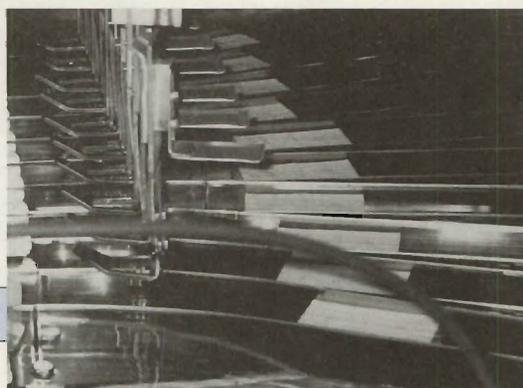
② つぶす



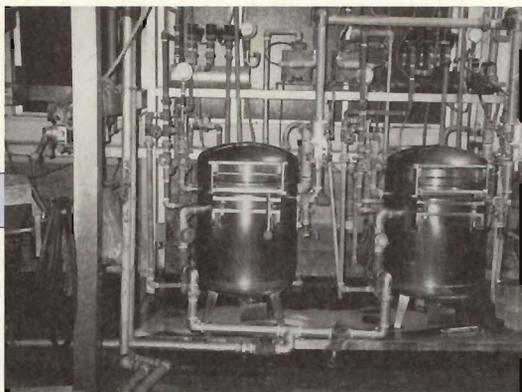
⑦ 形をつくる (プレス)



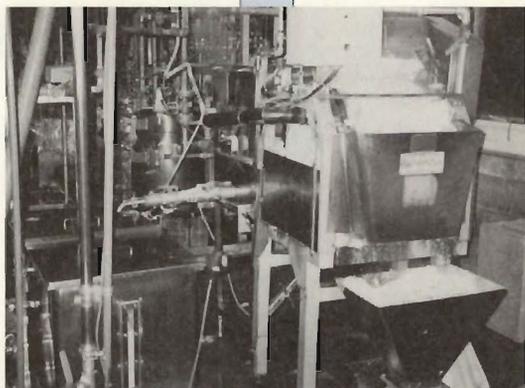
⑥ かた箱ばこに入れる



⑧ 切る



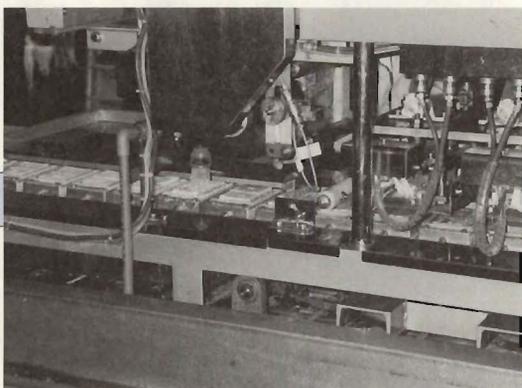
③ いる



④ 分ける  
とうにゅう  
(おからと豆乳)



⑤ まぜる  
とうにゅう  
(豆乳とにがり)



⑨ パックにつめる



⑩ 冷やす

## はたらく人

きかいのそばにいる人は、みんな白いふくをきています。食べものをつくっているので、えいせいにはとても気をつけています。

ふくだけでなく、手足のしょうどくなどにも気をつけています。



① せっけんで手をあらう



② 手をかわかす



③ ごみ・ほこりをとる



④ <sup>しごと</sup>仕事のふくそう

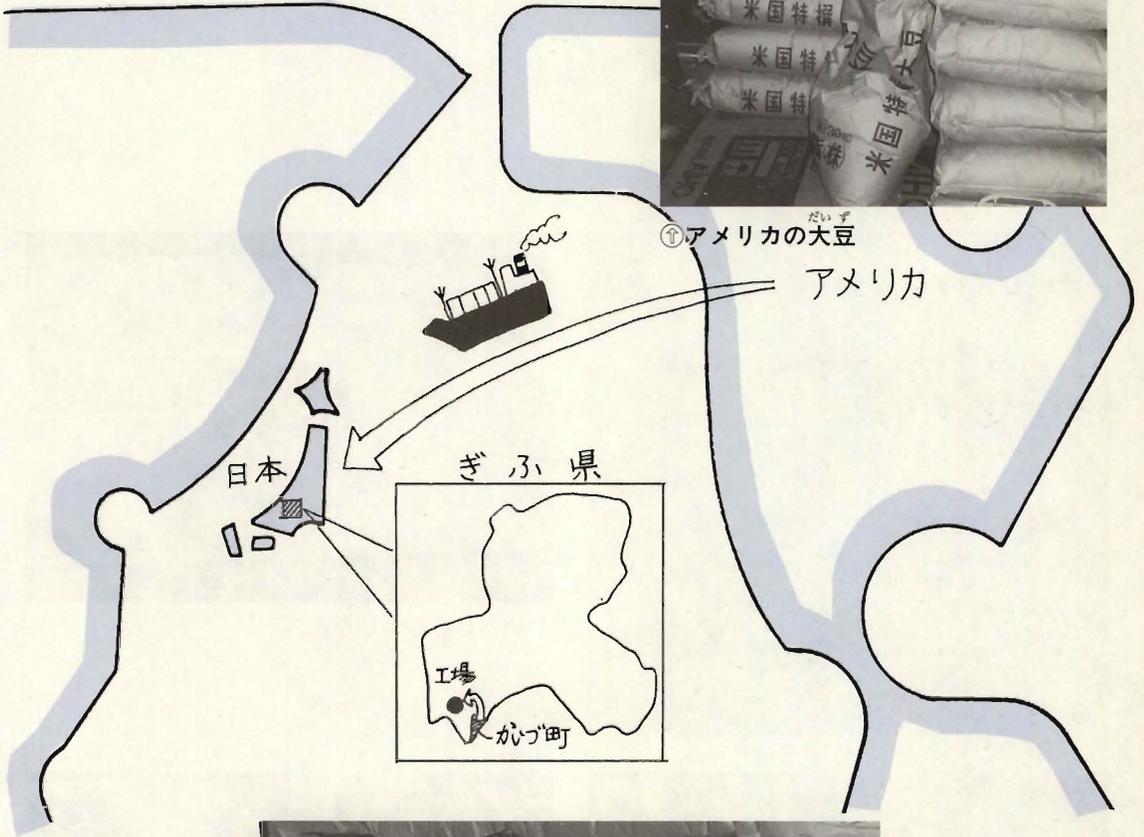
# げんりょう

げんりょうの<sup>だいず</sup>大豆の<sup>しら</sup>ふくろを調べました。

大豆はどこからはこばれてくるのか図にまとめました。



① <sup>だいず</sup>アメリカの大豆  
アメリカ



② <sup>だいず</sup>日本の大豆

## せいひんのくふう

おじさんのお話を聞いているうちに、  
どうふにもいろんなどうふがあること  
を知りました。

どうふいがいにも、あげやがんもど  
きをつくってみえました。

どんなことを考えながらつくってみえるのか、  
知りたくなりました。



### せいひんのくふう

むかしからつたえられたあじも大切ですが、  
新しいせいひんの<sup>けんきゅう</sup>研究も大切です。

「からしどうふ」や「やきどうふ」などはふ  
つうのどうふとはちがう<sup>きかい</sup>機械をそろえなければ  
ならないので大変ですが、<sup>へん</sup>食べる人のことを考  
えていっしょうけんめい作っています。

たくさん作って、おいておくことができない  
ので、ちゅうもの<sup>へん</sup>のあつた数だけつくるように  
しています。



①いろいろなせいひん



①がんもどきをつくる

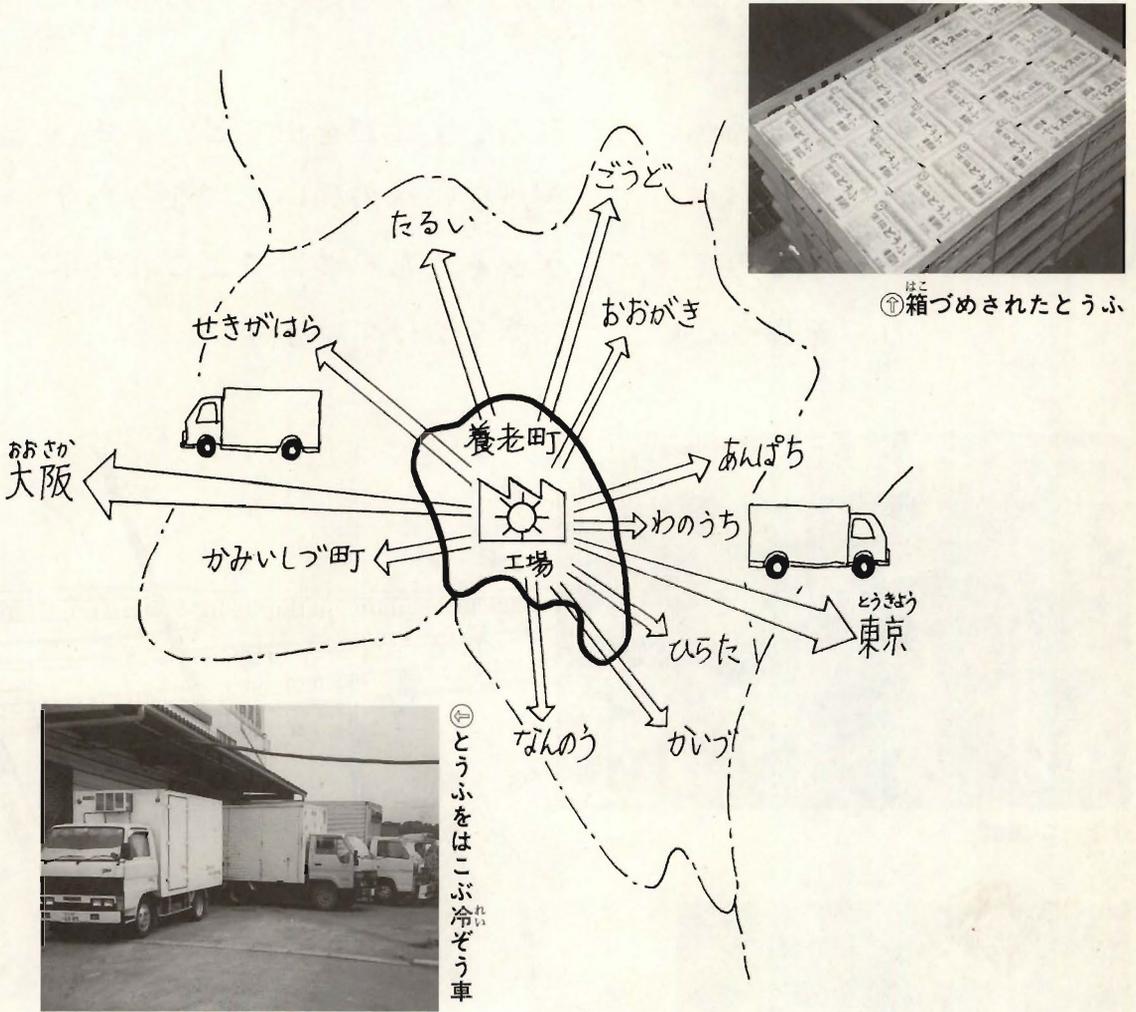


①あげをつくる

# とうふの旅 たび

とうふが一日にどれくらいつくられるのか調しらべました。

この工場のとうふは、近くのまちだけでなく遠くおくの市やまちへもトラックで送られています。



## 工場て一日につくる数 (だいたいの数)

とうふ	もめんとうふ	3,500
	きぬごしとうふ	180
あげ		7,000(冬は10,000枚)
がんもどき		1,000~3,000

## ひっこしてきた工場

まわりに家が少なくはい水に便がよいので、  
6年前に、ここに工場をたてました。前は名神<sup>めいしん</sup>  
高速道路<sup>こうそくどうろ</sup>の北で家が立てこんでいるところにあ  
ったのですが、場所<sup>ばしょ</sup>がせまく、朝早くから機械<sup>きかい</sup>  
の音でめいわくをかけたたりしたので今の場所<sup>ばしょ</sup>に  
ひっこしてきました。

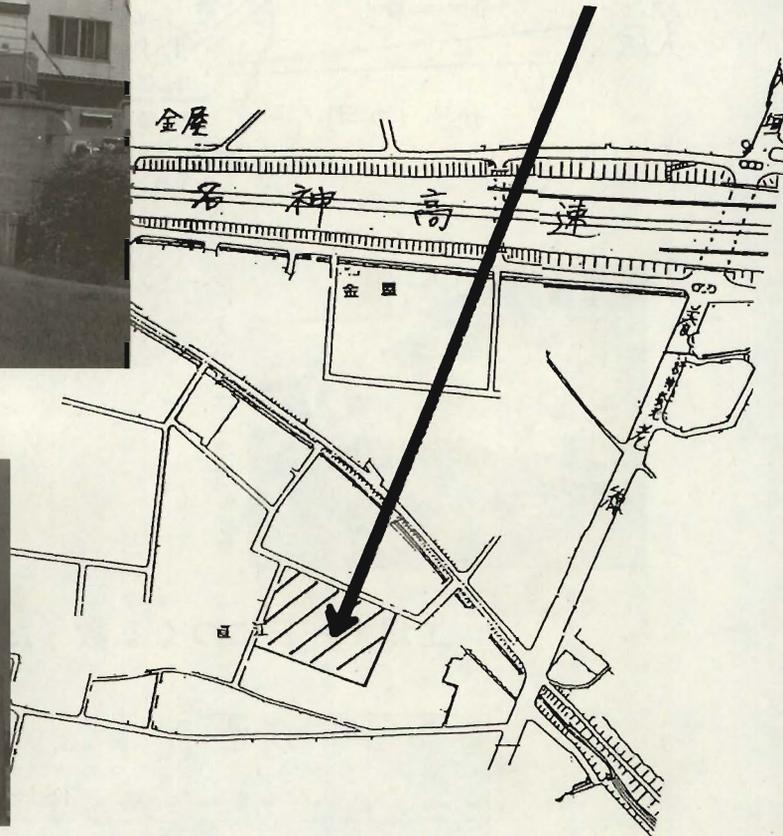
工場からおからのかすなどを出すと、くさい  
においがしたりきたない水の原いんになったり  
するので、じょうかそうちをつけてよごれた水  
を出さないように気をつけています。



① とうふ工場



② じょうかそうち



## はたらく人たち

工場のちゅう車場には、車がならんでいます。

いぜんは近くから自転車てんで通う人が多かったのですが、今は、遠くから自動車どうではたらきにくる人がふえました。



④ちゅう車場

### 工場ではたらいっている人の1日のすごしかた

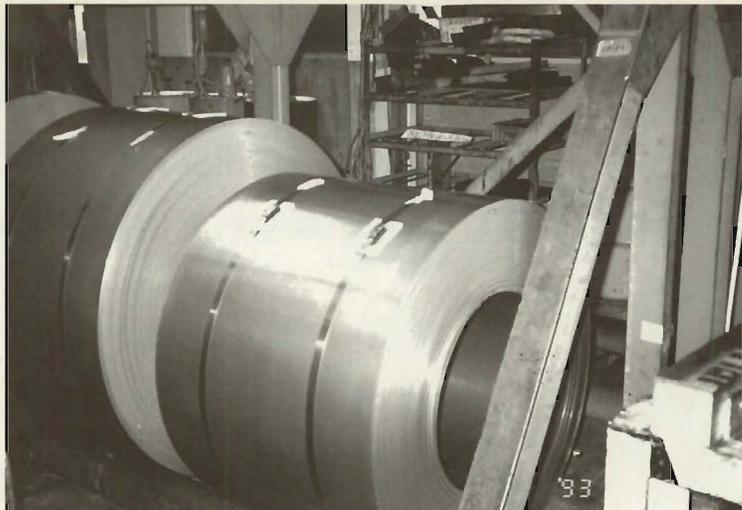
朝	2時半	起きて、仕事を始める ・ お湯で機械をしょうどくする ・ どうふを作り始める
	5時	はこ箱づめ
	8時	はいたつ配達
	11時	(トラック)
昼	2時 ～3時	休憩
夜	10時	すいみん

### おじさんのはなし

朝がはやく、工場の中もあつく、きびしい仕事なので、若い人がなかなかきてくれなくて大変でした。でも今は、遠くから来ていっしょうけんめいにはたらいてくれる人がいるのでとても助かっています。



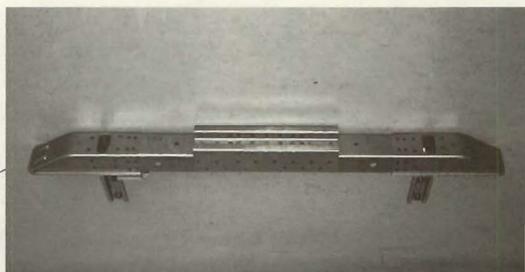
2. 自動車  
部品工場



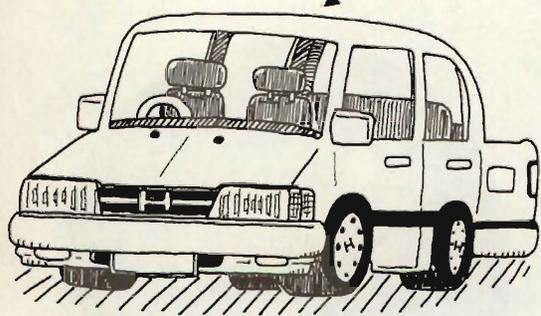
① 原りょうの鉄



② ドアのほね組み



③ バンパーのほね組み



この工場では自動車の部品をつくっています。

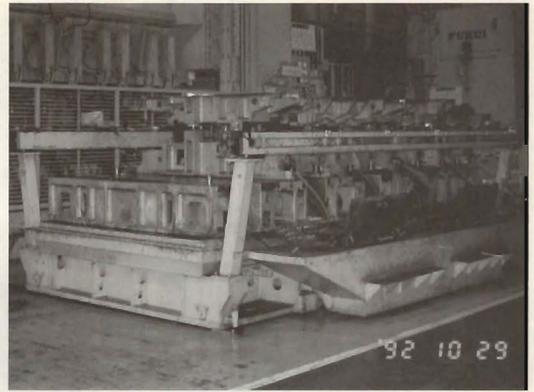
型をつくり、そこに鉄板をおき、大きなプレス機でおしつぶしてつくります。



④ ガソリン給油口のふた



①1500トンプレス機

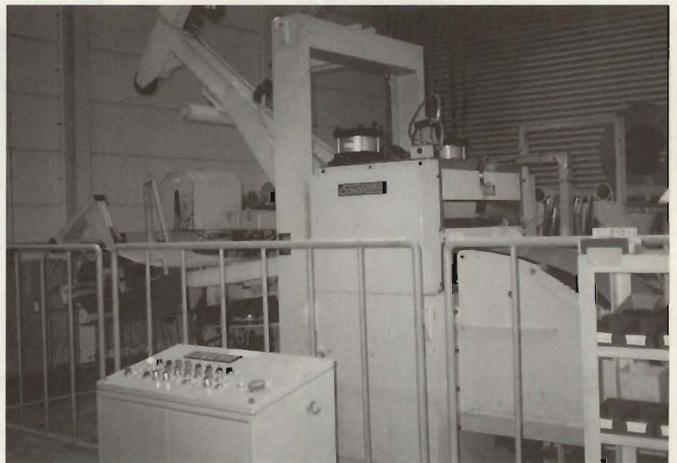


①かながた  
金型

この工場では、毎日たくさんのせいひんを作  
っています。同じものをはやく正かくに作るた  
めに、仕事はほとんどしごと機械きかいが行い、人は原りよ  
うをじゅんびしたり、かながた金型げんをかえたり、できた  
せいひんをまとめたりするしごと仕事しごとをしています。  
工場ではあんぜん安全にも気をくばっています。



①はたらく人のふくそう

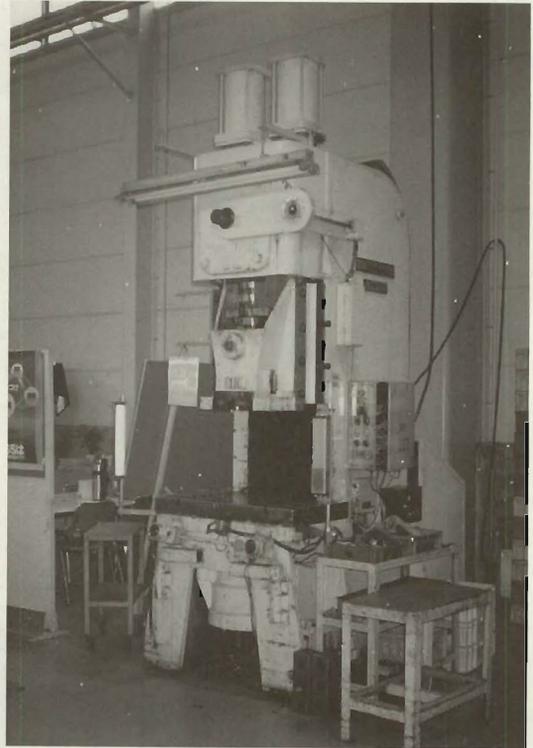


①あんぜん安全へのこころくばり

プレス

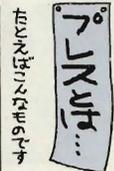


① <sup>かながた</sup>たくさんの金型



① <sup>き</sup>いろいろなプレス機①

たくさん<sup>かた</sup>の型があります。作る部品<sup>ぶひん</sup>によって  
とりかえます。100こ以上<sup>いじょう</sup>の型<sup>かた</sup>があるそうです。



けんさから出荷へ



⑩けんさ



⑪ケースづめされたせいひん



⑫出荷

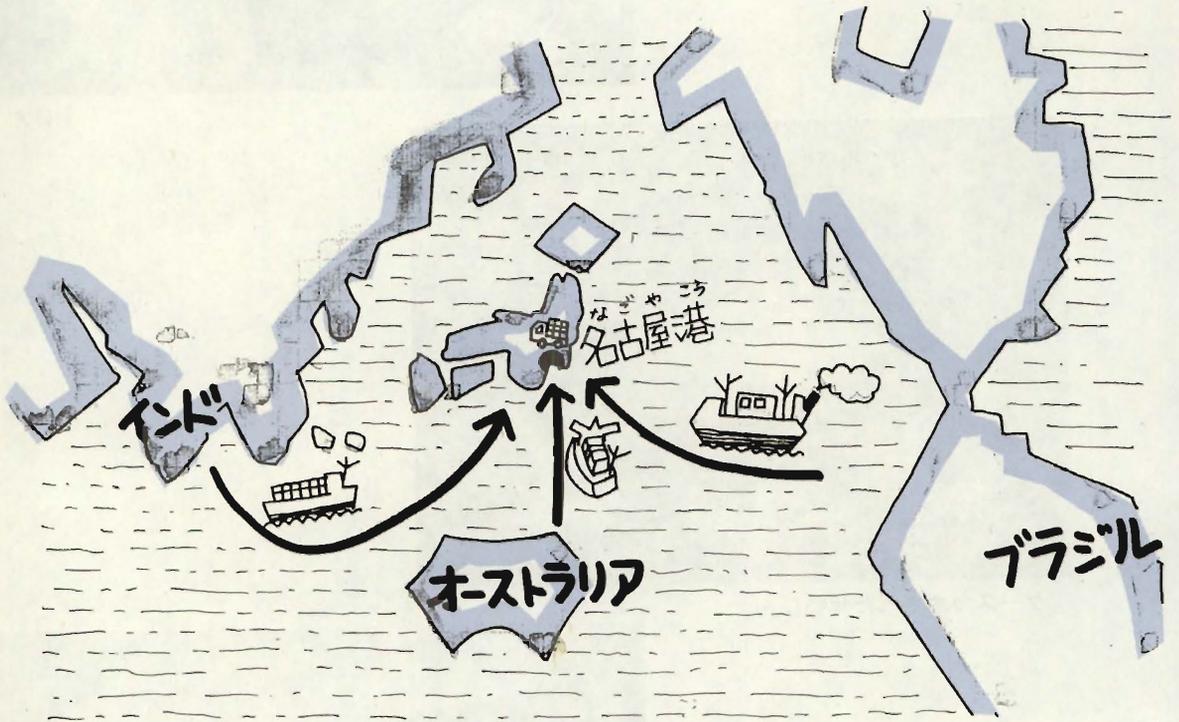
できたせいひんは、一つ一つけんさをします。  
合かくした<sup>せいひん</sup>製品は、ケースにつめられ、トラッ  
ク<sup>しゅつか</sup>で出荷されます。

## 原りょうはどこから

原りょうは鉄てつを使つかっています。

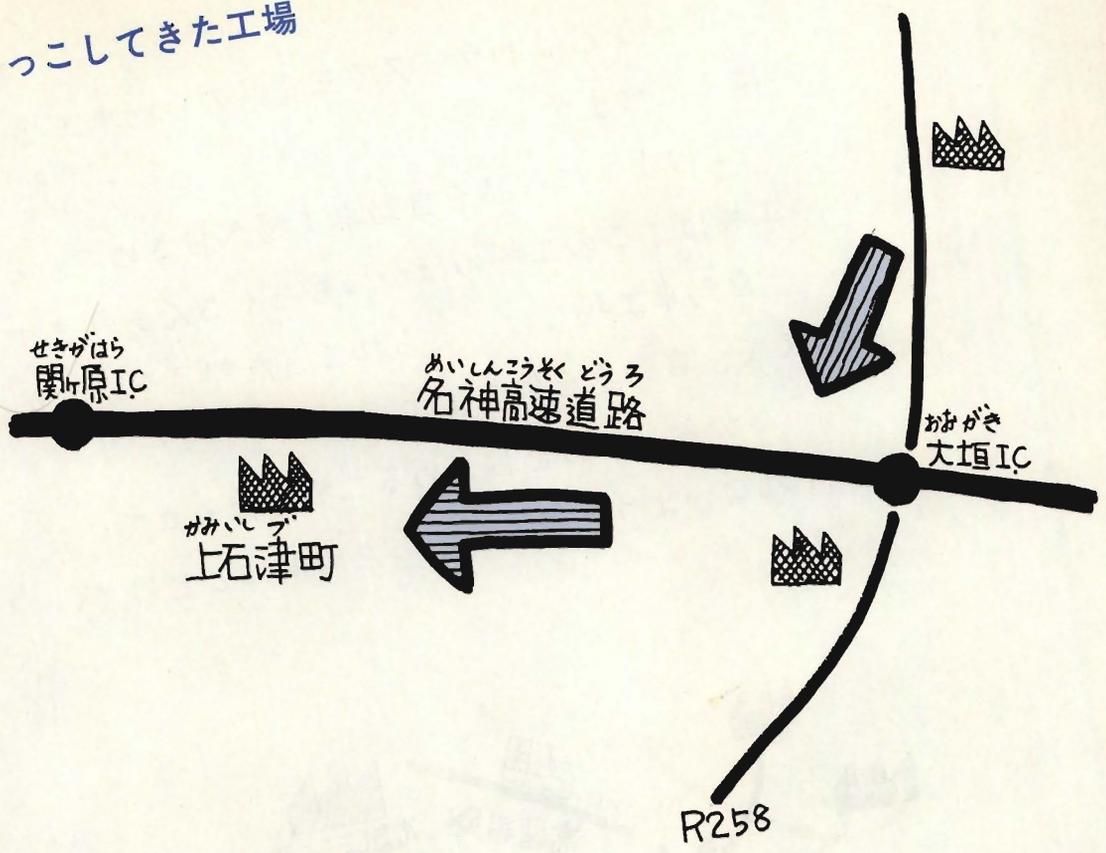
鉄てつの原りょうは鉄てつこう石です。

鉄てつこう石は、オーストラリア、ブラジル、インドなどから船ではこばれてくるのです。



ずいぶん遠くから、はこばれてくるのですね。

ひっこしてきた工場



この工場は、まえは<sup>おおがきし</sup>大垣市だけに  
 ありました。



たくさんの自動車<sup>どう</sup>をつくるようにな  
 ると部品<sup>ぶひん</sup>の注文<sup>ちゆうもん</sup>がふえ、今までの  
 工場では、生産<sup>せいさん</sup>がまにあわなくな  
 りました。

それで、交通<sup>べん</sup>の便がよい国道ぞい  
 の今の場所に、新しく工場をつくつ  
 たのです。

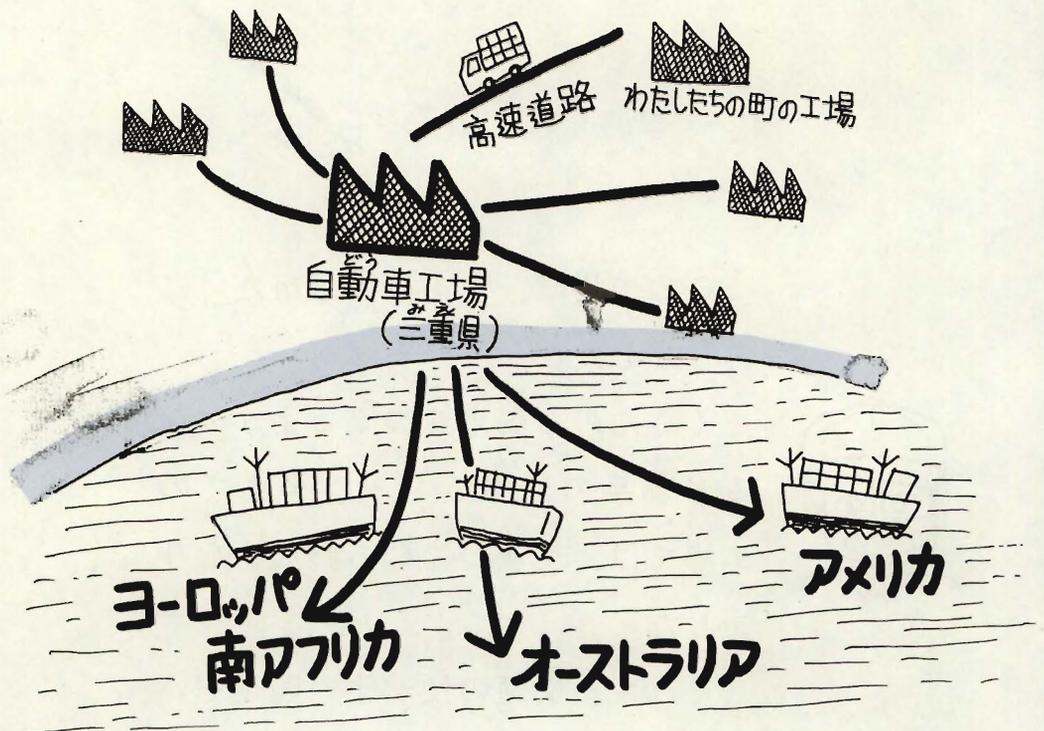
## 完成品はどこへ

せいひんはトラックで三重県の自動車工場へはこばれます。

このように部品を自動車工場へおさめている工場は、この工場のほかにもたくさんあります。

自動車工場では、送られてきた部品を組み立てて、自動車を作ります。

だから、部品をおさめる工場は組み立てにおくれないよう、毎日きまった時間にとどけています。



自動車工場くで組み立てられた自動車は、世界せかいの国々へはこばれています。

## せいひんの工夫くふう

この工場では、プレス機きを使ってせいひんつかを作ります。

プレス機きを使うつかには、正かながたかくな金型かながたを作ることが大切です。そこでこの工場では、コンピュータかながたで金型かながたの設計図せつをかいています。



④コンピュータ

また、一日しゅるいにいろいろな種類のせいひんしゅるいをたくさん作るために、一日中プレス機きを動かうごかしています。

このため、三こうたいではたらいっています。

	8:30	9:30	12:00	13:00	14:00	16:30	17:30
日勤 <small>にっ きん</small>	後ハバ骨 <small>ごうぱぼね</small>	ドアを強める骨 <small>ドアを強める骨</small>	昼食 <small>ひるめし</small>	窓わく骨 <small>まどわくぼね</small>	車中柱骨 <small>くるまなかばしら</small> (外がわ)	ドア外板 <small>ドアがわ</small>	
	1000 <small>こ</small>	1500 <small>こ</small>		800 <small>こ</small>	1200 <small>こ</small>	1000 <small>こ</small>	
夜勤 <small>や きん</small>	17:30	18:30	19:30	21:30	22:30	24:00	2:00 2:30
	ドア内板 <small>ドアうちがわ</small>	車後角骨 <small>くるまごしかど</small>	ドア後板 <small>ドアごうばん</small>	夜食 <small>よめし</small>	車輪受け骨 <small>くるまわがら</small> (前)	車輪受け骨 <small>くるまわがら</small> (後)	車中柱骨 <small>くるまなかばしら</small>
	1000 <small>まい</small>	1500 <small>こ</small>	1500 <small>こ</small>		900 <small>こ</small>	1050 <small>こ</small>	500 <small>こ</small>

## はたらく人たち

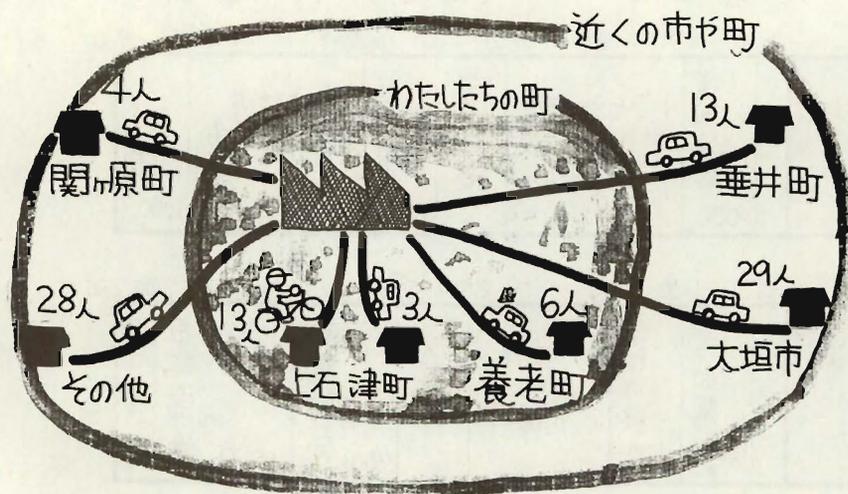


①はたらく人たち



①ちゆう車場

工場では、たくさんの方がはたらいています。  
 はたらく人たちが通ってくるようすを、少し  
 くわしく調<sup>しら</sup>べてみました。



自動車<sup>どう</sup>の部品<sup>ぶひん</sup>を作る仕事<sup>しごと</sup>だけでなく、そのほ  
か<sup>しら</sup>のようすについても調べてみました。



① 食堂<sup>どう</sup>で昼ごはんを食べる



① 勉強会<sup>べん</sup>をする



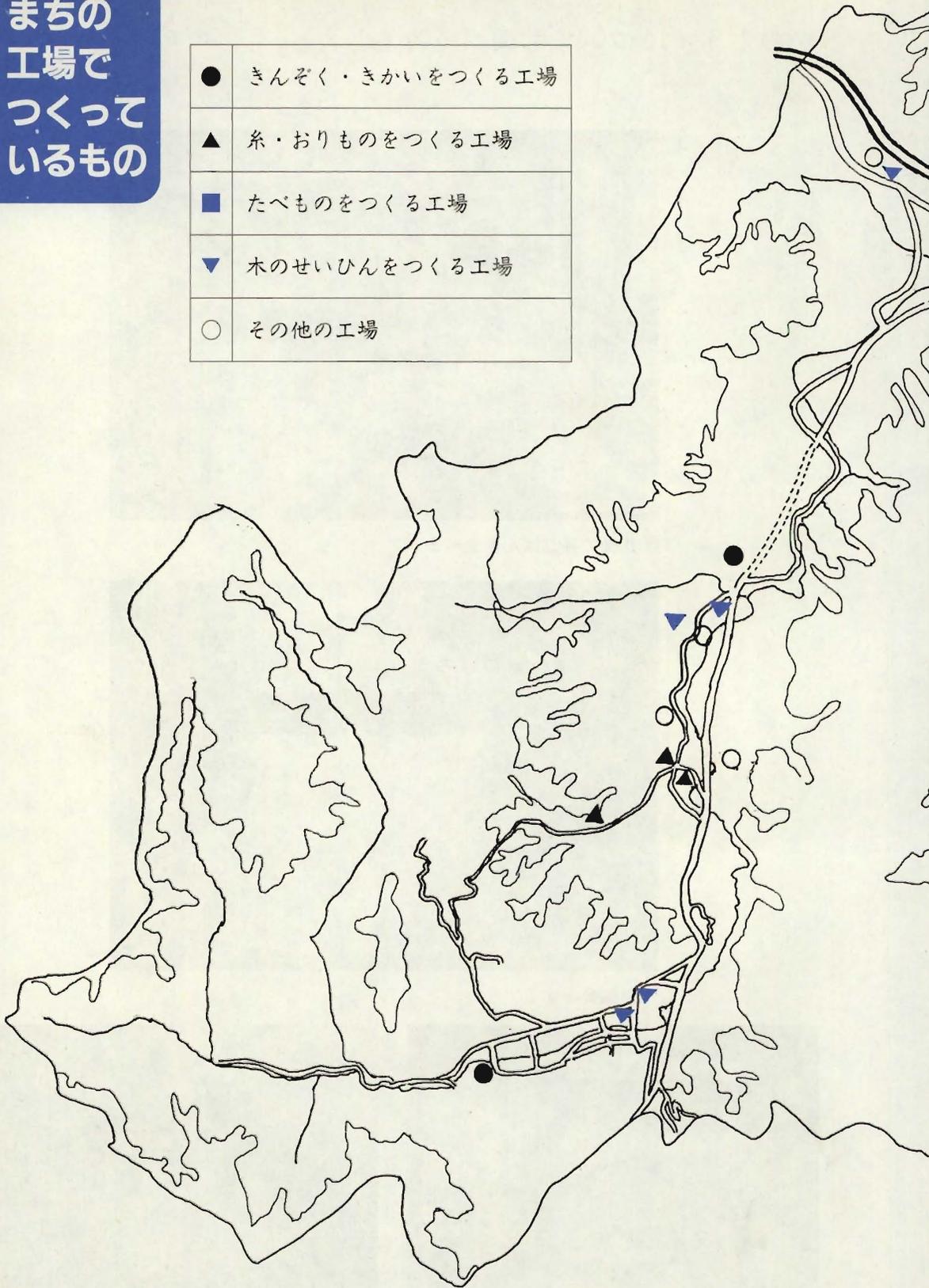
① 昼休みにテニスをする



① ロッカー<sup>ろ</sup>ールームで着がえをする

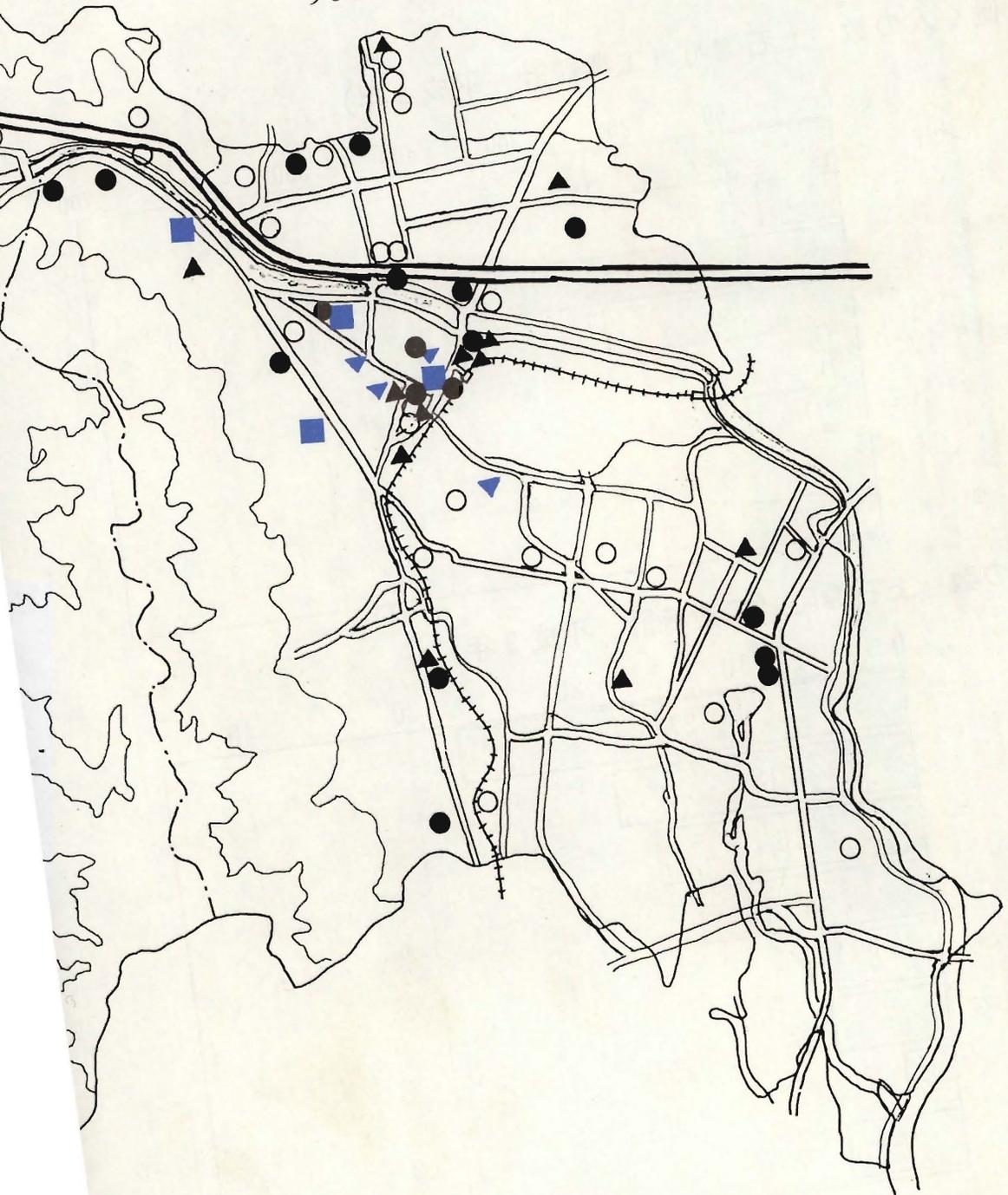
### 3. まちの 工場で つくって いるもの

●	きんぞく・きかいをつくる工場
▲	糸・おりものをつくる工場
■	たべものをつくる工場
▼	木のせいひんをつくる工場
○	その他の工場



## いろいろな工場

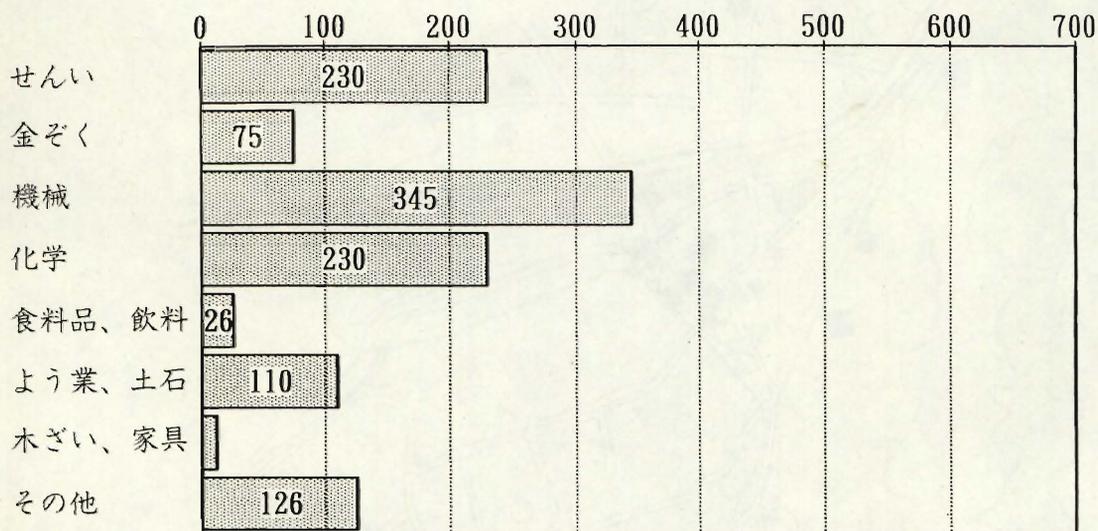
とうふ工場や自動車部品<sup>どうぶひん</sup>工場のほかにもわた  
したちのまちには、たくさんの工場があります。  
大きな工場を地図にまとめてみました。



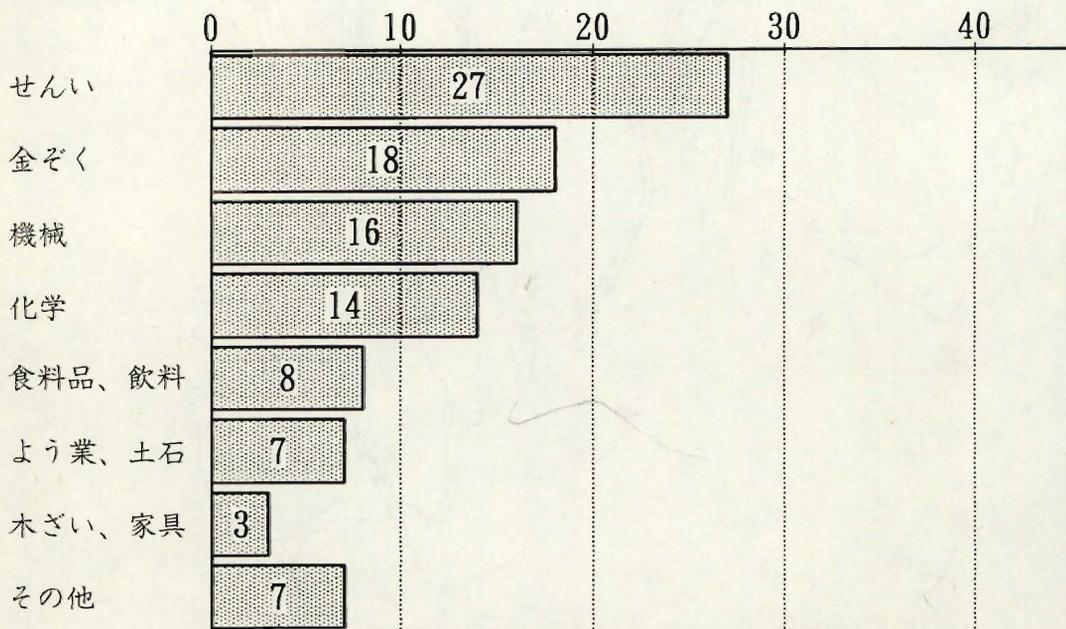
## 大きな工場

わたしたちのまちでは、どんなものをつくる工場が多いでしょう。またどんな工場はたらで働く人が多いでしょう。

働く人の数 上石津町（工業統計 平成3年）

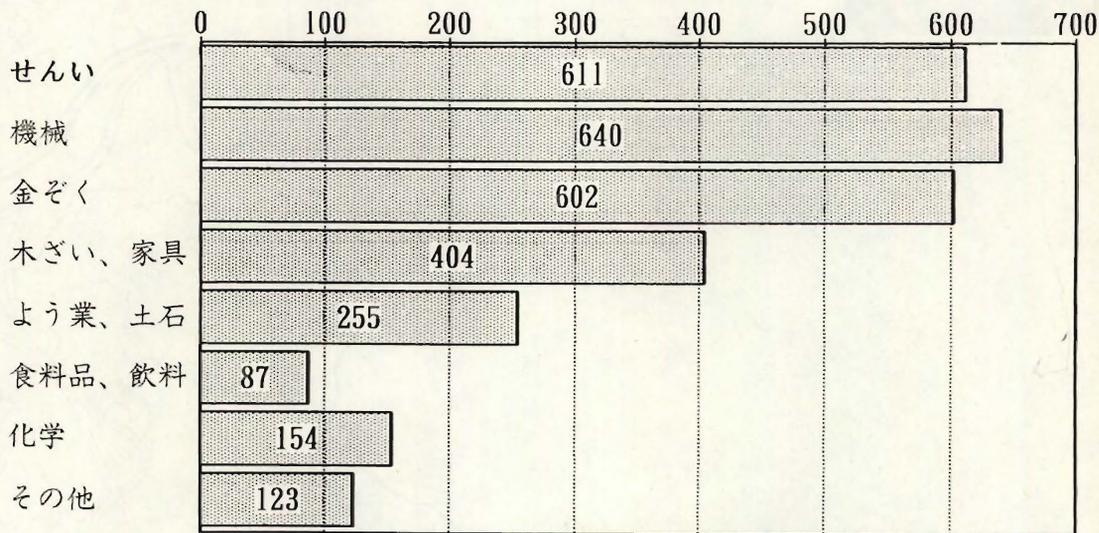


工場の数 上石津町（工業統計 平成3年）

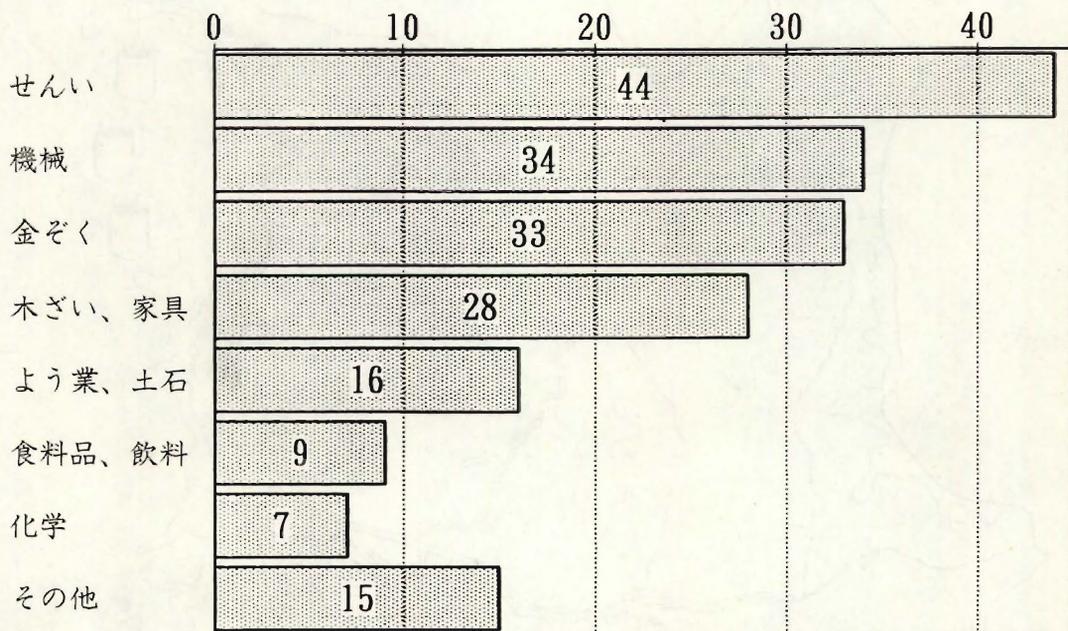


工場の数や働いている人の数を調べてみました。  
 工場の数や働いている人の数を調べてみました。  
 た。グラフからどんなことがわかるでしょう。

### 働く人の数 養老町（工業統計 平成3年）



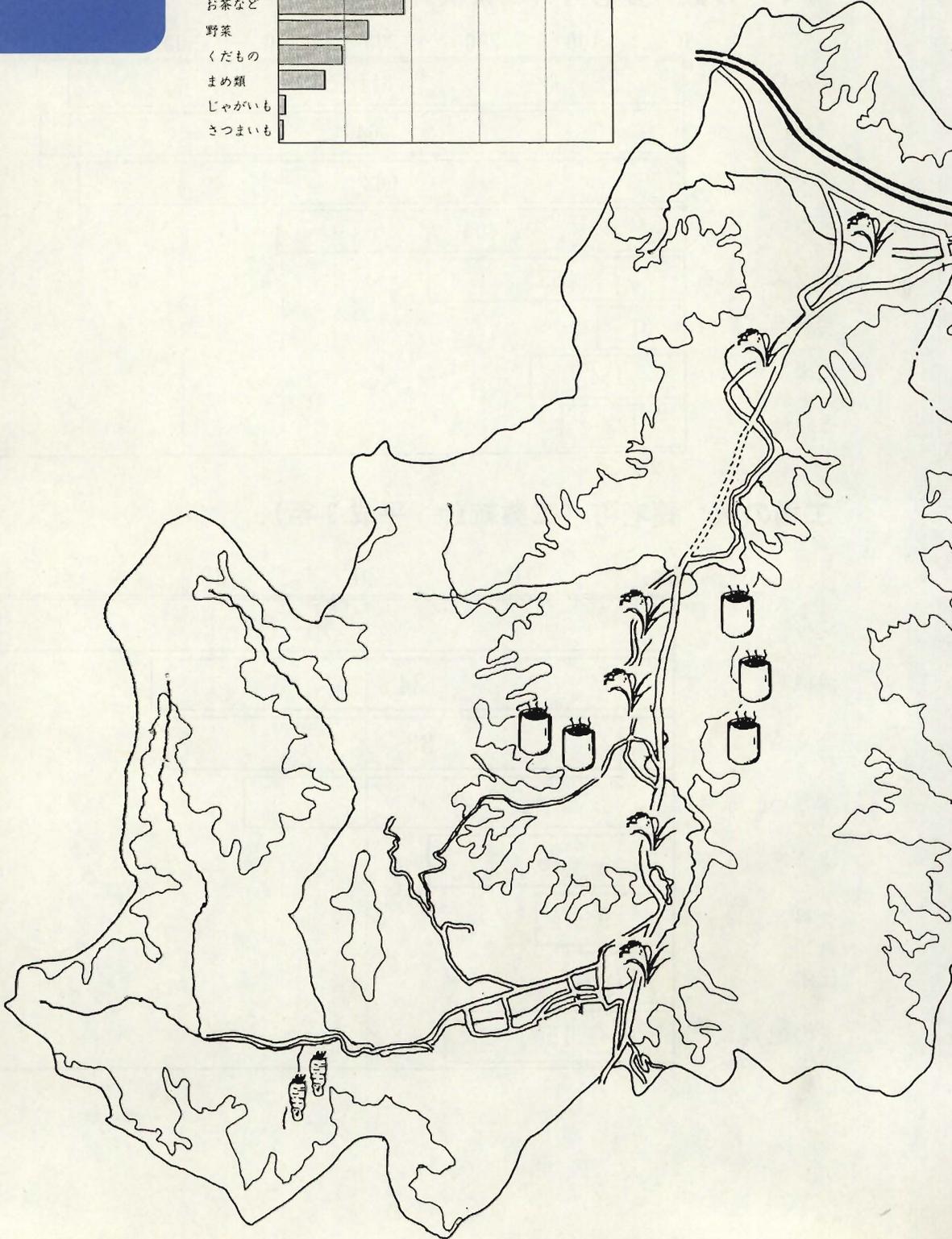
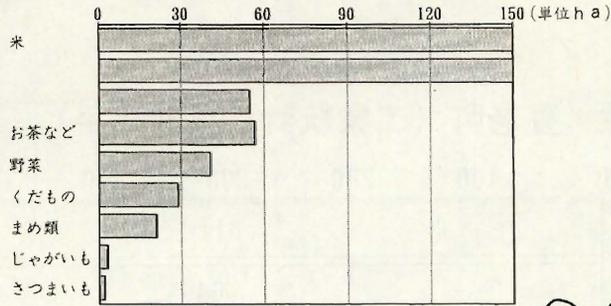
### 工場の数 養老町（工業統計 平成3年）



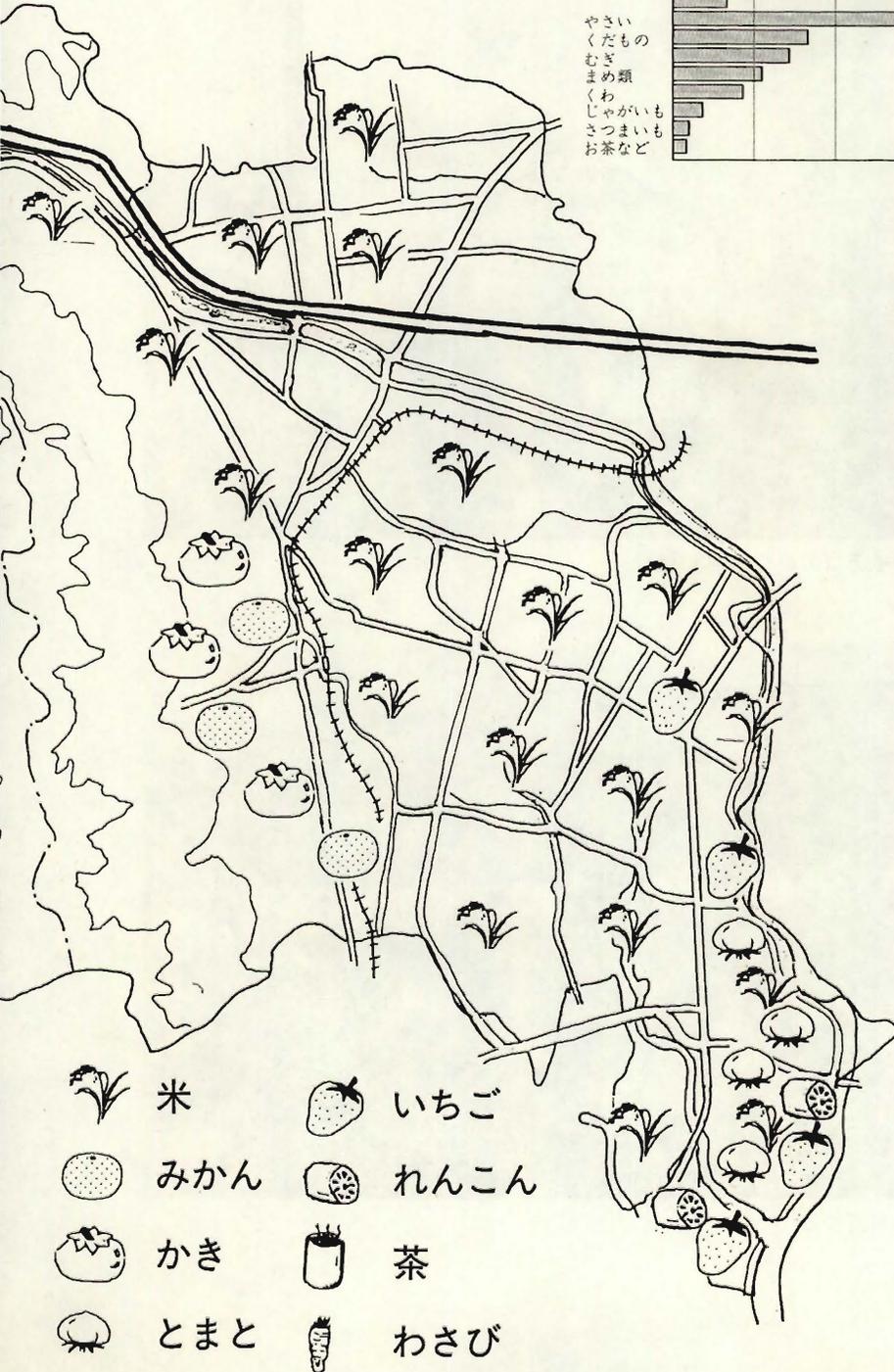
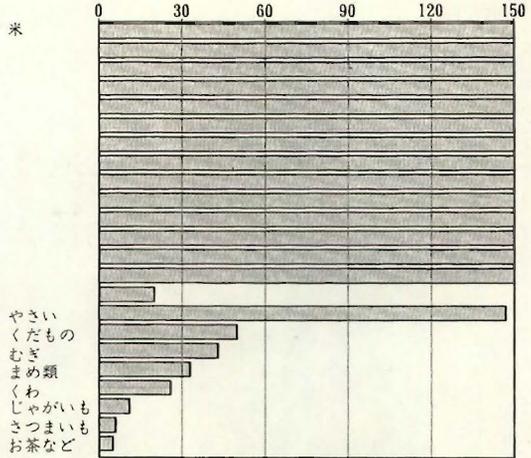
のうさくもつ  
**4. 農作物を  
 そだてる**

さくもつ  
**つくられている作物**

のうさくもつ  
 農作物がつくられている面積 上石津町 (岐阜農林水産統計年報 平成4~5年)



(単位: ha)



わたしたちのまちでいちばん多くつくっているのは米です。どの地区でも田を見ることができます。

自分たちの土地のようすやきこうにあったものを作る<sup>どりよく</sup>努力もさかんになってきました。



①イチゴのハウスさいばい



①お茶つみ

# ①ハウスさいばい

ようろう

養老町ではたくさんのハウスがみられます。



①ハウス (トマト)



②ハウス (イチゴ)



③とり入れられたイチゴ



④トマトづくり



⑤花づくり

## イチゴづくり

ハウスの中をのぞいてみました。寒さをふせぎ、  
よいイチゴを作るためにたくさんの工夫がして  
あることがわかります。





① 二重屋根<sup>ふたへ</sup>



① マルチ



① もみがら



① 電球<sup>きゅう</sup>



① 温度計<sup>おんど</sup>



① 温度をちょうせつする道具<sup>おんど</sup>

## イチゴづくりのしごと

ハウスをつかったイチゴづくりのしごとを聞いて、こよみを作りました。



### 伊藤さんのハウスイチゴづくりこよみ

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
成長	畑				ハウス								
	苗を育てる		定植する <sup>ていしょく</sup>		開花する			取り入れて出荷する <sup>しゅつが</sup>					
主な仕事	・畑の手入れをする	・肥料 <sup>ひりょう</sup> をまく			・ビニールハウスを組み立てる	・マルチシートをはる	・葉をつまむ	・みつ峰 <sup>はち</sup> を入れて受粉 <sup>じゅふん</sup> させる	・消毒 <sup>しょうじゆく</sup> をくりかえす	・温度調節 <sup>ちゆうてうせつ</sup> をくりかえす	午後に出荷 <sup>しゅつが</sup>	・午前 <sup>ごぜん</sup> にバックづめ	・二番目 三番目のイチゴがとれる

ハウスイチゴづくりの工夫と苦勞をきいてみました。

・ハウスをつくるのにはたくさんのお金がかかるので、お金を準備するのがたいへんでした。

・一番たいせつなのは、温度のちょうせつです。ハウスの中が22度くらいになるように、電球をつけたり、マルチシートをかけたり、とくに寒いときはハウスの中にもういちまいシートをかけます。

・それから水の多い土地なので、水がついたり、こおりついたりしないようにするのも、たいへんです。もみがらをまいたり、土の中に電熱線をいれて土がこおらないようにします。

・主に北陸地方に売っています。名古屋方面にも出したいけれど、いろいろな土地で作っているので、競争がたいへんです。





ハウスでイチゴをつくっているおばさんに、  
どうしてハウス栽培さいばいをしているのか、きいてみ  
ました。

・伊勢湾台風で田に水がついてお米がとれませんでした。それで、米づくりだけでは心配になり、いちごづくりもはじめました。あたたかい気候なのでつくれると思ったのです。

・ハウスで栽培するのは、春だけでなく、他の季節にも収穫するためです。米づくりがいそがしい時期はさけて、秋や冬に収穫するようにしています。それにこの時期はいちごが高く売れるのです。

## ②お茶づくり

かみいしづ

上石津町ではこ高いところに、たくさんのお茶畑がみられます。



①お茶畑

このあたりにお茶畑が多いわけを聞いてみました。

・水はけがよく、山の南むきのしゃ面は日あたりがよいので、お茶づくりにてきしているのです。



②いろいろなお茶

## お茶畑のようす

春のころの「茶つみ」を見てきました。広い畑には手をつむ人、<sup>きかい</sup>機械でかりとる人と、しごとのようすもちがうことがわかります。



①手をつみとる



②<sup>きかい</sup>機械でかりとる

仕事の<sup>くろう</sup>苦勞や<sup>どりよく</sup>努力を聞いてみました。

### おばあさんのはなし



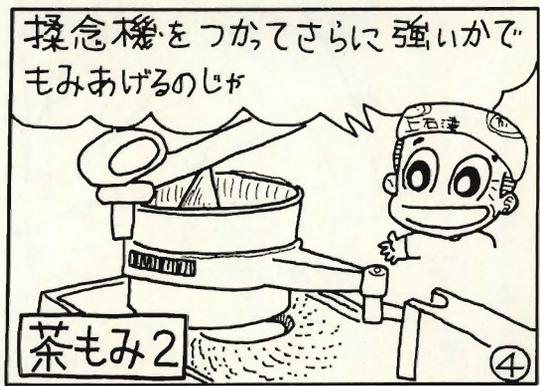
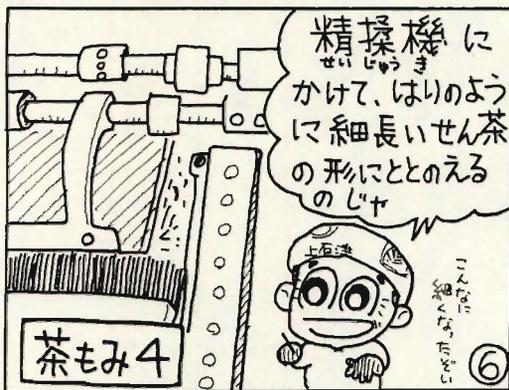
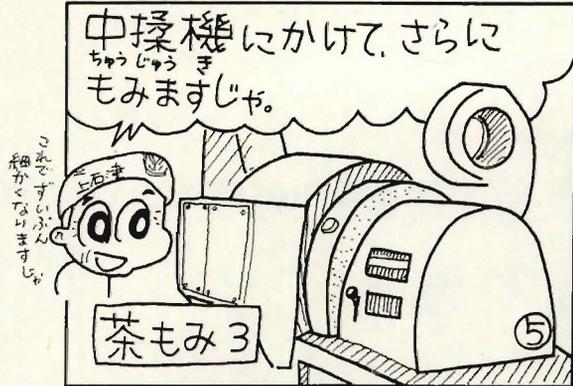
・立ちづめのしごとなので、足こしがつかれますが、このお茶は<sup>とつきゅうひん</sup>特級品になると思うとやりがいがあります。

### おじいさんのはなし



・古い<sup>は</sup>葉がまじってはいらないように、ゆっくりていねいにかっていきます。

# お茶ができるまで

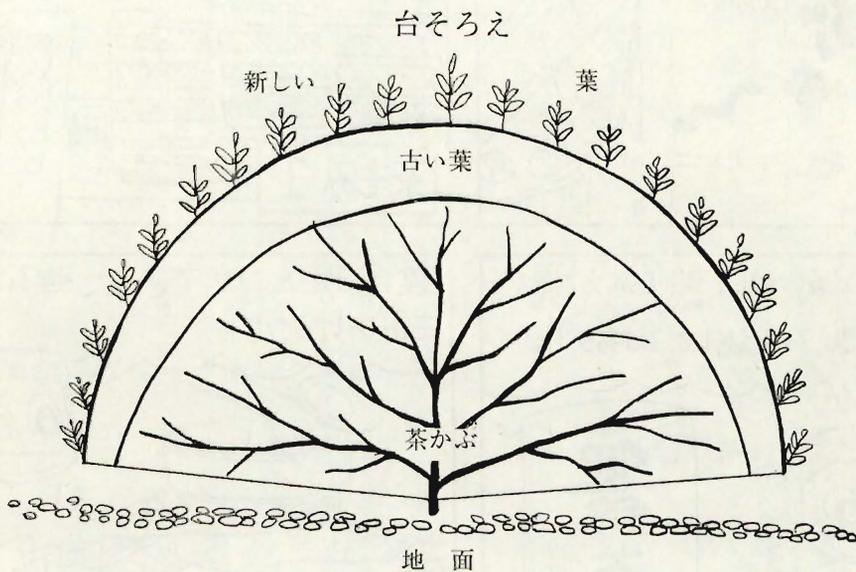


## お茶づくりのしごと

お茶づくりのしごとを聞いて、こよみをつくりました。

### お茶づくりこよみ

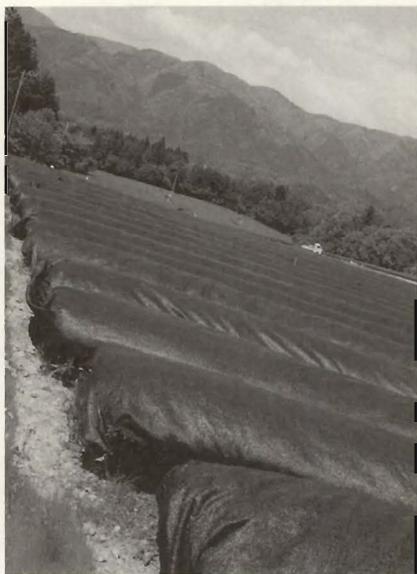
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
成長				春め		夏め			秋め			
茶かり					一番茶		二番茶	三番茶		秋番茶		
ひりょう			春ごえ	め出しごえ	夏ごえ(1)	色つけごえ	夏ごえ(2)		秋ごえ		しきわら	
その他の仕事	雪よけ	雪よけ		春の台そろえ しもよけ						春の台そろえ		雪よけ



くろう どりょく  
しごとの苦勞や努力を聞いてみました。



- ・やわらかい葉にするために黒いぬのをかぶせて、お日さまの光をやわらげることもします。
- ・一番茶のころに、おそじもがおりると茶色で使いものにならない葉になってしまいます。ぼうそうファンをまわして、しもをふせぎます。
- ・茶をせい品にするのに大事なものは、むすおん度です。何回も葉をさわってにおいをかいでたしかめながら、おん度をちょうせつします。

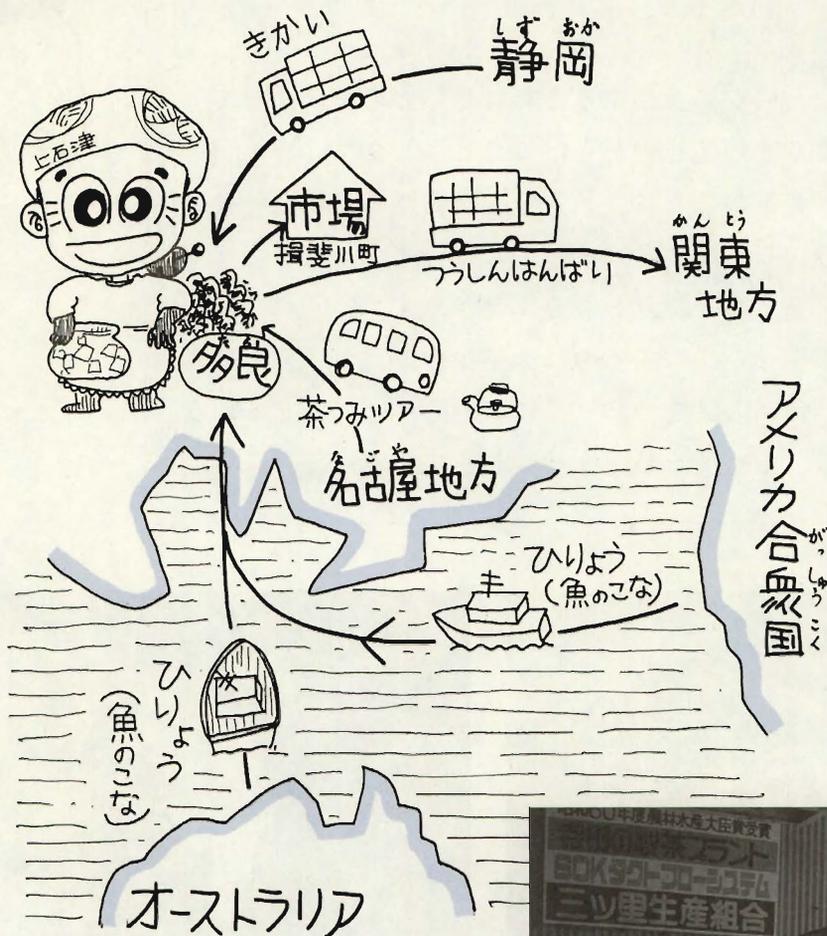


①葉に黒いぬのをかぶせる



②お茶の葉をむす

お茶づくりはよそのまちとどんなふうにつながっているか調べました。



① 出荷 (しゅつか) (Shipment)

# 5 変かわって来た人びとのくらし

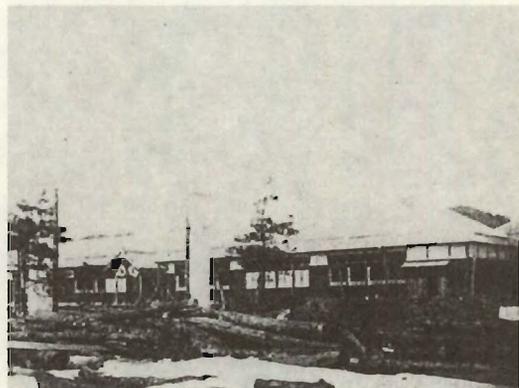
学校の一階かいろう下よこの横おにに古い鬼瓦おにがわらが  
おいてあります。これは今から70年前の小学校の校しかんゃげん関かんにつ  
けられていたものです。Tという文字しょうをかたどった校章しょうがついたとて  
もハイカラな瓦かわらです。

気をつけて学校の中を見てもとほかにも古くからあるものがのこっ  
ていました。

## 1. 道具どうぐから 昔むかしを 調しらべる



①げん関かん おにがわらの鬼瓦



①校しぜんけいゃ全景



①鬼瓦おにがわら

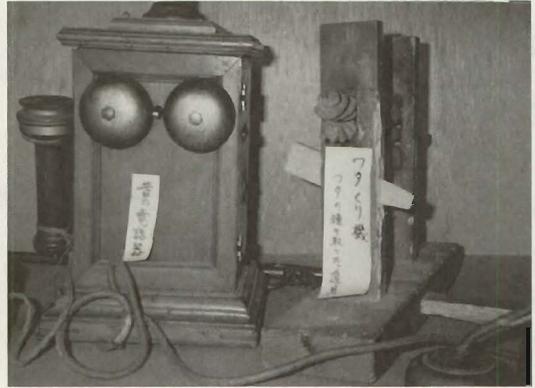


①かね

みんなで家から古い道具<sup>ぐ</sup>をもちよりました。  
古い道具<sup>ぐ</sup>から昔<sup>むかし</sup>がみえてきます。



①みの・かんじき



②電話・ワタくり機



③しゅろたび・わらぐつ



④てかぎ・木づち



⑤み・ふるい



⑥ランプ・そろばん・おの

むかし  
昔のくらし

昔は今のよう<sup>べんり</sup>に便利<sup>ぐ</sup>な道具<sup>ぐ</sup>はありませんでし  
たが、家族<sup>ぞく</sup>みんな<sup>ぞく</sup>で夕食<sup>しご</sup>を食べたり、協力<sup>きょうりょ</sup>し  
ながら仕事<sup>しごと</sup>をしたりしていました。そんななか  
に家族<sup>ぞく</sup>のあたたかいふれあいがたくさんみられ  
ました。

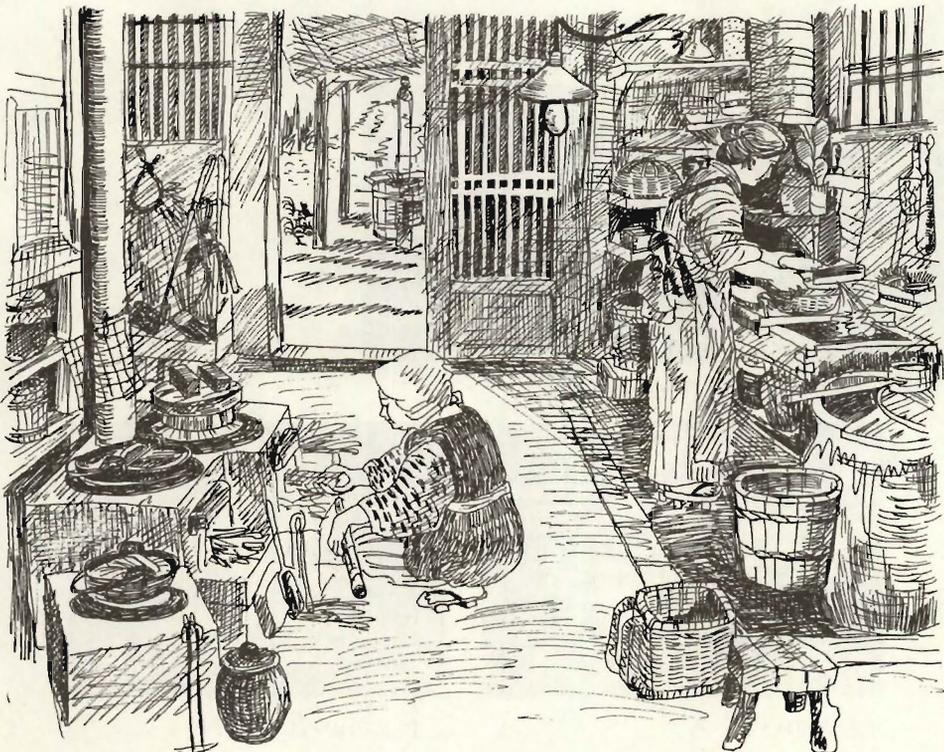
まさかずくんのおばあさんの話



子どものころ、ごはんはこのかまどで  
たいていました。朝ごはんを食べるま  
でにぞうきんがけや土間<sup>どま</sup>のはきそうじ  
をして、学校へ行きました。

夕ごはんはお父さんが仕事からかえってくるのを  
待って、みんなで食べました。

夜は1つの電球の下できょうだいそろって勉強し  
ました。お父さんはわらぞうりをあみ、お母さんは  
つくろいものをしていました。



## きょうどしりょう館<sup>かん</sup>をたずねて

かみいしづ 上石津町にあるきょうどしりょう館<sup>かん</sup>に行つて  
みました。

たくさんの古いものがあつて、<sup>むかし</sup>昔のくらし  
のようすがよくわかります。

### きょうどしりょう館<sup>かんちょう</sup>の館長さんのお話



私たちのきょうどし<sup>しぜん</sup>は自然いっぱいの  
山のまちです。

ここで昔<sup>むかし</sup>の人たちは何を食べてどん  
なくらしをしていたのでしょうか。

しりょう館<sup>あつ</sup>へ集められた古い道具<sup>ぐ</sup>の一つ一つには、  
<sup>むかし</sup>昔の人たちが生活をよくするためにどんなちえをし  
ぼり、どのように<sup>どりよく</sup>努力したかというあしあとがよ  
くわかります。



① きょうどしりょう館<sup>しりょうかん</sup>



② いろいろ



③ 民具<sup>みんぐ</sup>のいろいろ



④ 民具<sup>みんぐ</sup>のいろいろ

## 2 まいの地図をくらべて

これは今から100年くらい前の笠郷のようすをあらわした地図です。今のものとくらべるといろいろなことが分かります。

- ・<sup>てつどう</sup>鉄道がしかれています。
- ・田がきちんとせいらされています。
- ・<sup>ろ</sup>道路がふえています。

2 まいの地図の間の100年間にくらしのようすがどのように<sup>か</sup>変わってきたのかを<sup>しら</sup>調べることにしました。

2. 暮らしの  
うつり  
か  
変わり



① 100年前



② 今

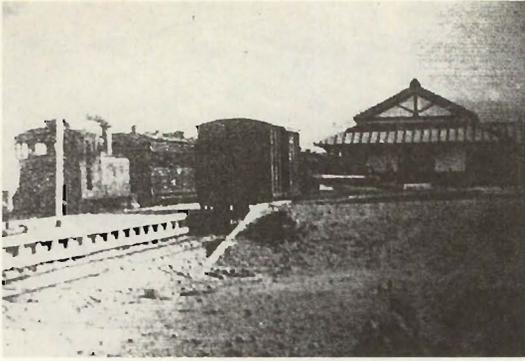
## 調べる計画

くらしのようすのうつりかわりを調べるには、いつごろのことを調べたらよいか、話し合いました。

- ・<sup>てつ</sup>鉄道がしかれたころのようすが知りたい。
- ・お母さんが子どものころにこう水で家が水につかったと話してくれました。そのころのことを<sup>しら</sup>調べてみたい。
- ・新しい道ができてとても<sup>べんり</sup>便利になったと思うけど、そのころのことが知りたい。

いつのことかわかったものから<sup>びょう</sup>年表にせいりして、どのくらい古いことかたしかめました。

明治時代		大正時代		昭和時代						平成	
100年前	90年前	80年前	70年前	60年前	50年前	40年前	30年前	20年前	10年前	今	
				おばあさんのむかし			おかあさんのむかし			わたしたちのむかし	
のうびだいじんのため校舎がこわれる		養老鉄道（養老く池野間）が開通する。		木造の新校舎が完成する。		小学校は国民学校と名をあらためる。		集中ごう雨・いせわん台風で牧田川が二度切れひ害を受ける。		国道二五八号が開通する。	新校舎が完成する。



① 昔の養老駅  
わかし ようろうえき



人力車

### 養老鉄道がしかれたころ (80年前ころ)

わたしたちの町に<sup>てつどう</sup>鉄道がしかれたのは、今から80年も前のことです。そのころの<sup>の</sup>乗り物<sup>のもの</sup>といえば、人力車ぐらいだったそうです。

また、このあたりは<sup>まきだ</sup>牧田川、<sup>いび</sup>揖斐川など大きな川が多く、船も大切な<sup>の</sup>乗り物<sup>のもの</sup>だったそうです。多くの人はずっと歩いて用事をすませていたので、少しでも早く行きたかったそうです。

ほとんどが<sup>のうか</sup>農家で、田をたがやすのには<sup>びちゅう</sup>備中ぐわを使いました。いねからもみをとるのもみんな人の力でやったそうです。

はき物<sup>もの</sup>はわらぞうりやげたでした。子どもは<sup>きもの</sup>着物を着て、女の人<sup>き</sup>はもんぺをはいていました。



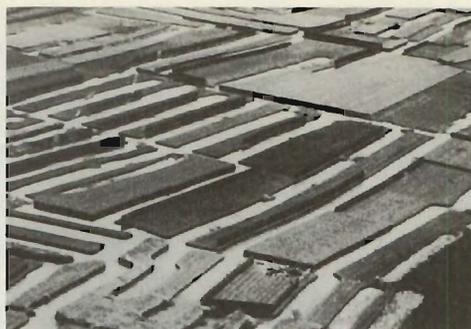
子どもたちのあそび



① 音楽のじゅ業  
ぎやう



① 校しや



①ほり田

①空からみた笠郷

### 戦争があったころ (50年前ころ)

となりの大垣市は1945年に6回にわたってアメリカぐんのくうしゅうをうけ、たくさんの家がやけたり、人がなくなったりしました。家もえて北の空が明るいを見てとてもこわかったそうです。養老からもたくさんの人が戦争に行き、なくなった人もいます。小学生はぼうくうずきんをもって学校へ行き、小学校のまわりにもたくさんのぼうくうごうがほってあったそうです。東京や大阪からもしんせきをたよってたくさんの人がそかいをしてきました。そういう人たちで小学校の教室もいっぱいになったそうです。

#### ①子どもたちのあそび

そのころは、はいきゅうせいで食べるものもなかなかなくて、服なども少なかったそうです。

#### 戦争に行きなくなった人の数

養老町全体 814人  
笠郷地区 (124人)





⑤ S34・9・28伊勢湾台風  
(水につかった小学校)



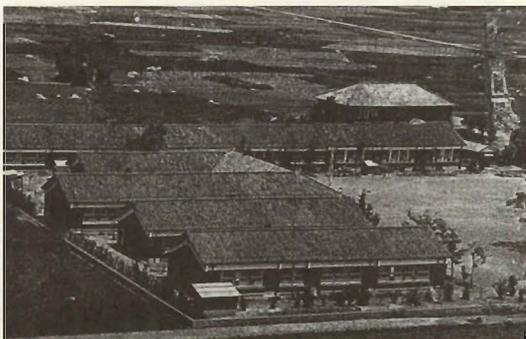
⑥ しろかき

## いせわん台風がきたころ (35年前ころ)

昭和<sup>しょうわ</sup>34年には、2度 (集<sup>しゅう</sup>中<sup>ちゅう</sup>ごう雨・いせわん台風) の水害<sup>がいの</sup>におそわれました。この後、土地改良事業<sup>かいりょうじぎょう</sup>が行われ、それまであった田などがすがた<sup>け</sup>を消し、今のようにになりました。

このころになると、それまではめずらしかった白黒テレビをもつ家庭が少しずつふえてきました。それでもまだ集落内<sup>しゅうらく</sup>に1~2けんぐらいたので楽しい番組がある時は、テレビのある家<sup>あつ</sup>に集まってみせてもらいました。

このころ、プロパンガス<sup>つか</sup>が使われ出し、にたきがとてもらくになったそうです。また、牛や馬<sup>のうか</sup>をかつている農家が多かったそうです。牛や馬<sup>つか</sup>を使って田をおこしたり、荷物<sup>にもつ</sup>を運<sup>はこ</sup>んだりしました。



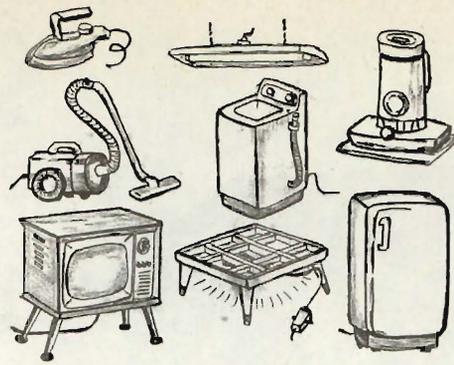
⑦ そのころの校しゃ



⑧ まきやわらでたいたおふる



① 国道258号  
開通式



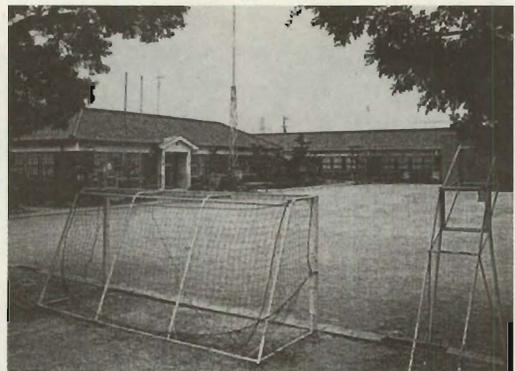
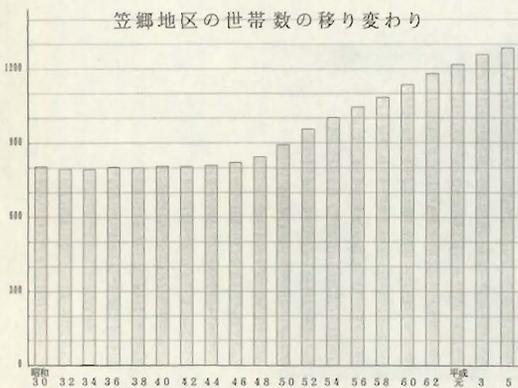
電気せい品

## 国道258号ができたころ (20年前ころ)

ようろうおおはし かんせい 国道258号が完成して、  
 今から20年ほど前のことです。この道路ができたおかげで、  
 大垣や岐阜、桑名へ行くのに大変べんりになり、  
 会社や住たく、お店などができてきました。

このころになると自動車やカラーテレビをもつ家庭が多くなりました。  
 れいぞうこやせんたくきなど電気をつかった道具がふえてきて、  
 そのおかげで家の中のしごとが楽になったそうです。

農作業も機械化がすすみ田植えきやコンバインも入り、  
 とてもしごとが楽になりました。



② そのころの小学校

むかし  
昔さがし

人びどのくらしのうつり変わりを学習して、  
みんなは自分たちのまわりにある古いものにき  
ょうみをもち、調べてみたくなりました。

「ぼくの家う だじょうあとの近くに『宇田城跡』というかん  
ばんがたっているよ。」

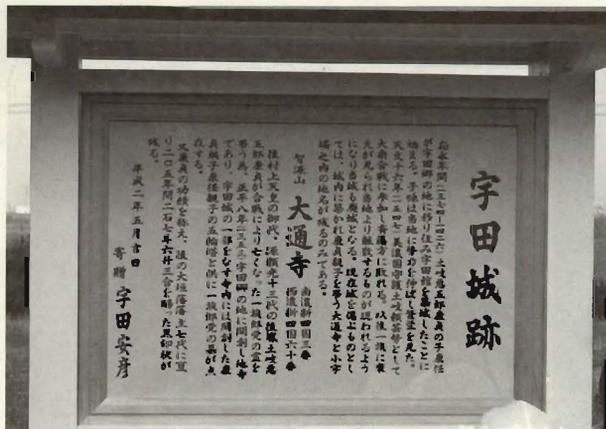
「象鼻山そうびざんには『こふん』という、昔むかしの人のお  
はかがあるらしいよ。」

たくさんの意見が、みんなの中から出てきま  
した。そこで、近くにある古いものさがしの計  
画をたてました。

3. ちいきの  
古いもの  
さがし



① 象鼻山のこふん



② 宇田城跡のかんばん

## 古いものマップをつくろう

見学の計画にしたがって、昔<sup>むかし</sup>さがしに出かけました。「金屋<sup>かなや</sup>という名前は、このあたりに<sup>かなもの</sup>金物づくりをする人が、たくさんいたので、ついた地名だそうだよ。」

みんなは、みつけたことを見学メモに書き入れ、古いものマップをつくりました。



① かなや いも じきょじゅう あと  
金屋鑄物師居住の跡の石ひ

② ひよし れきし  
日吉小歴史マップ



③

かなや むろまち えど  
金屋は室町時代から、江戸時代はじめ  
のころにかけて、<sup>かなもの</sup>金物をつくる人が、た  
くさんすんでいて美濃の鐘などの<sup>かなもの</sup>金物を  
つくっていたらしい。そこから<sup>かなや</sup>金屋とい  
う地名がついたといわれている。  
ちめい

④ 見学してわかったこと

まつ しら  
祭りを調べる

「日吉祭りで、ぼくたちの町内は、おみこしを  
かついだり、女の子が、舞をまったりします。」

「わたしたちのところでは、軸が出たり、子ども  
も歌舞伎がえんじられたりします。」

このように地区によって、いろいろな祭りが  
あることがわかりました。その祭りには、ほう  
作や人びとの幸せを願う気持ちがこめられてい  
ることがわかりました。



まつ  
祭り①



まつ  
祭り②



まつ  
子ども歌舞伎

## くらしとごみ

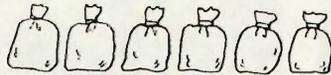
くらしの中でいろいろなごみが出ます。どんなごみがどれくらい出るか、1週間分のごみの<sup>りょう しゅるい</sup>量や種類を調べてみました。

1週間でたくさんのごみが出ます。ごみの種<sup>しゅ</sup>類<sup>るい</sup>も多いです。

家庭<sup>てい</sup>からは、このほかに、テレビやつくえなどの大きなごみ、新聞、ざっしや古<sup>ふる</sup>くなった服などもごみとして出しています。

春美さんの家 家族の人数 4人

○ごみぶくろの数 ... 6



※野菜のくずや紙くずなどが入っている。

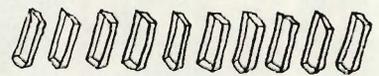
○牛乳パック ... 4



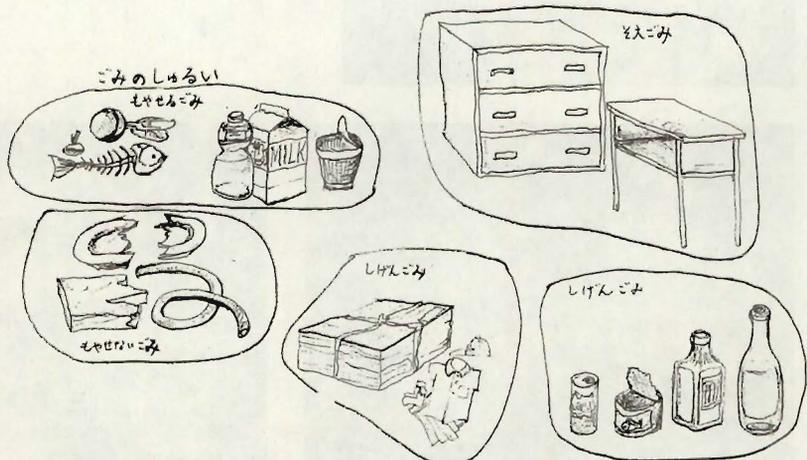
○空きびん ... 10



○おしぼり ... 10



○空きかん ... 9

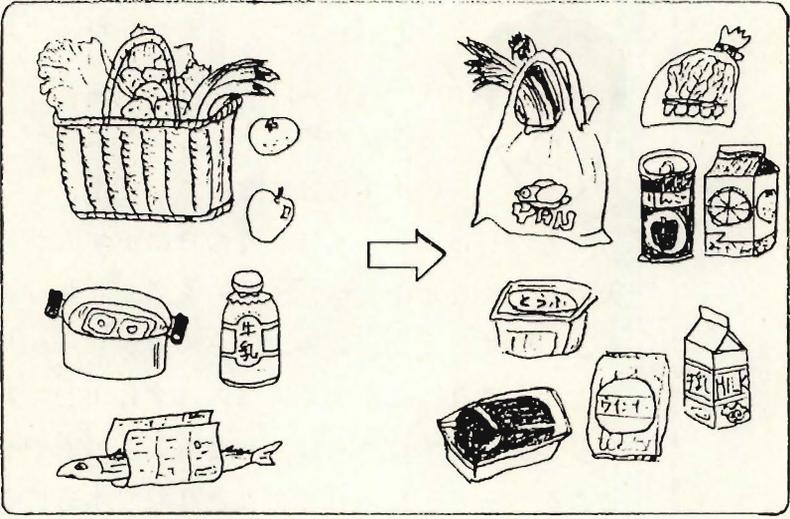


てい 家庭から出るごみは、昔とくらべて、ずいぶん種類や量がふえてきました。

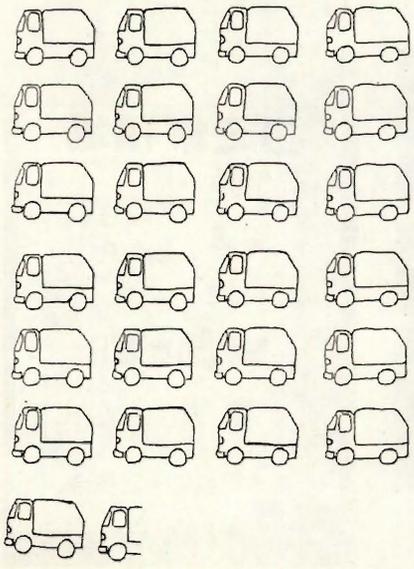
わたしたちのまちで1週間に集められるもやせるごみの量は、なんと4トントラック約26台分の102トンでした。これにもやせないごみも入れたら想ぞうもつかないほどの量になり、おどろくばかりです。

1. ごみと  
す  
住みよい  
くらし

むかし  
昔と今のごみ



わたしたちのまちからでるごみ (1週間)



## あつ ごみの集まるどころ

家から出されたごみは、ごみ集積場へ出します。

もやせるごみともやせないごみは、ちがう日に出すようになっていきます。また、もやせないごみでも、その種類しゆるいによってちがう日に出すようになっていきます。

### しゅうせき 集積場の世話をするおばさんの話

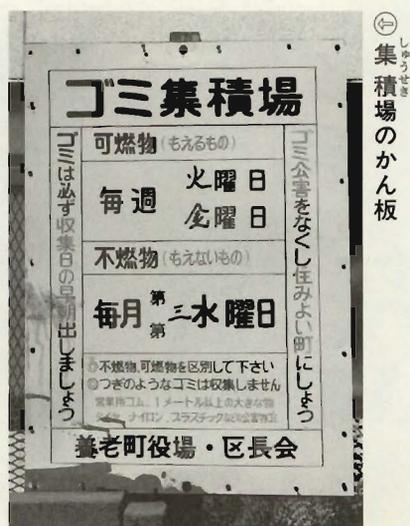


もやせるごみともやせないごみと分けて出すようになっていきます。また、あきかんやあきびんなどはちがった日に出すことになっています。

でも、しゅうしゅう日以外の日に出す人がみえて、犬やからすなどが食べ、ふくろをやぶりちらかしてしまいます。また、ごみぶくろの口がしっかりしめてなかったり、ごみぶくろに入れずに出してあったりしてあります。さらにもやせるごみともやせないごみがいっしょに入れてあったりして本当にこまっています。



しゅうせき  
④ごみ集積場

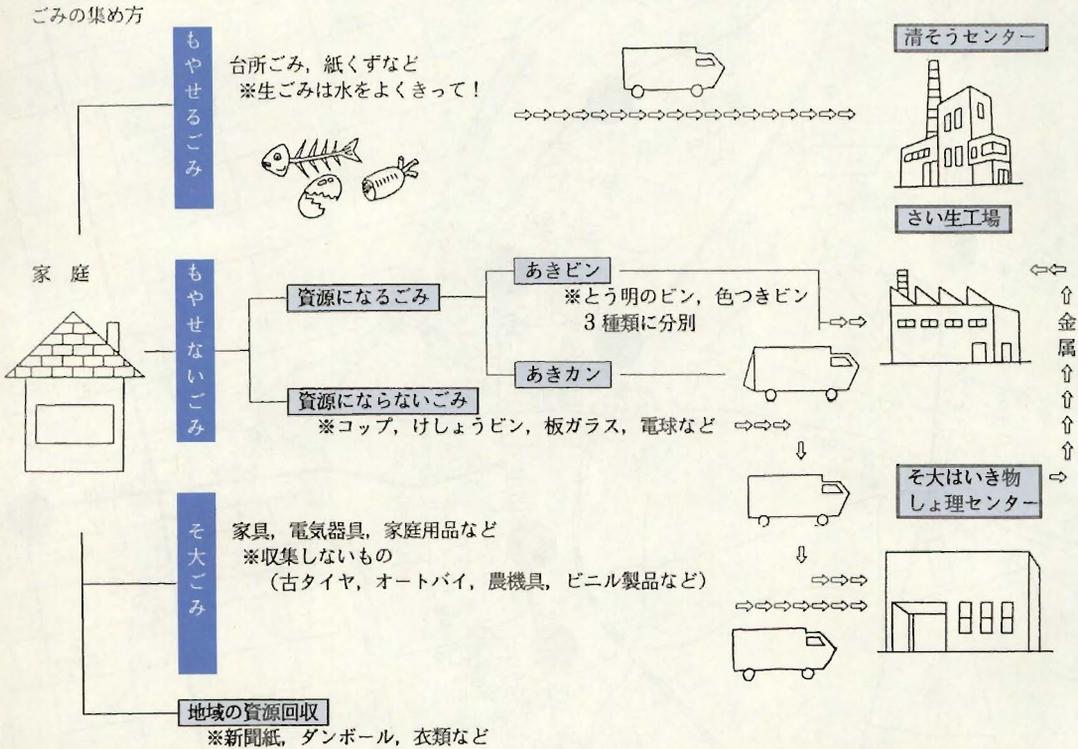


ごみ集積場  
(上多度地区)



しゅうせき  
ごみ集積場は、地いきごとに決めてあります。

どの家庭も、ごみの出し方に気をつけています。また、地いきで話し合って当番を決めて、正しくごみが出されているかたしかめたり、まわりをそうじしたりしています。



①花いっぱい集積場



②あきびんをわける



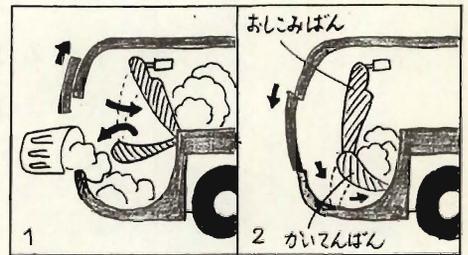
③あきかんをわける

## あつ ごみを集める

しゅうせき  
集積場に出されたごみは、ごみしゅう集車  
や町のトラックが来て集めていきます。町のト  
ラックでは、リサイクルできるしげんごみのあ  
きかん、あきびんあつを集めます。

ごみしゅう集車しゅうで働いているおばさんは、  
おもいごみをよいしょもと持ち上げてあつという間  
に車に入れてしまいました。

こんなに速く、たくさんのごみを車に入れて  
いけるのは、ごみしゅう集車しゅうにひみつがありそうです。



しゅうしゅう  
① 収集車のしくみ

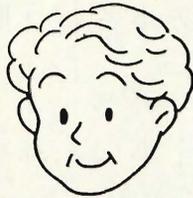


②  
ごみを投げ入れる

しゅう集<sup>しゅう</sup>車<sup>あつ</sup>がごみを集めやすいように、地いき  
ごとにごみを出す日や時間が決められています。

しゅう集<sup>しゅう</sup>車<sup>あつ</sup>がたくさんの地いきを時間<sup>どお</sup>通りにまわるのは大<sup>へん</sup>変です。

### おばさんの話



時間通りに回ろうとしていますが、  
出し方がきちんとしていないことがあ  
り、むだな時間がかかってしまいます。

しゅう集日<sup>あつ</sup>以外の日に出してあると、  
中の生ごみがくさってしまっ、集めに行った時に  
しるがとびちったり、ふくろがやぶれてしまったり  
してこまることがあります。ぐん手をして、その上  
にゴム手ぶくろをしていても、かみそりやガラスが  
そのままふくろに入れて出されると、けがをしてし  
まうことがあります。

### 平成6年度 ゴミカレンダー(養老地区)

4 月							5 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	②	3	4	5	6	7
3	④	⑤	6	⑦	8	9	8	⑨	⑩	11	⑫	13	14
10	⑪	12	⑬	⑭	15	16	15	⑮	17	⑯	⑰	20	21
17	⑱	⑲	20	⑳	22	23	22	⑳	㉑	25	㉒	㉓	28
24	㉔	26	27	㉖	29	30	29	㉗	31				

○もやせるゴミ

●もやせないゴミ

□そ大ゴミ

▽しげんゴミ(アキカン)

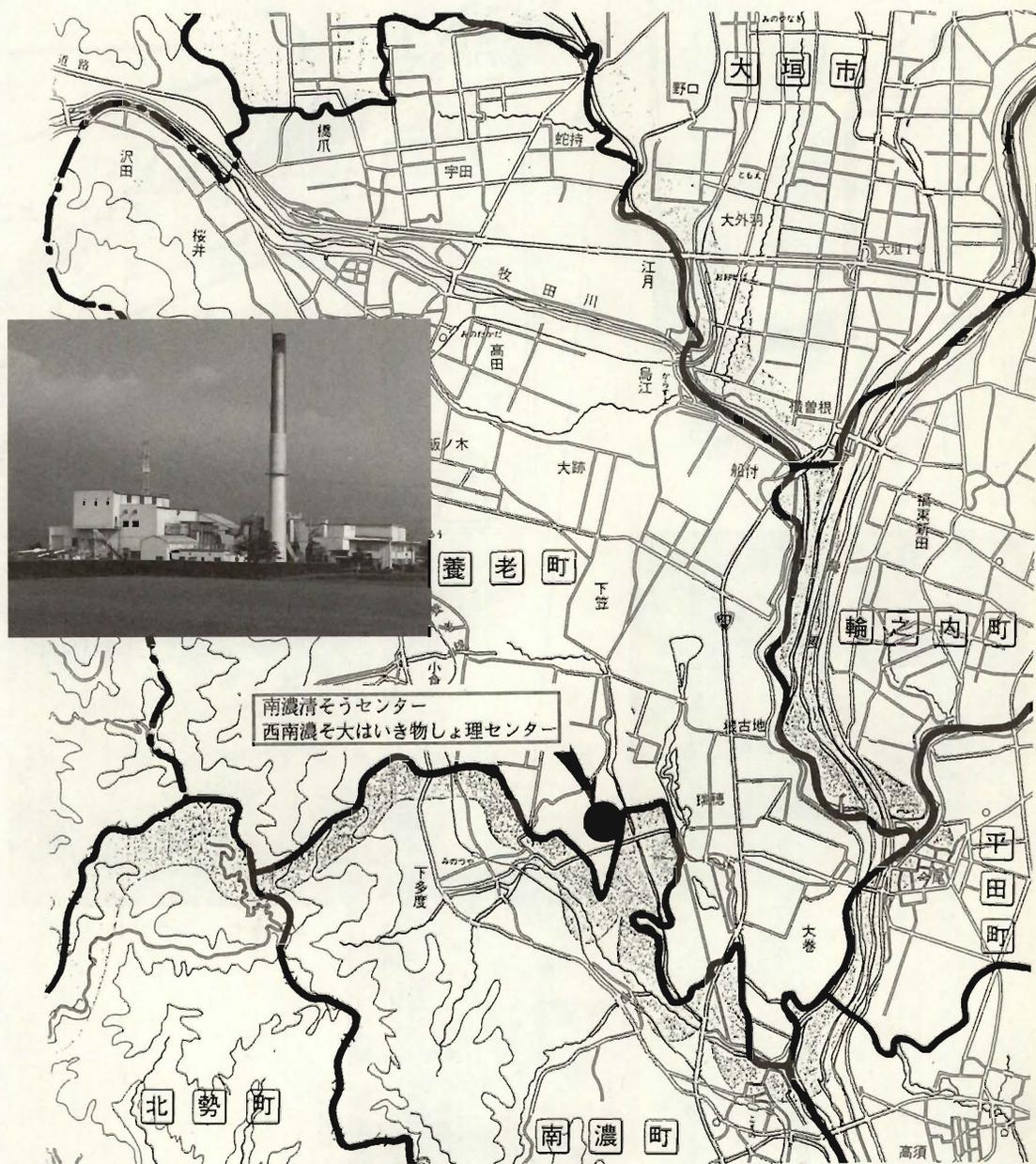
△しげんゴミ(アキピン)

せいそう                      そだいはい                      ぶつ                      り  
**清掃センター・粗大廃き物しょ理センターに**

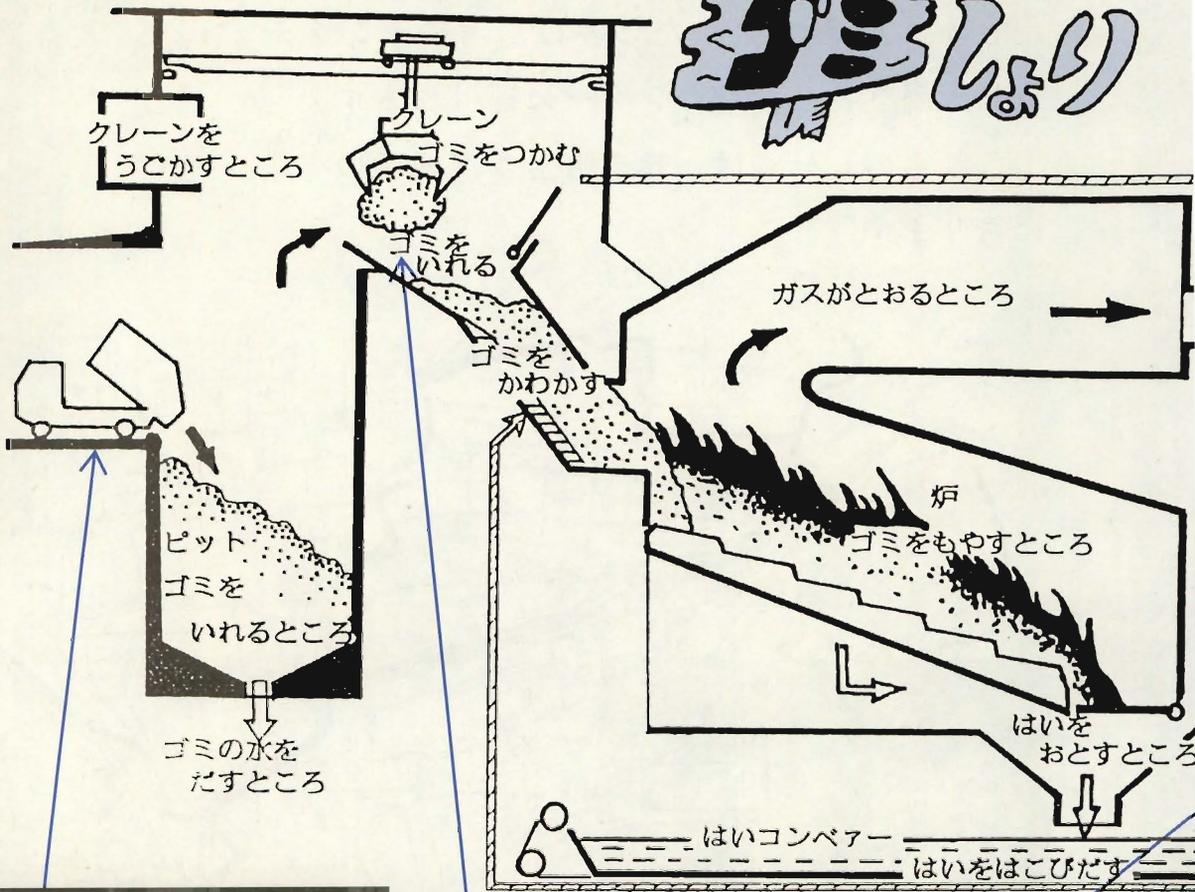
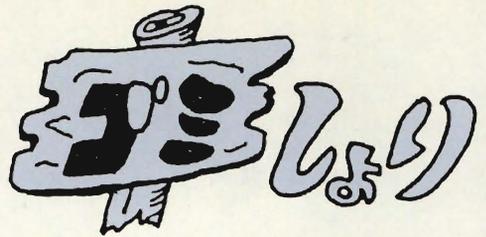
**行こう**

しゅう                      あつ                      せいそう  
 しゅう集車で集めたごみは、清掃センター  
 そだいはい                      ぶつ                      り                      はこ  
 や粗大廃き物しょ理センターに運ばれます。

これらのしせつは、ようろう                      かみ                      た                      ど                      あり                      お  
 これらのしせつは、養老町上多度地区の有尾  
 にあります。



# もやせるごみは



①ピットへ

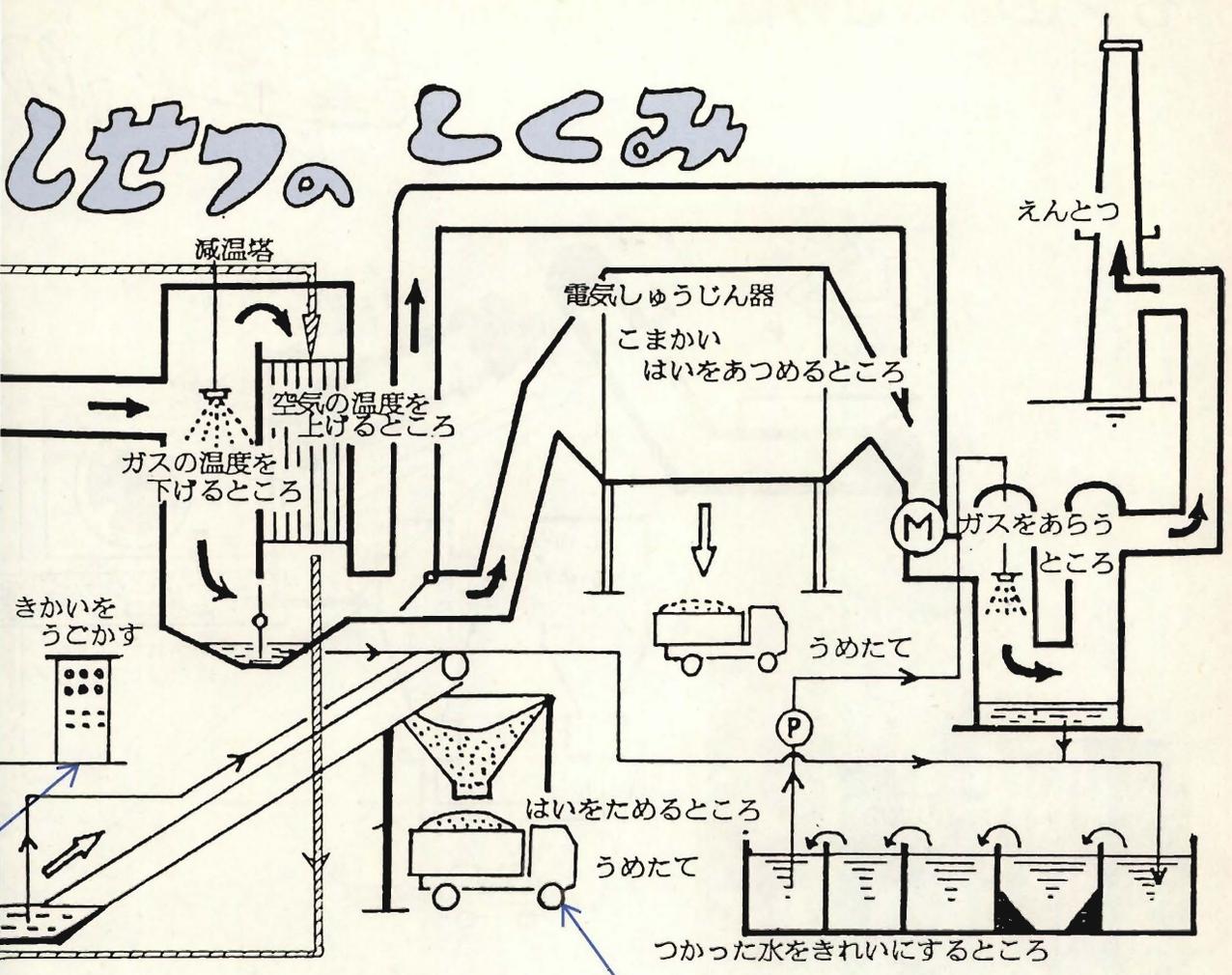


②コントロールセンター



③クレーン

# しせつのしくみ

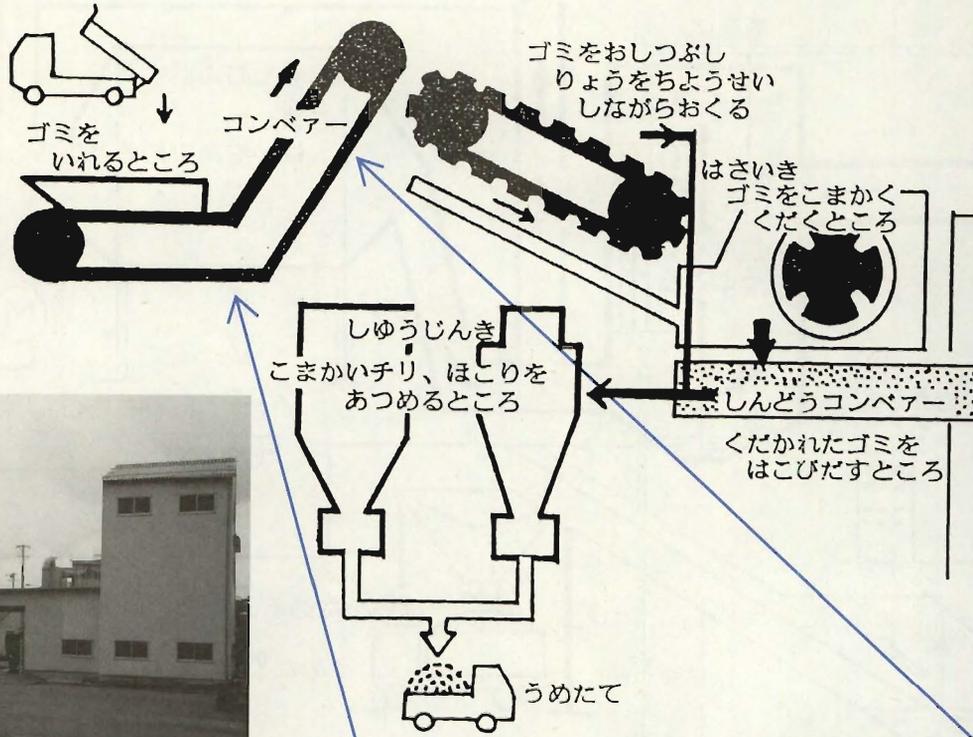
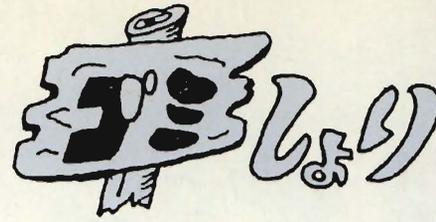


① 炉のようすを見る



② はいを運ぶ

# もやせないごみは

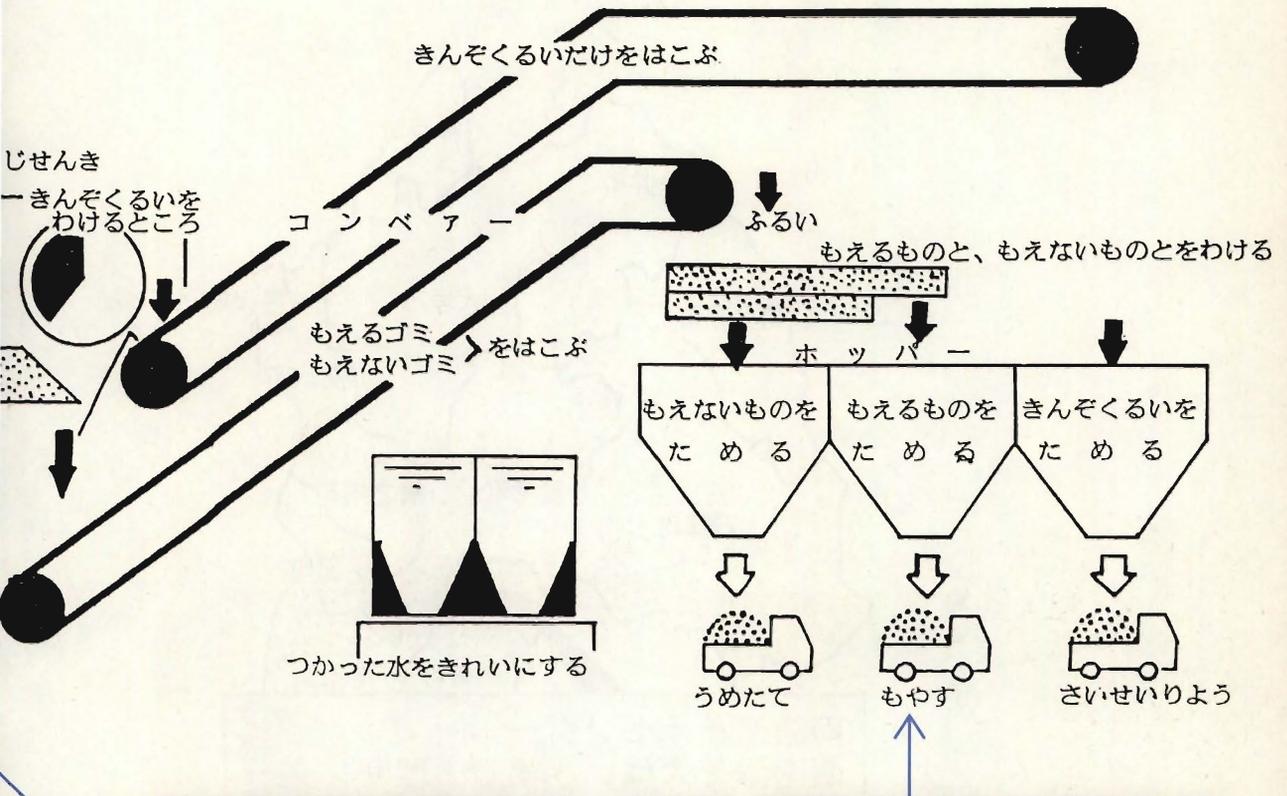


① 粗大廃き物しよ理センター



② クレーン

# しせつの しこみ



①コンベアー



②ホッパー

これらのしせつは、1つの町でつくられてい  
 るのでなく、清掃センターは、5町で、粗大廃  
 き物しよ理センターは1市11町がお金を出し合  
 い、協力して、ごみのしよ理をしています。



ごみしよ理しせつを利用している市町

**南濃清そうセンター**

養老町、上石津町、海津町、  
 平田町、南濃町

**西南濃そ大はいき物しよ理センター**

養老町、上石津町、海津町  
 平田町、南濃町、大垣市  
 垂井町、関ヶ原町、墨俣町  
 神戸町、輪之内町、安八町

ごみしよ<sup>り</sup>理<sup>し</sup>施設<sup>せつ</sup>では、たく<sup>く</sup>さん<sup>ふう</sup>のごみ<sup>ご</sup>を工夫<sup>く</sup>しながらしよ<sup>り</sup>理<sup>り</sup>しています。

清掃<sup>せいそう</sup>センターでは、うまくもえるようにコンピューターで調節<sup>ちようせつ</sup>しています。また有害<sup>ゆうがい</sup>なけむり<sup>く</sup>が出ないようにも工夫<sup>く</sup>しています。それでもなかなかうまくしよ<sup>り</sup>理<sup>り</sup>しきれません。

### おじさんの話



もやせるごみともやせないごみがまじっていてこまっています。あなをあけていないスプレーかんがしょうきゃくろ<sup>く</sup>でばくはつすることもあります。

また、プラスチックなど石油せい品<sup>せい</sup>が、ふえてきて、もやす時に高い熱を出します。

こうしたことで、しょうきゃくろ<sup>く</sup>のいたみがはげしくなり、私たちもきけんを感じるがあります。

ごみの量<sup>りよう</sup>もだんだんふえて、しよ<sup>り</sup>理<sup>り</sup>しきれなくなってきてこまっています。物を大切に<sup>つか</sup>し、使えるものは使い<sup>つか</sup>、自分でしよ<sup>り</sup>理<sup>り</sup>できるごみはしよ<sup>り</sup>理<sup>り</sup>し、ごみを少なくするようにしてほしいです。



①はいを集めるそうち



②高いえんとつ



## ごみを見直そう

ごみを少しでもへらそうという動きが出てきました。これまでごみとしていたものの中には、しげんとしてもういちど利用できるものがたくさんあります。どんなことに気をつけていけばよいのでしょうか。

- ・はい品<sup>ひん</sup>回しゅうで新聞やぎっしなどを回しゅうする
- ・なまごみを<sup>りょう</sup>ひ料にする
- ・あきかんやあきびんを回しゅうする
- ・牛にゅうパックやトレーを回しゅうする
- ・使えるものは大事<sup>じ</sup>に使う<sup>つか</sup>
- ・計画的<sup>てき</sup>に買い物<sup>もの</sup>をする



① クリーン活動



① トレー回しゅうボックス



① なまごみを<sup>りょう</sup>ひ料にする

# ごみのげん量化をよびかけるポスター

## 空ビン・空カンのリサイクルにご協力下さい

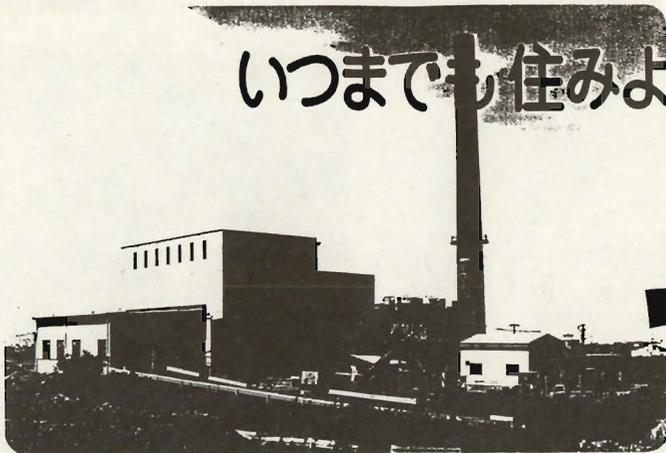
平成5年度

### 分別してごみの減量を!!

を合い言葉に分別収集にご協力ください。

「ごみも捨てればただのごみ、分ければ資源」

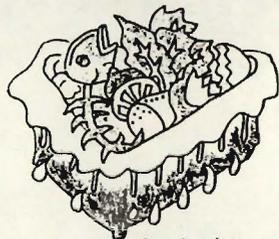
## いつまでも住みよい環境 みんなの努力 南濃清掃センター



しょうやく 焼却灰

燃えないものは、ゴミの中に入れてないようにしましょう。

### ごみを出すマナー



よく水をきって



袋に入れて  
きちんと  
口をしめて



片手で持てる  
重さに



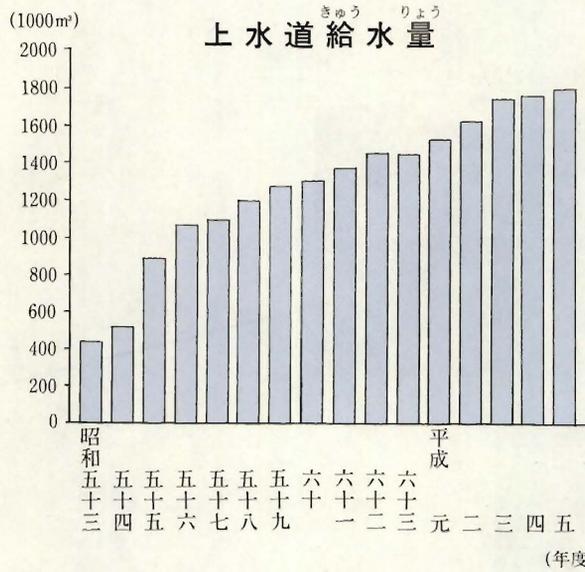
きれいになった日の朝  
きまった所に

# たくさん使われる水

養老町ようろうの人びとが、飲んだり手をあらったりする水は地下水です。

養老町ようろうは地下水がゆたかで上水道つかにも使われています。

## 2.くらしを ささえる水



④ 上水道



⑤ 水道のメーター



⑥ わき出る地下水



⑦ 消どくをする機械きよどく

## 水はどこから

ようろう  
 養老町の水は、どこから送られてくるのでし  
 よう。水げんが3つあり、町内全体に送られて  
 います。

また、いど水や谷の水を利用している家庭も  
 あります。



① 第1ポンプ場



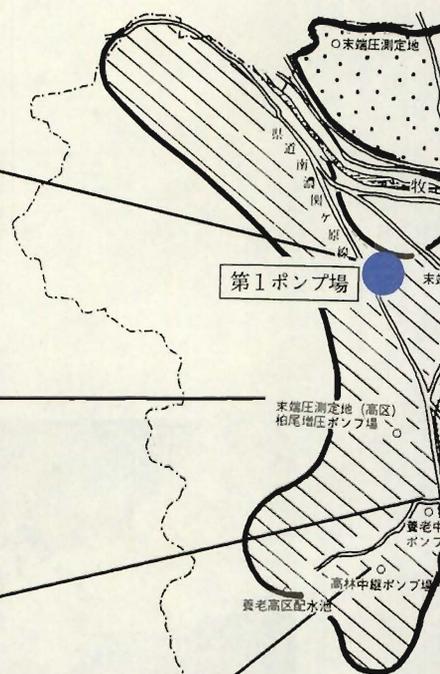
かしわ おおすあつ  
 ① 柏尾増圧ポンプ場



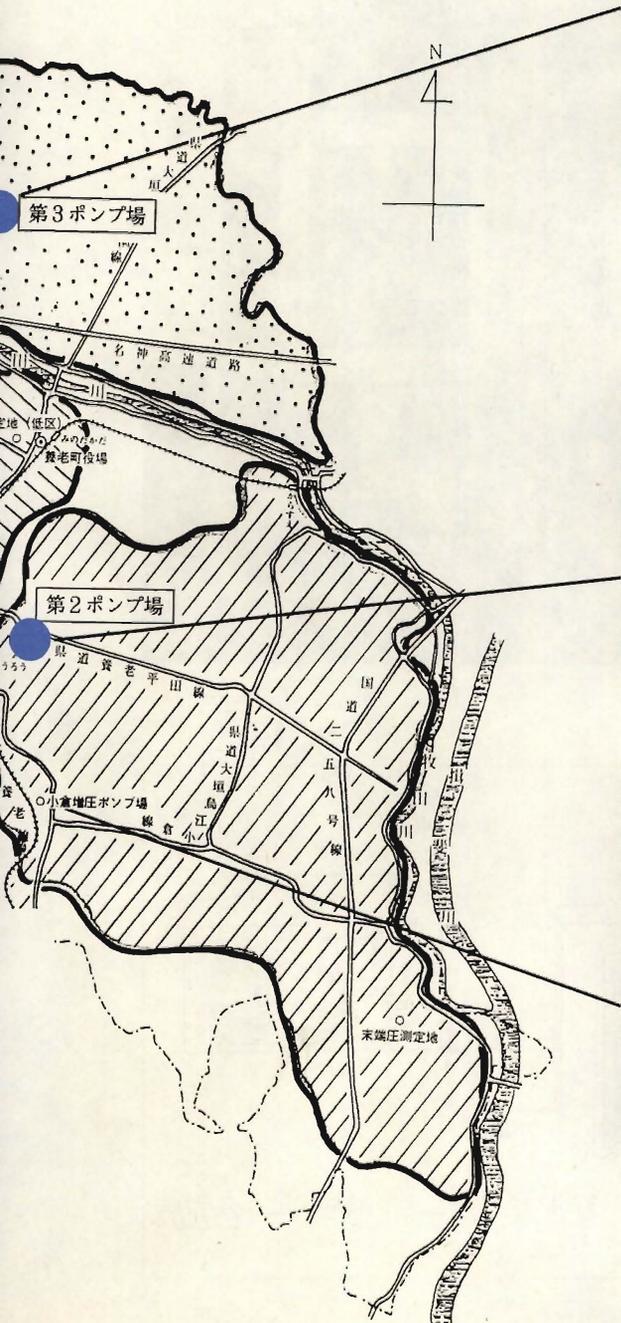
ようろうちゅうがい  
 ① 養老中継ポンプ場



たかばやしちゅうがい  
 ① 高林中継ポンプ場



-  第1ポンプ場から  
水が送られるはん
-  第2ポンプ場から  
水が送られるはん
-  第3ポンプ場から  
水が送られるはん



① 第3ポンプ場



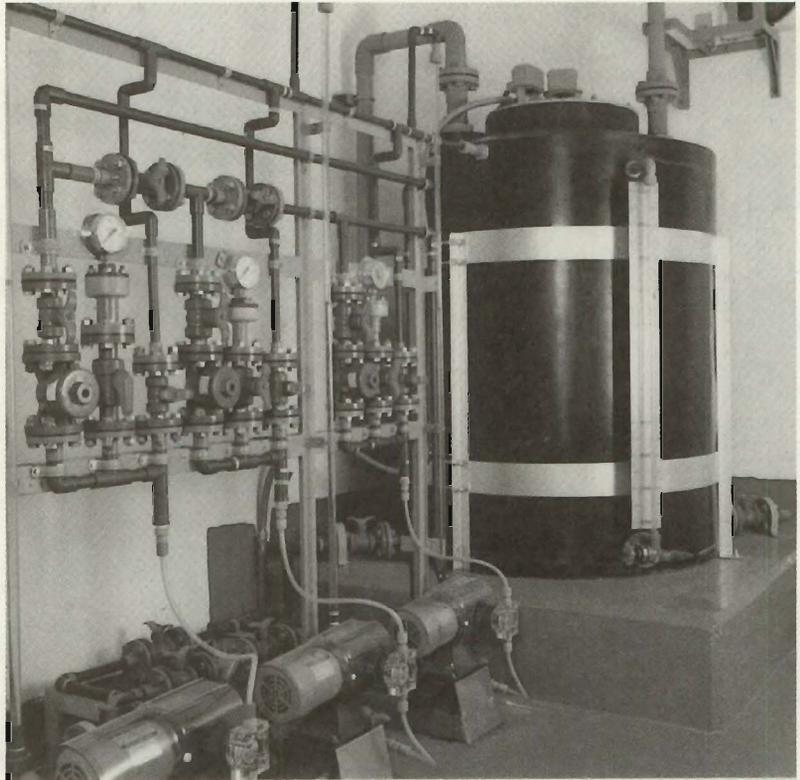
② 第2ポンプ場



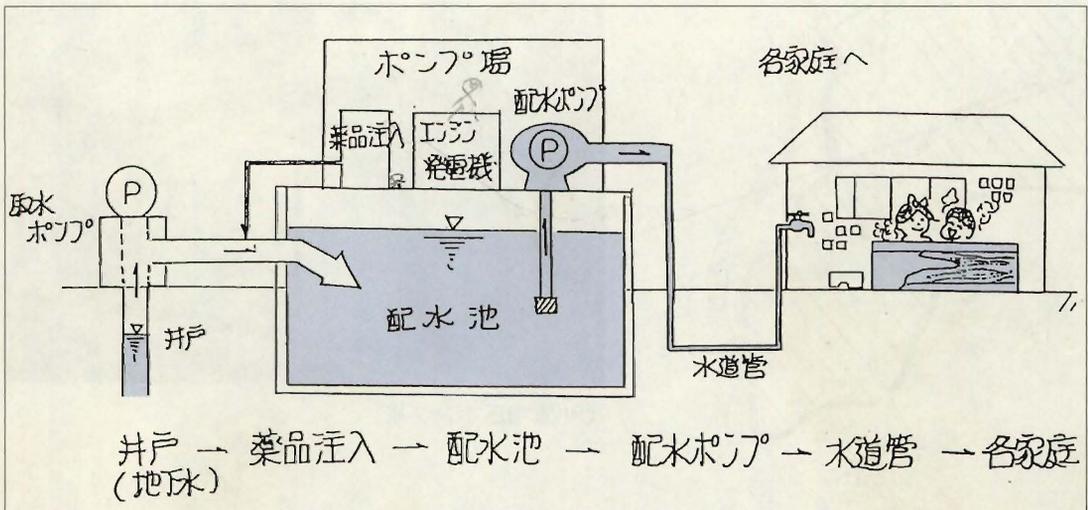
おぐらぞうあつ  
③ 小倉増圧ポンプ場

ポンプでくみあげられた地下水は、<sup>しょう</sup>消どく  
 されて<sup>はい</sup>配水池にたくわえられます。

そこから地下にうめられた水道管<sup>かん</sup>を通して私  
 たちの家や学校、工場などへ送られて<sup>おく</sup>いきます。



① <sup>しょう</sup>消どくする<sup>きかい</sup>機械



よろろ 養老町は地下水にめぐまれ昔からいど水や谷  
 水を使<sup>つか</sup>ってきました。しかし、水の使用<sup>し</sup>量<sup>りょう</sup>は、  
 しだいにふえてきて、井戸水が出なくなったと  
 ころもあります。

そこで町では、いつも水が使<sup>つか</sup>えるように上水  
 道をつくりました。

水道のうつりかわり

いつ	昭和三十五年	昭和五十三年	昭和五十六年	平成五年
おもなことがら	川の水をよく使っていた。 井戸から水をくみ上げていた。 水道がなかったころ	町管かんい水道が、大場、小坪、大巻にできた。	上水道が、池辺、笠郷、広幡、上多度地区に給水を始めた。	上水道が、養老町全体に給水を始めた。 上水道利用量が年々ふえ続けている。 養老町の上水道利用家庭は、五十四%である。



今みたいに水道がなかったころは、  
 井戸から「つるべ」で水をくみ上げて  
 いたんだよ。一回一回力を入れて、ロ  
 ープで引っ張り上げてはバケツに入れ  
 かえていたんだよ。おふろの水入れは特に大変だ  
 ったんだよ。

井戸の水は、夏はとても冷たくて気持ちよかった。  
 けれど、大雨がふるとにごったり、たまにはか  
 れてしまうことがあった。そんな時は、近くの家に  
 「もらい水」に行ったりしていたんだよ。

本当にべんりな世の中になったもんだ。

## たくさん使われる水

上石津町かみいしづのつか人びとが、飲んだり手をあらったりする水は、山や川からひいてきています。

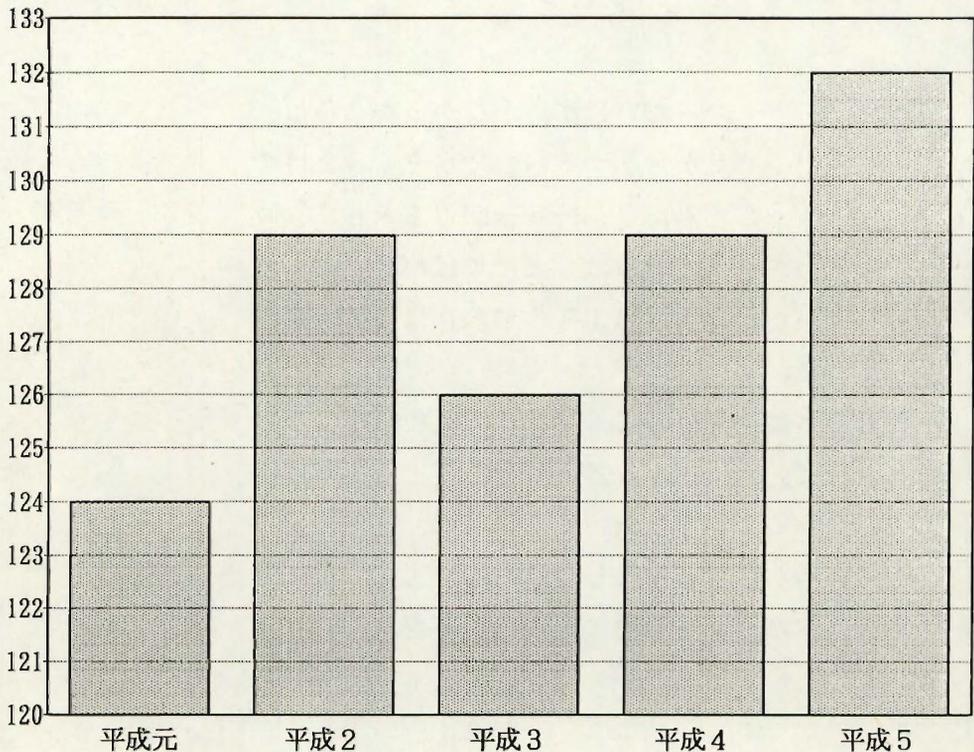
時地区ときでは、烏帽子岳えぼしだけから流れてくる牧田川なの豊かな水まきだを使っています。



④ 水の使用量を調べる

水道の使用量（時地区）

（単位：1000  $m^3$ ）

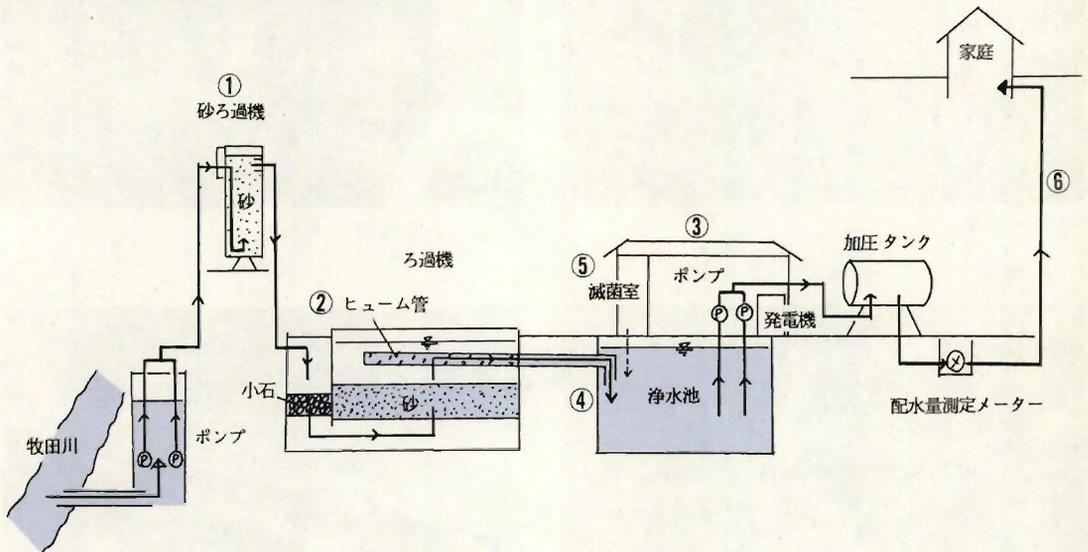


# 水はどこから

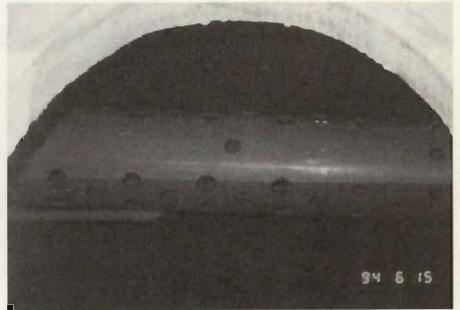
あなをあけたパイプを<sup>まきだ</sup>牧田川の川ぞこにうめこみ、そこから水をくみあげて<sup>おく</sup>じょう水場に送っています。

そのとちゅうで、ごみが入らないように工夫<sup>くふう</sup>しています。

## ときじょうすいじょう 時浄水場のしくみ (時山)



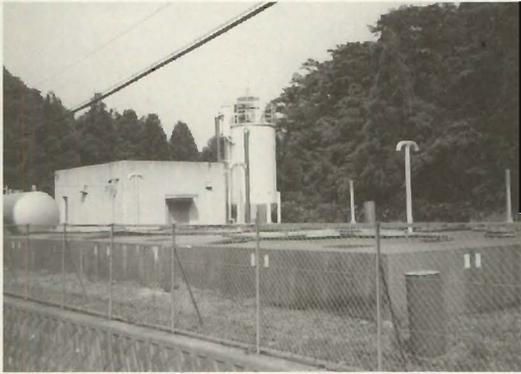
①①すなろか機



①②ヒューム管

じょう水場では、水を消<sup>しょう</sup>どくしてじょう水池<sup>ち</sup>にたくわえます。

そこから水道管<sup>かん</sup>を通して私たちの家や学校、工場などへ送られてきます。



①③じょう水場



①④じょう水場へきた水



①⑤めっせん<sup>めっせん</sup>減菌室



①⑥水道管<sup>かん</sup>

今から30年前まではいどや谷川の水を使<sup>つか</sup>って  
いました。

しかし、雨がふるとにごったりして、えい生<sup>てき</sup>  
的でないこともあり、時<sup>とき</sup>地区では、上水道をつ  
くりました。

約30年以前は飲<sup>いんりょうすい</sup>料水、風<sup>ふう</sup>呂  
水、洗たく水は井戸や谷川か  
らとって使っていたよ。  
土のついた野<sup>やさい</sup>菜は近くの川で  
洗い、そして井戸水で洗った。  
雨がふると土や砂がまざっ  
てにごり、飲むのにとてもこ  
まったもんだ。

一番こわかったのは、病<sup>びょう</sup>気  
と火事だよ。



①谷水をひく

時の水道の歩み

昭和29年	昭和34年	昭和39年	昭和40年	昭和52年	昭和55年
井戸、谷川から水をとる	細野簡易水道ができる	上簡易水道ができる	住鹿簡易水道ができる 時山簡易水道ができる	時簡易水道ができる	浄水場ができる
(5つの簡易水道を1つにした) 統合水道ができる					

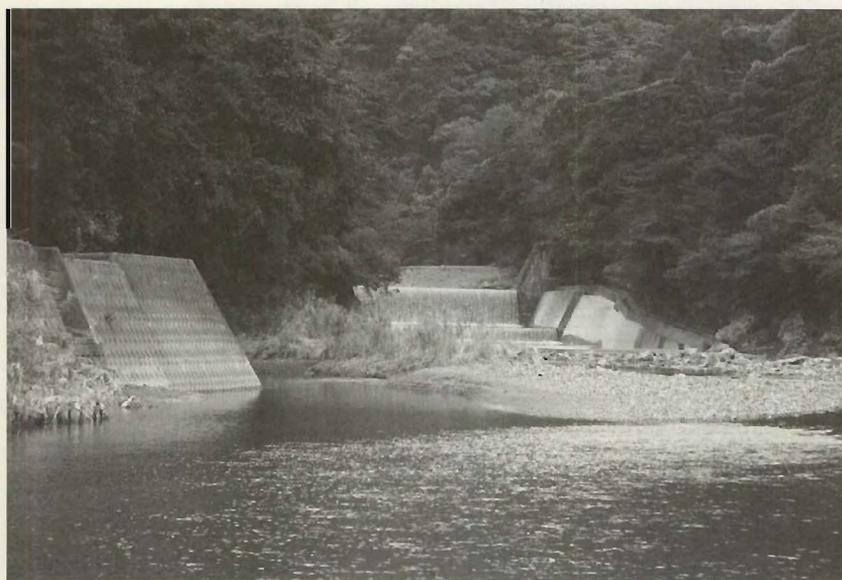
## 水と私たちの暮らし

水は、私たちの暮らしにはかかすことができません。

<sup>とき</sup>時地区は、水にめぐまれたところですが、むだづかいせず、大切に使いこなしていかなくてはなりません。



すいれいこ  
①水嶺湖



いちのせ  
①一之瀬ダム

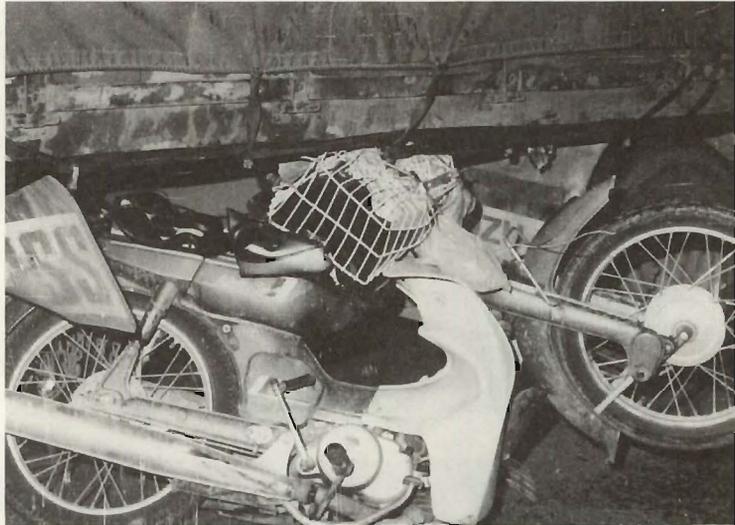
# 2 安全なくらしを守る

## おそろしい交通じこ

「どうしてこんなおそろしいじこおが起きたのでしょうか。中にの乗っていた人はだいじょうぶでしょうか。」

養老郡よろろうぐんの交通じこは、1992（平成4）年には177けんお起き、8人がなくなっています。

1. 交通じこと  
安全なまち



## けいさつしょの見学

じこが起きると、サイレンをならしてパトロールカーがすぐにかけてきます。

けいさつしょには、どんなしせつがあつて、どんなしごとがされているのでしょうか。養老けいさつしょに見学に行きました。



① 養老けいさつしょ



② 説明を聞く



③ 見学のようにす

## けいさつ<sup>ど</sup>の努力

交通じこをふせぐために、けいさつ<sup>ど</sup>の人はいろいろな努力<sup>ど</sup>をしています。

交通安全の日（毎月1日、15日）にはきけん<sup>さ</sup>な交差点や道路<sup>ろ</sup>に立って、じこぼう止をよびかけたり、交通安全教室<sup>せう</sup>に行って交通ルールを教えたりしています。



④ 交通指導



⑤ 交通安全教室

### けいさつのおじさんの話



交通じこが起きると、パトカー、じこしよ<sup>り</sup>車<sup>きゆうきゆう</sup>だけでなく、救急車<sup>しやう</sup>、消ぼう車、さぎよう工作車やレッカー車など、いろいろな車が出動します。そしてじこの現場<sup>げん</sup>では、けが人を助けたり、交通整理<sup>たす</sup>やじこの原因<sup>しん</sup>を調べたりします。このけっかをもとにして、交通じこが起きないように工夫<sup>くふう</sup>をするのです。

たとえば、みなさんの学校の交通教室<sup>しゆう</sup>や会社、地いきで行うこう習会<sup>しゅう</sup>では、じこのおそろしさを知ってもらったり、じこにあわないための

交通マナーやルールのお話をします。また道路<sup>ろ</sup>にせいげんそくどや一時<sup>いち</sup>ていしなどの道路ひょうしき<sup>しき</sup>をつけたり、横<sup>おう</sup>だん歩道<sup>しんごう</sup>や信号機<sup>き</sup>をつけて、歩行者が安全に道をわたれるようにしたりします。

交通じこを起こさないためには、車がスピードを出しすぎないことです。そのため、スピードいはん<sup>はん</sup>のとりしまりをしたり、シートベルトをしめるように運転者<sup>お</sup>によびかけたりして、少しでもじこがへるよう<sup>ど</sup>に努力<sup>ど</sup>をつづけています。みなさんも、交通ルールを守って、安全な生活<sup>せいかつ</sup>に心がけてください。

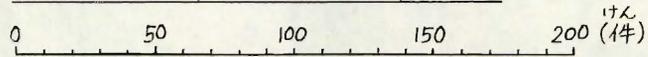
## 交通じこの原いん

車と車がぶつかるじこが多いです。でも、車と自転車、車と人がぶつかるじこも多くなっています。

じこの原いんは、不注意やハンドルそうきのあやまりによることが多いです。子どものじこの原いんは、とび出しが多いです。

じこは、いろいろな場所で起こっています。

### 交通じこのしゆるいとじこの原いん



車と車 (100)	車と自転車 (40)	車だけ (23)	車と人 (14)
--------------	---------------	-------------	-------------

前をよく見ていなかった (84)	あいての動きを見ていなかった (43)	ハンドルの動きを (22)	信号を (11)	そのた (8)	スピードの出すぎ (9)
---------------------	------------------------	------------------	-------------	------------	-----------------

<平成4年度中の交通じこのあらまし：養老(けん)管内>



# 道路の安全しせつ

道路には、歩道橋、横たん歩道、カーブミラー、ガードレール、信号機などじこを起こさないためのしせつが多くあります。

また、一方通行、ちゆう車きん止、時間せいげん、車の乗り入れきん止などさまざまな工夫がされています。



①カーブミラー



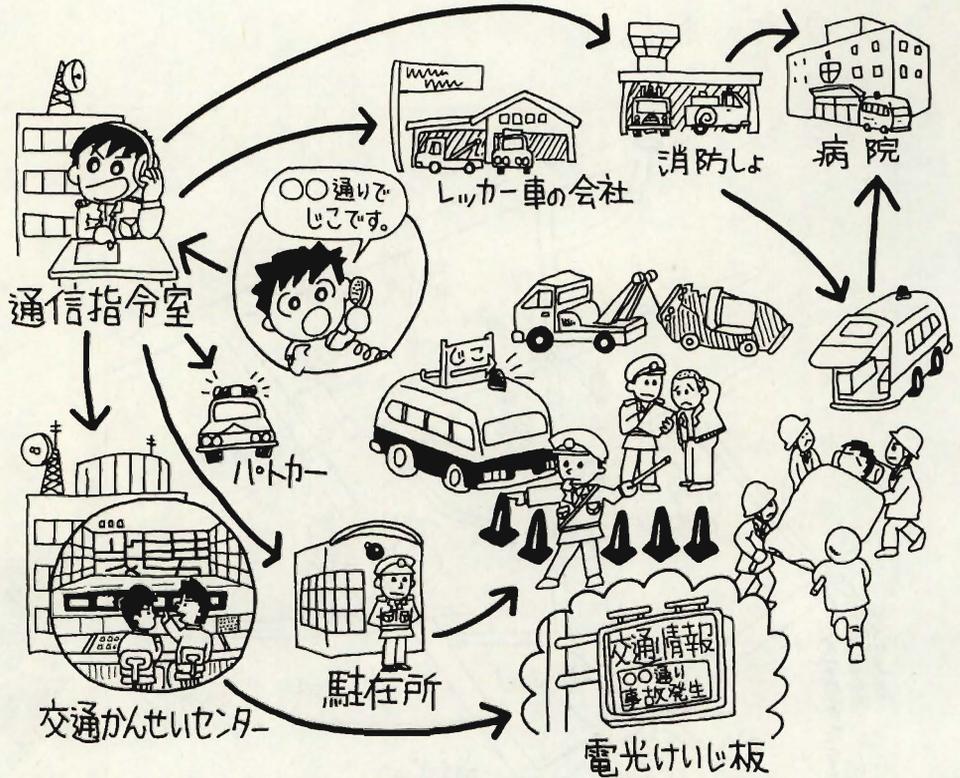
②歩道橋



③地下道

## お じこが起きたら

110番に電話をかけると、岐阜県けいさつ本部の通信指令室しれいにつながります。そこから近くのけいさつしょや交番、パトロールカーに知らせます。じこによっては消防しょうしょや病院びょういんなどにも知らせます。



### 110番のかけ方

あわてず、落ちついて次のことを正しく話して下さい。

何があったか (じけん・じこなど)

いつ (はっせい時間)

どこで (場所、目ひょうなど)

けが人は (ひがい者・ふしょう者)

はん人は (人数・にんそう・ふくそうなど)

はん人の車は (車の名前・ナンバー・ほうこうなど)

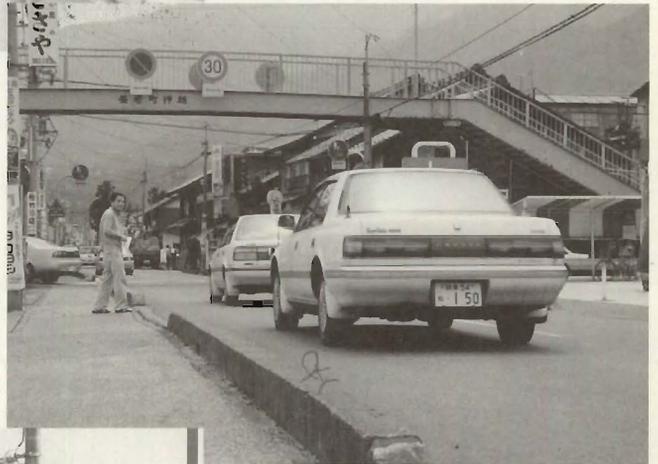
## 歩行者の安全を守る

歩いている人や自転車に乗っている人のじこは子どもやおとしよりに多く起きています。

歩行者や自転車に乗る人が安心して通れるようにと、車道と歩道を分けたり、えん石をついたり、信号機をつけたりしています。



⑩ 歩道と車道を分ける



⑪ 歩道橋



⑫ 横断歩道

## 車の安全<sup>まも</sup>を守る

新しい道路<sup>ろ</sup>をつくったり案内板<sup>あんないばん</sup>をつけたりして、車の流れ<sup>なが</sup>をよくし、じこを少なくしようとしています。

また、道路<sup>ろ</sup>の上に電光表示板<sup>ひょうじばん</sup>をつくって交通安全をよびかけています。



①案内板



②新しい道路<sup>ろ</sup>



③電光表示板

## 交通安全協会の努力

交差点に黄色の服を着た人が立って、安全をよびかけています。交通安全協会の人たちです。

交通安全協会は、地いきの人たちでつくられています。そして、交通安全のためにけいさつと協力して活動しています。



①養老地区交通安全協会の総会(5/27)



②法令講習会

わたしたちは、交通じこをふせぎ安全で住みよいまちづくりをめざして活動しています。

### ・道路での交通指導

交通安全の日、交通安全運動の期間、祭り、その他の行事の日

### ・子どもへの交通安全指導

通学道路での指導、新1年生にパンフレット・ランドセルカバーを配る。

### ・おとしよりへの交通安全指導

夜光たすきを配る。家庭ほう問

### ・その他

カーブミラーをたてる。横だんまくやかん板をつける。ちらしを配る。



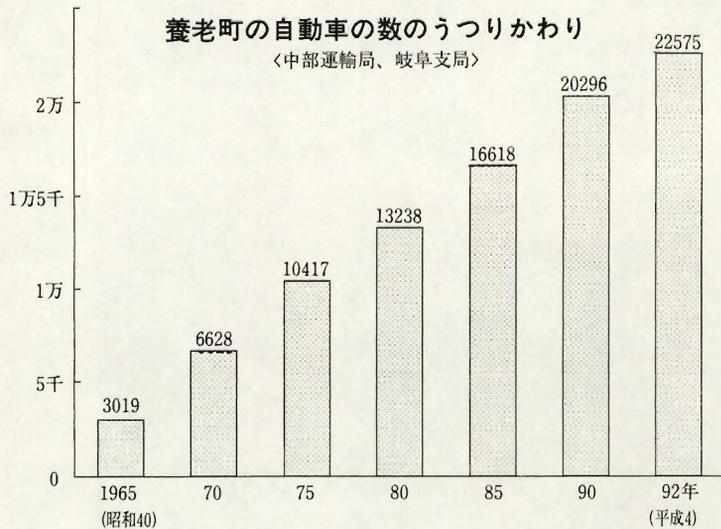
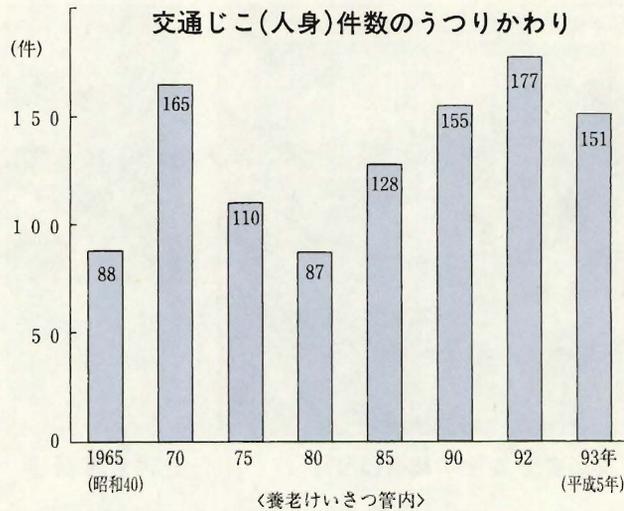
③交通安全協会婦人部の活動(7/12)

## へらないじこ

交通じこをなくすために、いろいろ努力<sup>ど</sup>しています。それにもかかわらず、じこがへりません。

最近<sup>さいきん</sup>では、車のない生活は、考えられなくなりました。車の数もどんどんふえています。

今まで以上<sup>い</sup>に、みんなで協力<sup>きょうりょく</sup>して、安全なまちづくりを進めていかななくてはなりません。



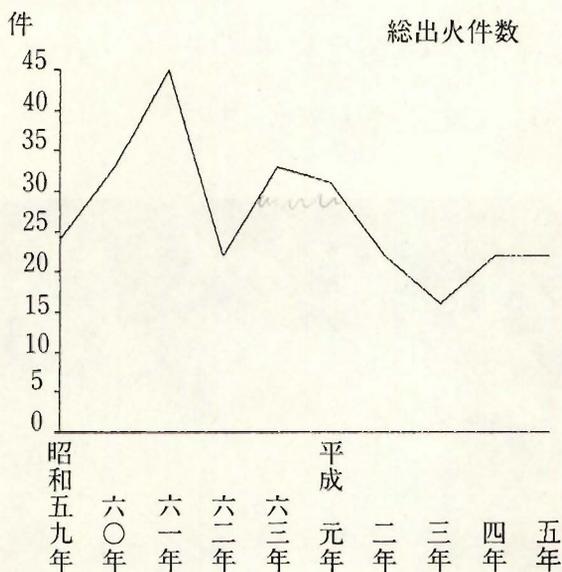
## おそろしい火事

火事は、家やざい産だけでなく、ときには、人の命までもうばってしまうことがあります、とてもおそろしいものです。

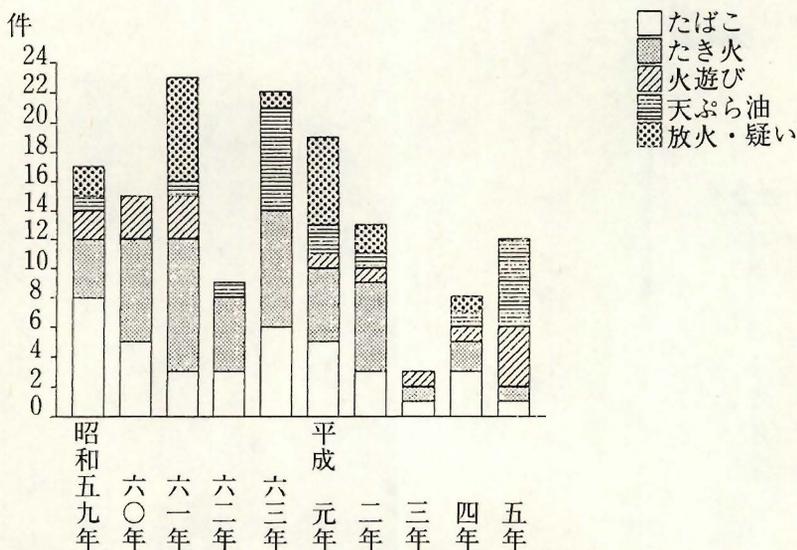
養老郡でも、毎年何けんもの火事が起こっています。

## 2. 火事を ふせぐ

起こった火事の数



火事の原いん



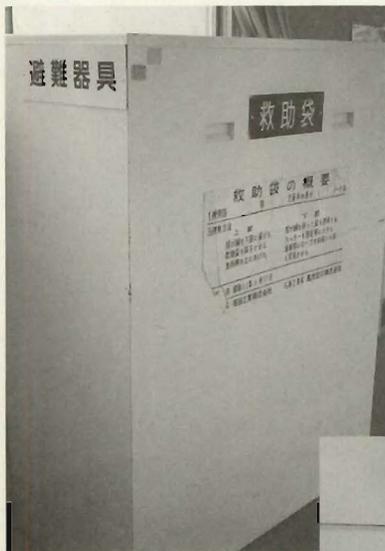
## 学校にある消ぼうせつび<sup>しょう</sup>

学校の中にはぼう火や消火のためのいろいろなせつびがあります。

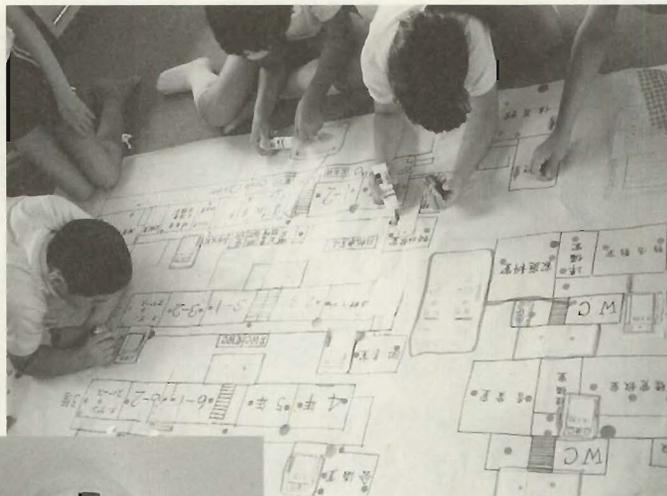
ぼう火せつびには、火さいほう知機<sup>き</sup>・ぼう火シャッター・けむり感知機<sup>かん</sup>などがあります。

消火せつびには、消火器<sup>しょう</sup>・消火せん<sup>き</sup>などがあります。みんなで図にまとめました。

これらは火さい発生<sup>はつ</sup>にそなえて、計画的<sup>てき</sup>にあちらこちらに配置<sup>はいち</sup>されています。



① 救助ぶくろ<sup>きゅうじょ</sup>



① せつびを図にまとめる



① 火さい受信機<sup>じゅしんき</sup>



① 消火器<sup>しょう</sup>

① けむり感知機<sup>かんちき</sup>



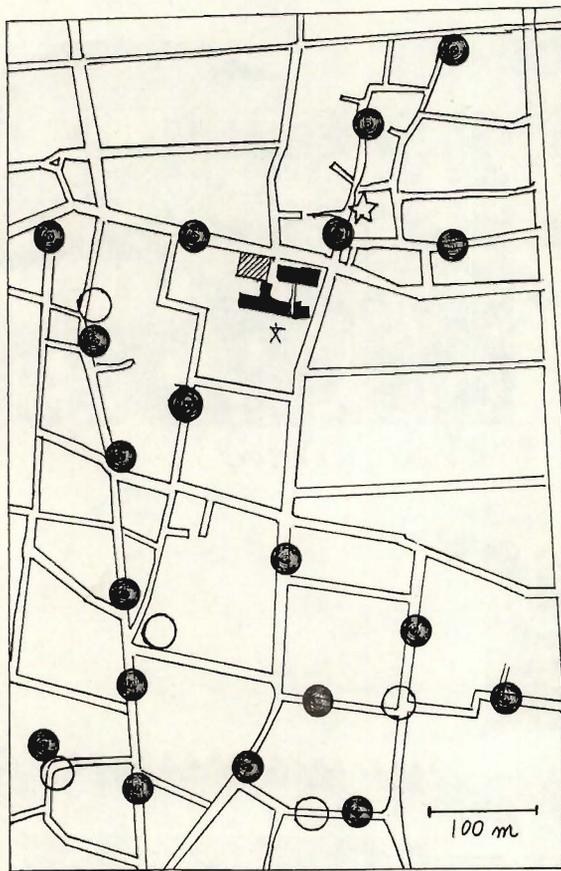
① 学校の中の消火せん<sup>しょう</sup>

# 学校のまわりの消ぼうしせつ

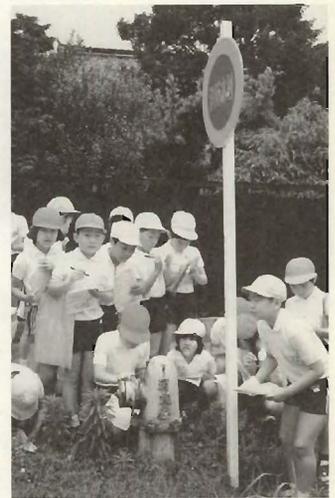
学校のまわりにも、学校の中と同じように消ぼうしせつがあります。

消火せん、ぼう火水そうなどがあちこちにあり、すぐに消火できるようにと考えてあります。また、それらは赤や黄色にぬられていて、よく目立つようになっています。

## 学校のまわりの消ぼうしせつ



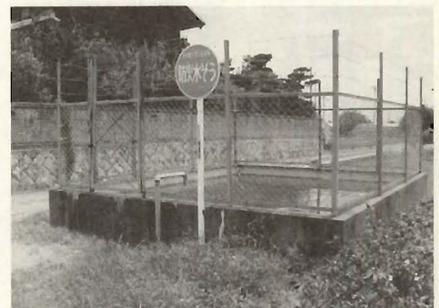
- 文 わたしたちの学校
- 消火せん (地下式)
- ☆ 消防水利
- ▨ プール
- 消火せん (打ち込み式)



① 消ぼう水利



② 消火せん



③ ぼう火水そう

## 消ぼうしょ

ようろう ようろう ぶぶん  
養老町には、養老消ぼうしょと南部分ちゅう  
しょ かみいしづ かみいしづ  
所、上石津町には上石津消ぼうしょがあります。

じ  
火事の知らせが入ると消ぼうしょの人は人び  
いのち さん まも ち きょう  
どの命やざい産を守るために、地いきの人と協  
しょう どう  
力して消火活動にあたります。



① 養老消ぼうしょ



② 養老消ぼうしょ見学のようす



③ 上石津消ぼうしょ



④ 南部分駐所

## 早く消すための工夫や努力

119番通ほうから、出動まで、わずか20秒ぐ  
らいしかかかりません。こんなに早く出動でき  
るのは、消ほう自動車の手入れをしたり、服  
を着たまま休んだり、出動くんれんをするなど、  
さまざまな工夫や努力をしているからです。

また1秒でも早く消すために24時間、電話  
がかかるとなっています。消ほうしょの  
人は交たいで24時間きんむをしています。



① 消ほう自動車の手入れ



② ロッカー



③ くんれん



④ 前向きにとめてある消ほう自動車

119番電話番当番表(夜間)

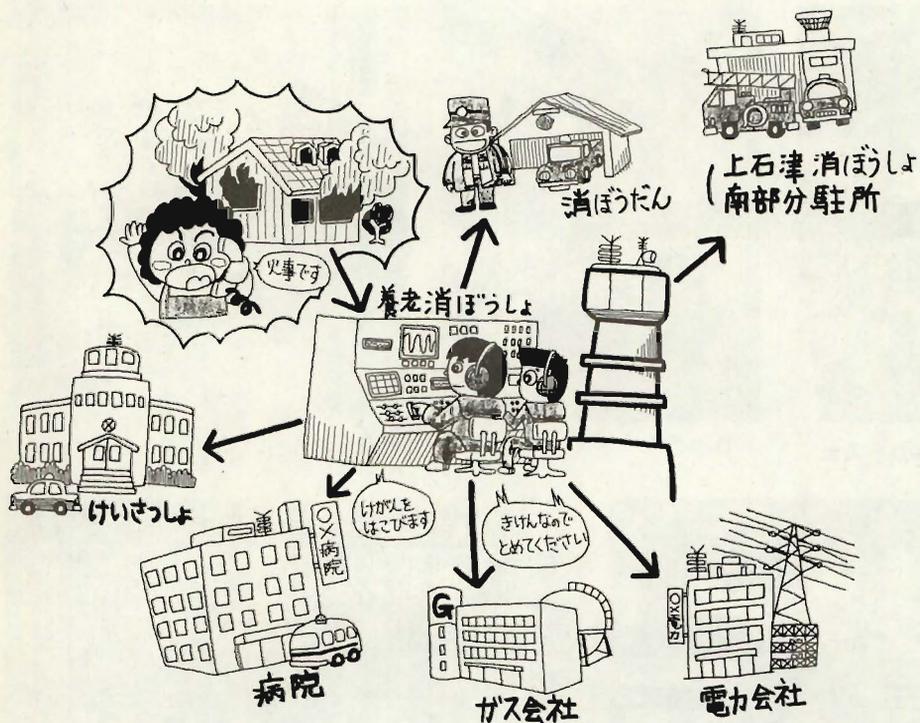
	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	1	2	3	4	5	6	7時
つじさん														
こうのさん														
ひし田さん														
川地さん														
みわさん														
近藤さん														
みやはさん														
大くらさん														

⑤ 当番表

## 消ぼうしょの心ぞう部

119番通ほうを受けた養老消ぼうしょの通信  
 指令室では、電力会社・ガス会社・病院・警察  
 などにすばやく連らくして協力してもらいま  
 す。

また、養老消ぼうしょ・南部分ちゅう所・上  
 石津消ぼうしょが連らくし合ったり、大垣市や  
 不破郡の消ぼうしょとも連らくをとり合ったり  
 して消火活動をしています。



①通信指令室(養老消ぼうしょ)

## しょう 消ぼうだん

ようろうぐん しょう  
養老郡では、消ぼうだんをつくっています。

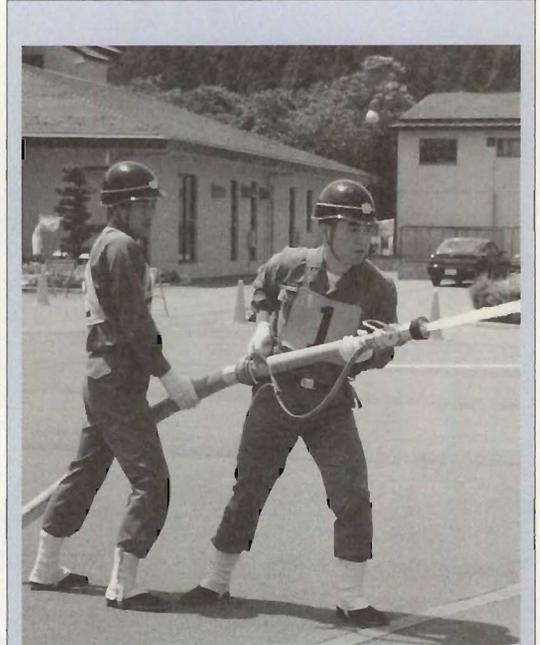
しょう きょう しょう どう  
消ぼうしょの人たちに協力して、消火活動や  
ぼう火活動どうをしています。



①消ぼうだんの倉庫そうこ



②消ぼうだんのくんれんのようす



おじさんは、昼間は会社につとめていて、夜、消火くんれんをしたり、時には朝早く起きて、出動の練習どう れんしゅうをしたりしています。

サイレンがなると、仕事ごとのど中でも消ぼう倉庫そうこにあつまり、火事のど中でも消ぼう倉庫そうこにあつまり、火事のげん場じにかけつけます。そして、消ぼうしょの人たちきょうと協力して火を消しとめるのです。

火が消えても、また、もえだすこともあるので、ひとはん中、番をすることもあります。

おじさんたち消ぼうだんは、水ぼうの仕事ごともしています。1990年の台風19号では、江月のていぼうが切れました。夜中の2時に、げん場じにかけつけると、水がふえ、ていぼうが半分くずれていました。強い風と雨の中で、ひっしに土のうつまやくいうちをしました。朝になり、ようやく水が引きはじめました。つかれてへとへとだったけれど、水害みづがひにならなくてよかったです。

③消ぼうだんのおじさんの話

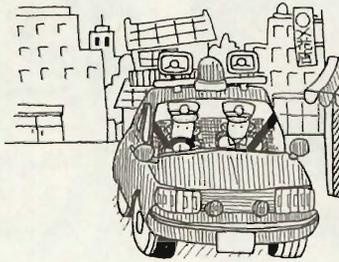
## 火事をふせぐために

火事を起こさないようにすることが、一番大切です。

消防士や消防団の人たちは、消防しせつを点けんしたり、講習会を開いてぼう火をよびかけるなど、いろいろな努力をしています。



①避難くんれん



①消防フェスティバル



①避難くんれん

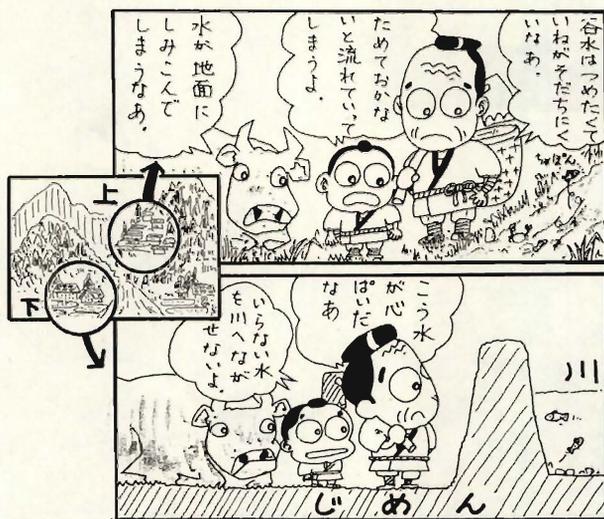
# 3 きょうどを開く

わたしたちのまちは、昔から水<sup>むかし</sup>がたりなくてこまったり、多すぎてくる苦しめられたりしてきました。

## 1. きょうどのはつ発てんにつくした人びと



⑤ ため池



⑥ 昭和34年の大水害<sup>が</sup>

# ①ため池づくり

かみいしづ たら

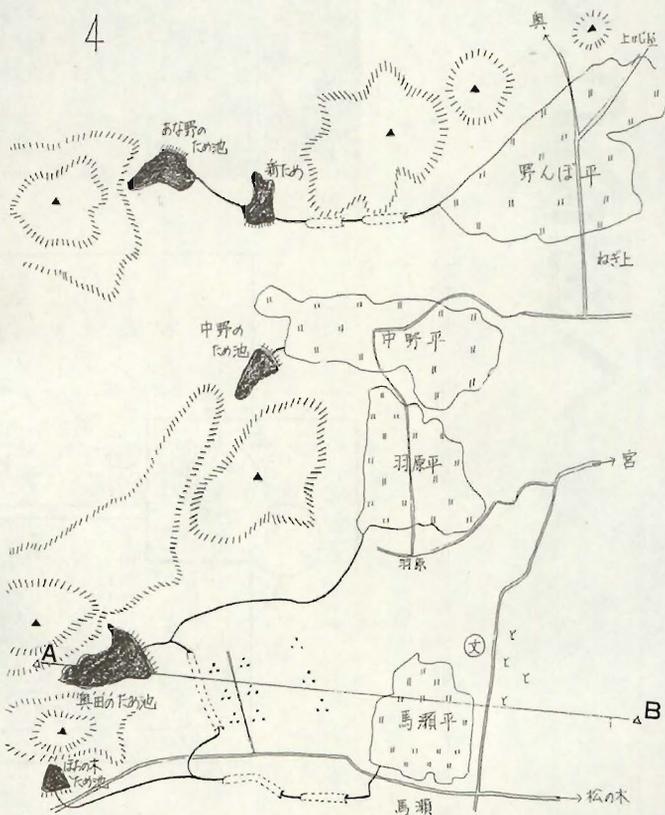
上石津町多良地区の地図を見ると、山あいには大きな池がいくつかあります。これらは「穴野のため」「中野のため」「奥田のため」とよばれ、谷をせきとめて水をためた人工の池です。



①ため池のかん板



①ため池

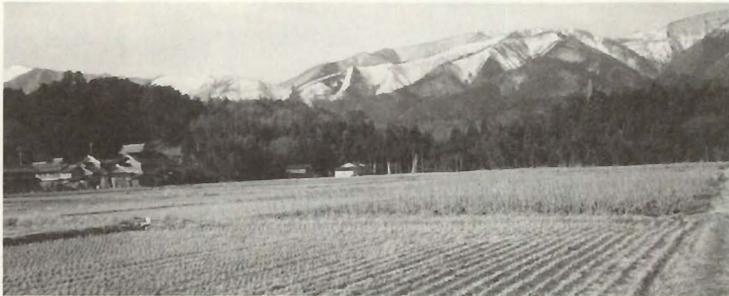


# 昔の多良

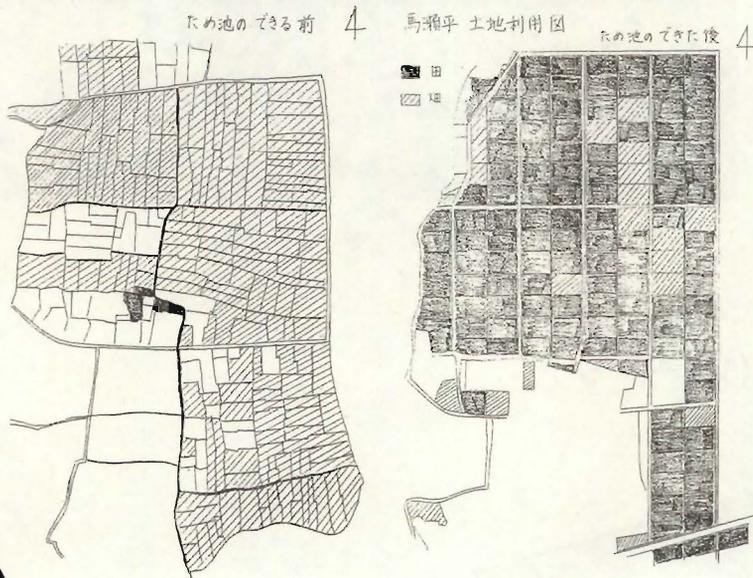
昔、多良地区の山の方では、水不足のため米を作れないところがありました。

馬瀬平の土地利用図を見ると、ほとんどが畑であったことがわかります。

馬瀬の人びとは、米を作って白いごはんを食べたいと強く願っていました。



馬瀬平



## 馬瀬平に住む三輪さんの話

わたしたちが子どものころは山で焼いたすみを高田へ持っていった。そして米と交かんしてもらった。米はだいじなもので、白いごはんは正月や祭りの時しか食べられなかった。

## 人びとの<sup>ねが</sup>願いと計画

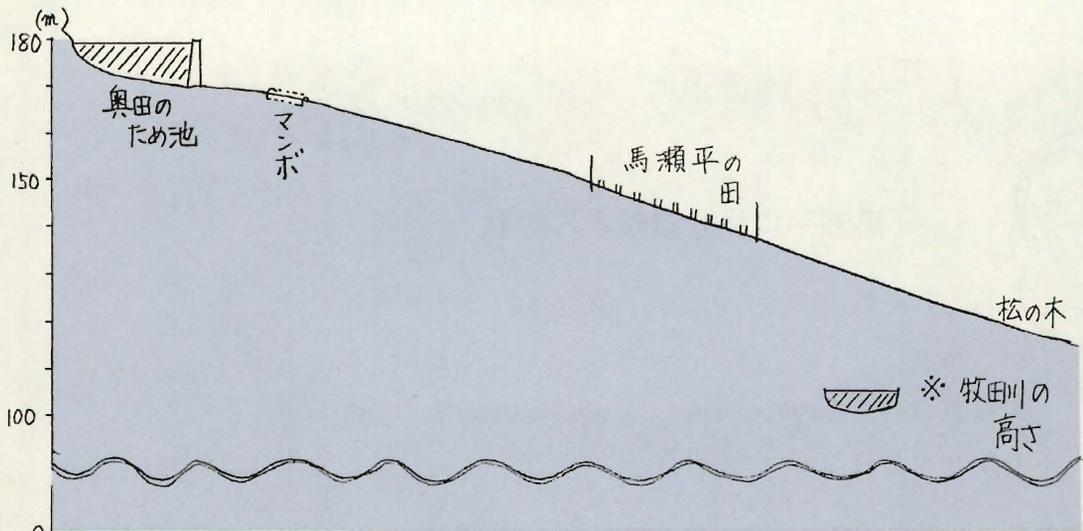
そこで人びとは、畑を田にするために水をどのようにして集めるか考えました。

そして、馬瀬<sup>ませだいら</sup>平よりも高い山の方で谷をせき止めてため池をつくり、そこからトンネル(マンボ)をほりぬいて水を引く計画を立てました。



①マンボ

## A-Bの<sup>だんめんず</sup>断面図 (171ページ)



## ため池づくり

工事のしごとは、「ため池係」「水路係」「整理係」の分たんがあって、助け合って進められました。

ため池係の工事は、まわりの山土をけずってつつみにする所に運びます。それをたたいてかためたのです。工事のど中でつつみがくずれたこともあったそうです。

もっとも大きい「奥田のため」の工事は、うけおい業者もさじをなげたというむずかしいものでした。それでも地元の人たちが県からはけんされた人の指じをうけ男の人も女の人も大ぜい働きました。

<p>(明治32年) 一八九九年</p>	<p>(明治42年) 一九〇九年</p>	<p>(大正元年) 9月 一九一三年 8月 10月 11月</p>	<p>(大正5年) 一九一六年</p>
<p>・ 煙が水田になり、田は今までの四倍にふえた。 ・ 工事が終わった。 ・ マンボ・水路工事は、たいへんな工事であった。 ・ 業者がなく、村の人達で工事をすすめた。 ・ 一番大きなため池である奥田のため池の工事をひきうけられた。 ・ 中野のため池で、工事中堤防が切すいる係・せい地係) ・ 工事がはじまった。(ため池係・県から、かかりの人が測量にきた。 ・ 最初の話し合いがされた。 ・ 一六二名が参加し、多良小学校で、 ・ ねがいがか許可された。</p>	<p>決心し、県へ耕地整理をしたいとおねがいをした。 ・ 多良村で水田にできる場所を全部水田にしよう」と ・ 多良村長立木氏が、「こんな所(中野)で水田ができる ・ 小寺氏・西脇氏が、中野の畑を水田にしようとした。 ・ ようになった。 ・ にかえる法律「耕地整理法」ができ、全国で行なわれる ・ ため池をつくって、雨水などをあつめ、畑地を田(水田)</p>	<p>・ 面積・ha(運動場約倍)を耕地整理することが決まった。 ・ 大きなため池を三つつくることになる。</p>	

## マンボほり

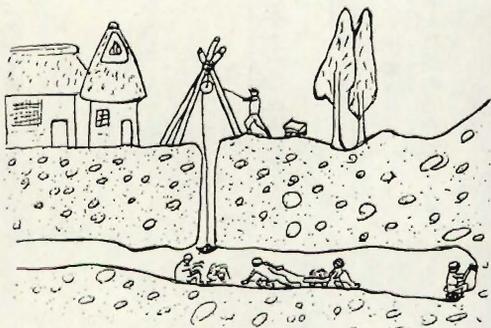
ため池の水を田にひくトンネルになった水路<sup>ろ</sup>を『マンボ』とといいます。

<sup>ま ぜ だいら</sup>馬瀬平に水を引くために、200m～700mの長さのマンボが5本もほられました。

ひと1人がかがんでやっど通れるくらいのマンボをどのようにしてほったのでしょうか。

両がわからほってくる人が、おたがいにはる音を聞きながら、うまくつながるようにほっていきます。ちゃんと水が流れていくように高さを考えてほっていくことが大切です。

かたい岩にあたった時は、1日かかっても1メートルもほり進めないことがありました。



マンボほりのようす



# 広くなった田

おくだ まぜだいら はばらだいら  
 奥田のため池ができて馬瀬平や羽原平では、  
 田が20倍にふえました。

その後も人びとはマンボを直したり、ため池  
 をふやしたりして、田を守る努力を続けてきま  
 した。

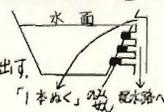
こうして今では、山の方でも田が広がり人び  
 との願い通りいつでも白いお米が食べられるよ  
 うになりました。

大正6年(1917年) 馬瀬平の配水日誌 (一部分)

日にち	天気			係
6/20	くもり	奥田2本、ほおの木2本ぬく。	3まい田植えすむ。	松井 久吉
6/21	小雨	奥田3本ぬく。	4まい田植えすむ。	小川 松吉
6/22	雨 午後	奥田2本ぬく。	4まい田植えすむ。	川泰 重太郎
⋮		(毎日記録があるが、はぶく)		
7/1	晴れ	奥田2本、ほおの木2本ぬく。	10まいすむ。	松井 久吉
7/2	雨	4月以来の大ぶりて願ってもないお雨。	35まいすむ。	山下 榮吉 三浦 彰吉
⋮				
7/4	雨の晴れ	奥田2本、ほおの木1本ぬく。	全部田植えすむ。	北野 秀吉
⋮				
7/26	晴れ	奥田2本、ほおの木1本ぬく。 この日、県下には大夕立があったらしい 養老師にはま		
7/28	晴れ	奥田2本ぬく。 馬瀬平一面、水のある田はなく、ひ		
7/30	晴れ	奥田2本ぬく。 夜、馬瀬野の配水係の集会を開		
7/31	晴れ	奥田3本、ほおの木1本ぬく。 羽原ともめあう。		



※「ぬく」... ため池のすり鉢状になった斜面に「のみせん」という  
 出水口の栓がたてにならんでいる。  
 これを 上から順にぬいて、水を配水路へ出す。  
 「1本ぬく」の栓、配水路へ



① 耕地整理記念碑

## ② こう水をふせぐ (宝暦治水)

養老町は昔からこう水になやまされた土地で、  
こう水をふせぐための努力が<sup>ど</sup>つづけられてきました。  
た。

まきだ  
牧田川のていぼうを歩いてみると、こう水を  
ふせぐ工事のあとが<sup>じ</sup>たくさん見つかります。

治水年表

時代	江 戸	明 治	昭 和	平成
い	一六五〇 一六一一	一八九二 一七五五 一七五三	一八九六	一九八五 一九九〇
つ	美濃国で大洪水 大垣藩だけでも死者一五五三人 木曾川の左岸に御囲堤といわれる大きな堤防が作られる (三川 たびたびの洪水)	木曾・長良・揖斐の三つの川の分流工事が始まる 一年半もの日数と、多くのぎせい者を出し 費用を費やして完成 宝暦治水 幕府の命令により 陸奥藩による治水工事が始まる (毎年のように三川 洪水)	九月 西濃一帯 大洪水 七月 西濃一帯 大洪水 明治の大洪水 (ヨハネス・デレーケ)	九月 集中ごう雨 牧田川中堤 烏江付近で切れる 八月 金草川排水機が完成する 長良川の堤防が切れる (安八郡安八町一九・一二水害) 九月 集中ごう雨 (台風一七号) 六月 集中ごう雨 (台風六号) 芸輪中はどろ水につかる 九月 伊勢湾台風 せつかく築いた牧田川の仮堤防がふたたび切れ多 ートルにわたって切れ 多芸輪中はまたどろ水につかる 八月 集中ごう雨 (台風一五号) 牧田川の堤防が根古地で一二〇メ 大洪水 この年より 養老町各地に排水機がつくられる 二八〇〇メートル下流で合流させる 牧田川改修工事 牧田川と杭瀬川の合流点を背割堤で分流し 広瀬ダム 牧田川用水工事 牧田川上流 広瀬橋までの工事始まる 木曾・長良・揖斐の三つの川の分流工事が完成する をのこし全部が水に沈む)
できごと				



①佐竹直太郎碑



①牧田川喰違堤碑



①横堤



①金草川排水機場



①池辺小(伊勢湾台風)



①下池干拓工事碑



①牧田川中堤工事



①決壊口の碑



①水位標柱

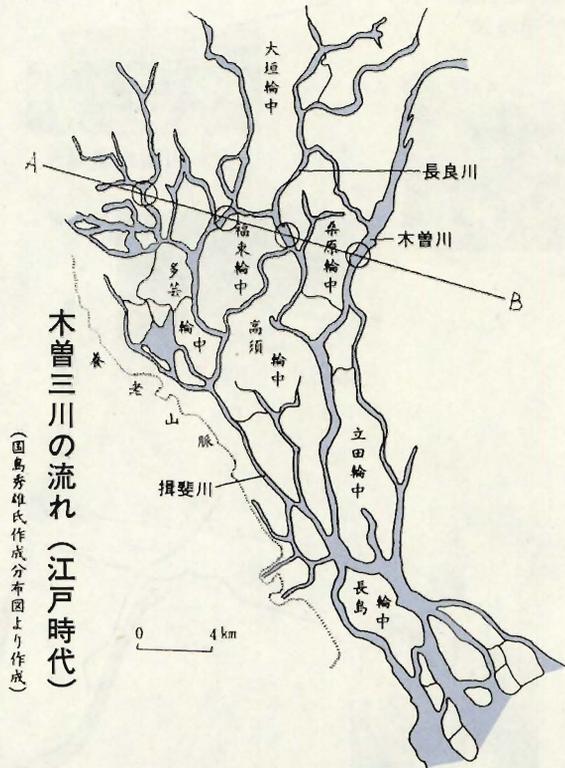


むかし みの  
昔の美濃地方の川のようにです。大小の川があ  
みの目のようにつながっています。

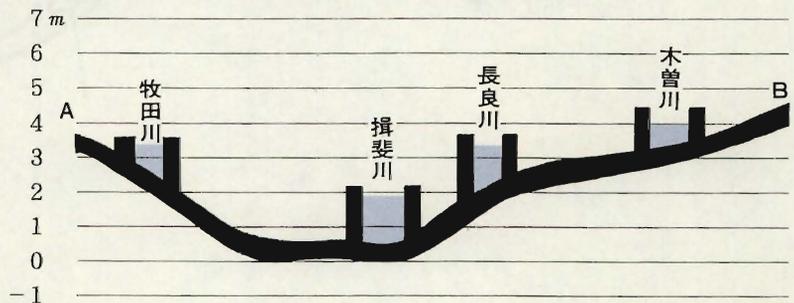
こう水の時きそは木曾川や長良川の水は水面の低めん ひく  
い揖斐川へ流れこんできました。

そこで養老町ようろう たぎ わじゅう（多芸輪中あたり）はこう水  
のひ害がいを多くうけてきたのです。

家・田畑が水にのまれ、なくなる人も多く人  
びとは大変苦しい思いをしてきました。



川の高さくらべ (A-Bの断面図)  
だんめんず



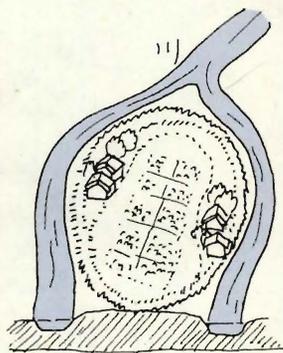
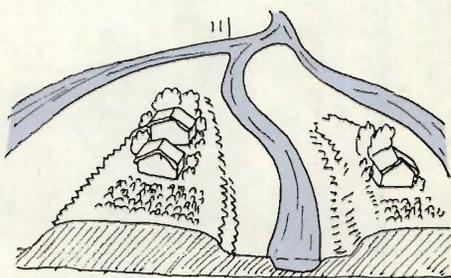
わじゅう ようろうちょう  
**輪中のまち養老町**

養老町の東には揖斐川、北には牧田川、西には津屋川が流れています。この三つの川のていぼうに囲まれたところを多芸輪中とといいます。多芸輪中は、たくさんの小さな輪中に分かれています。

村のおひやくしょうさんたちが、みんなで力を合わせ、水害から守るためにひっしになって土を運んできずいたものです。



養老町の輪中（江戸時代）



輪中とは水害から家や土地を守るためにていぼうで囲ったところ

ほうれき ち すい

## 宝暦治水

いけ べ

池辺地区にある「薩摩工事役館あと」です。

ぞう ひら た ゆき え さつ ま はん か ご し ま け ん  
像は平田靱負という、薩摩藩（今の鹿児島県）

のおさむらいです。

さつ ま はん

今から250年あまり前に、薩摩藩のおさむら

いさんたちは遠くからやってきて、大変な苦勞

をして美濃地方全体の川を治して下さったので

す。



①薩摩工事役館あと



①平田靱負の像

こう水をふせぐためには広いはんいをなおさなくてはなりません。多くのひ用がかかり、ぎじゅつもいります。それぞれの村の力だけではどうにもなりません。そこで人びとは川をなおしてもらえよう、何度も何度も幕府（そのころの政府）に願ひ出で、やっとゆるされました。

かさまつ ぐんだい ちすい じ ねが  
笠松の郡代へ治水工事を願ひ出た文書

みの 美濃の国の村々は、年々水による被害が増え、現在では低地は作物をつくれぬ土地になり、良い土地の村々までも毎年水の被害を受け、年によっては収かくなかつたり、半分しかとれなかつたりして、百姓を続けていくことが難しくなつてきています。

そのため、多くの百姓は土地をすててどこかへ逃げていってしまうとても悲しい状態です。

・・・（中略）・・・

水の被害がなくなり、水の流れもよくなり、水の被害によって作物を作れない土地となつた村々が昔の姿にもどり、よい土地となりますよう願ひ申し上げます。





## 工事の苦勞

薩摩さつまの人たちはさむらいであるため土木工事じになれなくて苦勞くろうしました。特に苦しんだのは、「三の手」の大樽川とくくるのあらいぜき工事じと、「四の手」の油島あぶらじまのしめきり工事じでした。

また工事じは、今のように大きな機械きかいはないため、すべて人の力で行われました。

一つ一つが大変で、命いのちがけの仕事しごとだったのです。



油島の工事



ていぼう工事

しめきり工事が始まりましたが、木曾川に比べ揖斐川の川底が二メートルほど低いので、川の水が滝のようにうずまいて流れこんでいきます。大きな石をしずめても流れてしまうため、古い舟に石をつみ、しずめる所まで人が乗っていき舟に穴をあけてしずめるのです。水が入りだしたら川へとびこんでにげるのです。急な流れのため、命がけのしごとです。何人もの人がこの石舟とともに川にしずんだといわれています。

じ くろう ほか  
 工事の苦労は他にもありました。それは、工  
 じ ひつよう ざいりょう あつ  
 事に必要な材料を集めることでした。近くに  
 ない時は、遠くから集めなければなりません。  
 また、工事をかんとくするべく府の役人は、ど  
 めいれい しごと  
 てもきびしく命令しました。なれない仕事、知  
 らない土地の人たち、予定外の仕事、さらに体  
 が弱ったり、でん びょう  
 伝せん病で死んだり、工事がうま  
 くいかずはらを切つて死んだ人たちなど、たく  
 さんのぎせいによって、1年3ヶ月後に工事は  
 かんせい  
 完成したのです。

宝暦治水工事にかったもの、ぎせい

石、石材 4万1724坪  
 じゃり 20万3403坪



なわ 5万5404疋  
 たわら 16万2870俵



木材 12万743本  
 御株木 5816本  
 (幕府の山の木)  
 木の枝 700束  
 竹 172万8709本  
 重つき竹 1万4135本



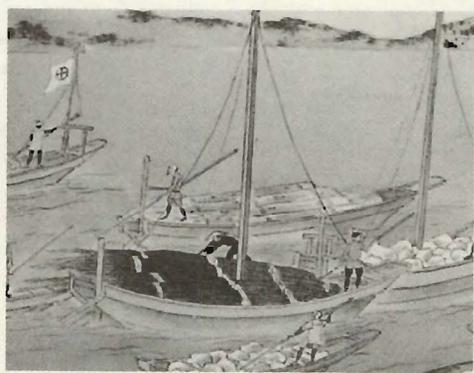
工事費 約40万両  
 (今のお金で、約300億円  
 はとんどは借金)



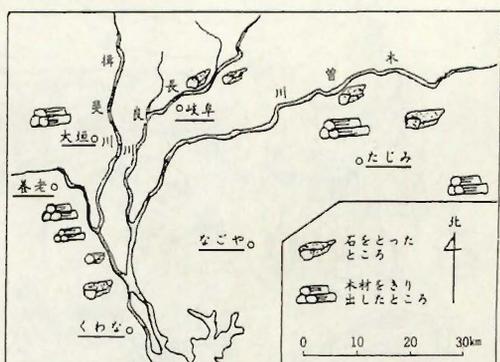
米 160万石  
 (約、9万6000トン)



病気でなくなった人 33人  
 切腹した人 53人

船で材料をはこぶ



石材・木材のさり出し場 (「薩摩義士」鹿児島県有英財団蒼より)

## 工事の完成

工事は立ぱに完成しましたが、総奉行の平田靱負は、多くのぎせいを出した工事のせきにんをとり、元小屋（役館）でこの世を去りました。

後の人たちは、この薩摩の人たちを「薩摩義士」としてたたえ、今でも大変感しゃしています。

養老町でも、毎年4月と8月に感しゃの気持ちをつたえていくために、けんしょう祭を行っています。



①平田靱負が最後によんだ詞



せつぷく  
切腹の図



①けんしょう祭（8月）



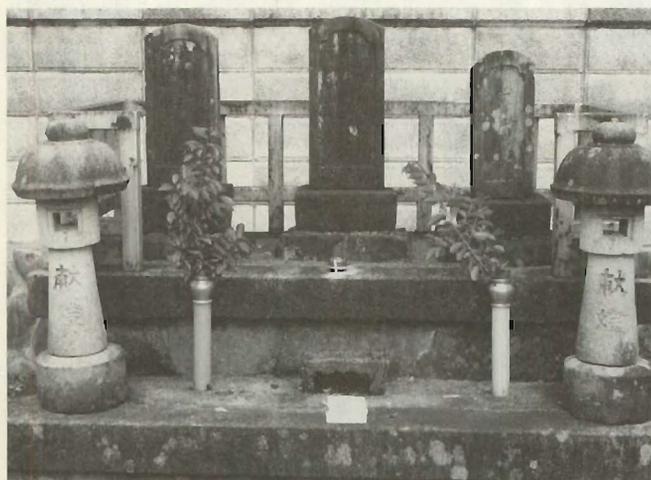
①けんしょう祭（4月）

いけべ のこ  
池辺に残る治水のあと

ひら た ゆき え ほうれき じ す し  
平田 靱負が、宝暦工事の間ずっと住んで指き  
をとっていた元小屋が池辺地区の大巻にあり、  
「やっかん役館あと」として残っています。その他にも、  
ようろう養老町のあちこちに、そのなごりが残っていま  
す。どこに、どんなふうに残っているのか調べ  
てみましょう。



① 浄土三昧 (根古地)  
じょうどざんまい ねこじ



① 三義士の墓 (天照寺)  
ざい ほか てんしょうじ



① かねかめ棺の発くつ

## ① 養老町

養老町は、西は養老山地、東には大きな濃尾<sup>のうび</sup>平野が広がる、豊かな緑<sup>ゆた</sup>と清らかな水<sup>きよ</sup>にめぐまれた自然<sup>しぜん</sup>あふれるふるさとです。

今、養老町では、「笑顔<sup>えがお</sup>あふれる躍動都市・養老」をテーマに、町民すべてが一生を通して住みがい<sup>す</sup>を実感<sup>じっかん</sup>でき、誇り<sup>ほこ</sup>に思えるふるさと養老をめざしています。そのために、『スマイルプラン…行ってみたくなる町・住んでみたくなる町・住む実感をえられる町』を立ててまちづくりに取りくんでいます。

2. 新しい  
ちいぎ  
地域  
づくり



① 元旦マラソン



② 来町した江西省南昌師範附属実験小学校の児童たち

## 行ってみたくなる町

養老の滝、菊水泉、県子どもの国のある県営  
養老公園には、全国から年間100万人の観光客  
がおとずれます。また、養老町はれきしのある  
町です。町のよいところを、他の地域の人がと  
にも知ってもらい、行ってみたいなど思ってもら  
えるようにいろいろな活動をしています。

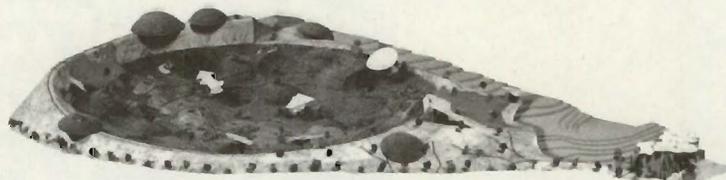
- ・ 養老のよさを知ってもらう。
- ・ 養老山のふもとに楽しめるしせつをいっば  
いつくる。
- ・ 水を生かした公園をつくる。
- ・ 象鼻山・古墳公園をつくる。



① パークゴルフ場



② 菊水霊泉



【心のテーマパーク・アンジュアルランド】

③ 「心のテーマパーク・アンジュアルランド」  
完成予想図（養老公園内）

## 住んでみたくなる町

わたしたちがくらしやすいように、生活環境<sup>かんきょう</sup>をよくしていこうと考えていろいろなことをしています。養老らしいけしきをつくる、道路<sup>ろ</sup>をよくする、楽しく買い物ができるようにする、下水道をつくるなどです。

町内のあちこちの道路<sup>ろ</sup>ぞいや公園で、老人クラブ、婦人会<sup>ふ</sup>、子ども会などが花いっぱいを取り組みをしています。また、川の自然を守るために、こいやほたるの放流<sup>ほうりゅう</sup>も行っています。さらにしげんごみのリサイクルなどにも取りくみ美しい環境<sup>かんきょう</sup>づくりをすすめています。

また、しょうらいを見通して道路<sup>ろ</sup>を作ったり広くしたりしています。東海環状自動車道<sup>とうかいかんじょうじどうしゃどう</sup>のインターチェンジもできる予定です。



## 住む実感をえられる町

養老町に住む人びとがすべて、「ずっと住んでいてよかった」とよろこんでもらえるように、「ふれあい」のあるまちづくりをすすめています。町民憲章の取りくみをする、みんなでまちづくりをすすめる、一生学習できるしくみやしせつをつくる、福祉のためのしせつをつくるなどです。

平成2年には「ふくしのまち」を宣言し、6年度からは、「養老シニアプラン21」をはじめました。ふくしセンターや老人ふくしセンター、保健センターなどを中心に、おとしよりがゆたかにくらするように活動を進めています。

また、公民館では、いろいろなこうぎや教室を開いたり、サークル活動をすすめたり、文化的な行事を行ったりして一生学習できるまちづくりをすすめています。



⑩公みんかんの生け花教室



⑪おとしよりととのふれあい



⑫保健センター



⑬地域福祉センター

## ②上石津町

上石津町は、町全体の面積のうち88パーセント（大部分）が山林という、緑ゆたかな町です。牧田・一之瀬・多良・時を結ぶ牧田川が流れています。

上石津では、山村という特色を生かした新しい町づくりをおこなっています。安心してらせる町づくり、みりょくある町づくりをめざして、次のようなとりくみをおこなっています。

### 空から見た上石津町



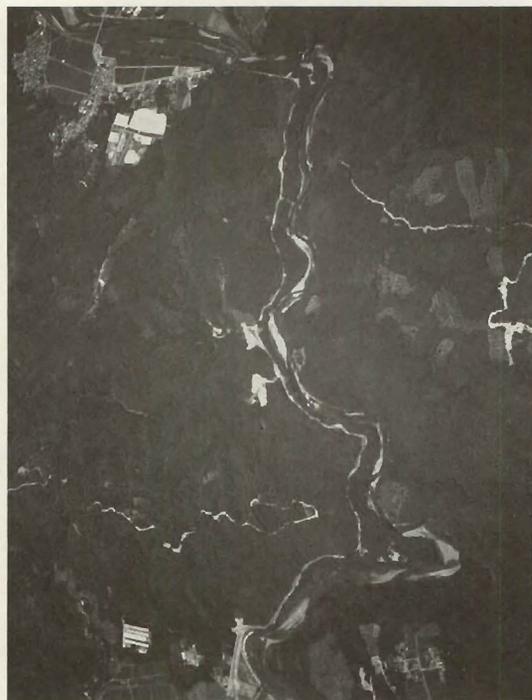
- 牧田川などの自然を守る。
- 便利な道路づくりをする。
- お年よりのためにしせつなどを整える。
- 昭和音楽村をつくる。
- 町外の人々との交流をする。
- スポーツ、レクリエーションしせつを整える。

上石津町は、ゆたかな自然を守りながら、都市のようなべんりさを味わうことのできる町、芸じゅつや文化に親しめる町をめざしているのです。

町の中央を南から北へ流れている牧田川には、  
夏になると色とりどりのテントが並びます。  
清らかな水と緑いっぱいの自然、おいしい空気  
をもとめて、人びとがおとずれるのです。

町では、この川を守るために、川の水の調さ  
を行い、年に3回、広ほう「かみいしづ」にの  
せています。それによると、まだ、美しい川  
といってもよいのですが、以前にくらべるとよ  
ごれてきているようです。

それは、おもに、家庭から出る生活はい水に  
よるものだそうです。そこで、町では、このこ  
とを人びとに理かいしてもらいながら、下水道  
のしせつをととのえようと計画しています。川  
を中心にして、自然かんきょうを守ろうとして  
いるのです。



①空から見た牧田川



②牧田川の清流

しょうわ 昭和57年にオープンした緑の村公園では、  
 毎年7月のおわりに「もんでこかみいしづ」と  
 いう夏祭りがおこなわれています。ふるさとを  
 出ていった人たちにもう一度帰ってきてほしい  
 という願いと上石津のゆたかな自然の中で祭り  
 を楽しみ、人びとに自然と共にごすよろこび  
 を感じてもらいたいという願いが、この祭りに  
 こめられています。

この祭りの他にも、緑の村公園には、次の  
 ようなもよおしやしせつがあります。

- もんでこ朝市      ●シルクニット
- 木工教室          ●セミナーハウス
- とう芸教室        ●バンガロー



人とふれあう、自然とふれあう、心がふれあう。

みどり  
緑の村公園ができてから、一年間に数十万人  
もの人びとが町くに来るようになりました。

町の人びとが待ち望まんでいたトンネルや新いち  
之瀬橋などがつくられ、交通の便べんもよくなりました。  
した。

このような上石津かみいしづ町に、しょうらい住すむ人が  
ふえることを、町は願ねがっています。そのためにも、  
ゆたかな自然ぜんを生かした新しい産業をおこ  
すこと、新しい文化をつくりだすことに力を入  
れています。

新しい産さんぎょう業の一つとして、草くさ木き染ぞめシルクニ  
ットの開かい発はつに取り組んでいます。

また、新しい文化をつくり出す場として、日  
本しょうわ昭和音楽村ができつつあります。



⑩ウッディドーム

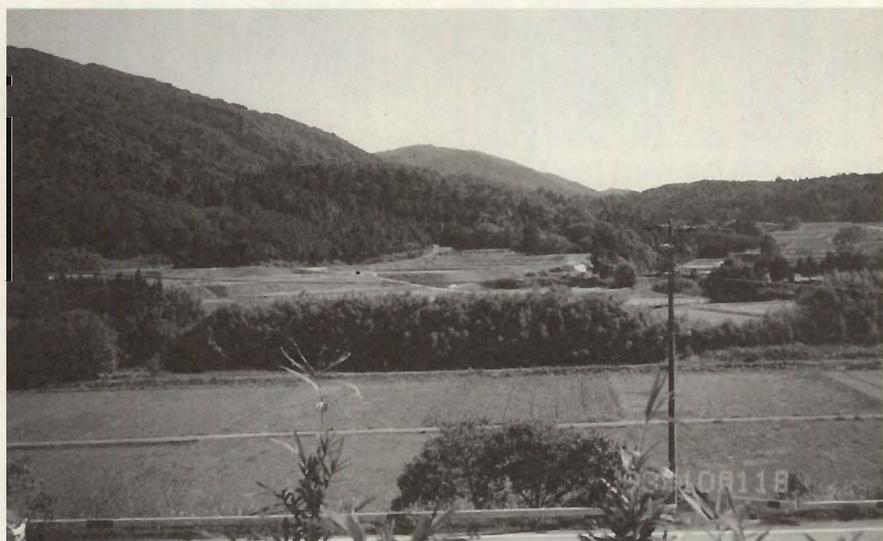
# 4 いろいろな土地のくらし

かみいしづ まきだ りゅうぶ  
上石津町は、牧田川の上流部  
にあります。まわりを山にかこ囲まれ  
た牧田、一之瀬、多良、時の四つの  
ぼん地からできています。ゆるや  
かな土地は田畑として、きゅう急な土  
地は人工林として使われています。

## 1. 山地の くらし



①人工林と茶畑



①水田

人工林には、おもに杉やヒノキが植<sup>う</sup>えられて  
います。

木が柱<sup>はしら</sup>として使えるようになるまでには何十  
年もかかります。それまで毎年下草がりやえだ  
打<sup>う</sup>ちなどの仕事<sup>しごと</sup>をしなければなりません。雪で  
たおれそうになった木をおこす仕事<sup>しごと</sup>もあります。



①手入れされたヒノキ



②せい材所



③ちょ木場

とき                      ゆうじ                      ぎょう  
時小学校の雄治さんの家は、林業をしています。

山に雪がなくなると、山をまわって、たおれた木を一本一本おこしていきます。草がのびる夏には、下草がりをします。木が大きくなると、下の方のえだを落としてみきが太くなるようにします。

おじいさんが子どもころに植えた木が、今やと柱として使えるようになったそうです。

この夏 ぼくの家の山で お父さんが 百年くらいたった杉の木をチェーンソーを使って切りました。ぼくは 皮むきの道具を使って 一メートルの長さで皮むきをしました。お父さんは「この皮は 屋根に使うんだよ。」と言いました。皮をむいた後は、ぬるぬるしてよくすべります。

その日の帰りに 松林につれていってもらいました。

「まつたけがでているかな。」

「思い松の根元をさがしてみたけれど 見つかりませんでした。」

「昔はよく出たんだが。」

とお父さんが残念そうに言いました。

次の日 山を測量するというので ついていきました。

「どのようにして測るのかな。」

「と思い 見ていました。そこは山でもとても急な所です。歩くのも大変でした。でもお父さんたちは そんな所でも機械を使ってどんどん測っていきます。」

「すごいなあ。」

「と思いました。ぼくもやってみたくありません。また コンピューターにかけると その山の面積がすぐに出てきたので とてもびっくりしました。」

山の水は 味があつてとてもおいしい。また山にいきたいです。



山のしゃ<sup>めん</sup>面では人工林の他に、お茶づくりや  
しいたけづくり、わさびづくりなどが行われて  
います。日当たりや水<sup>べん</sup>の便などを生かして、気<sup>き</sup>候<sup>こう</sup>  
や土地にあった作物<sup>そだ</sup>を<sup>く</sup>育<sup>ふう</sup>てる工夫をしています。



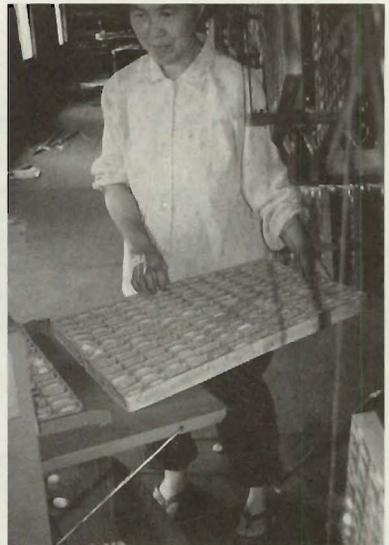
①しいたけさいばい



②しいたけの原木



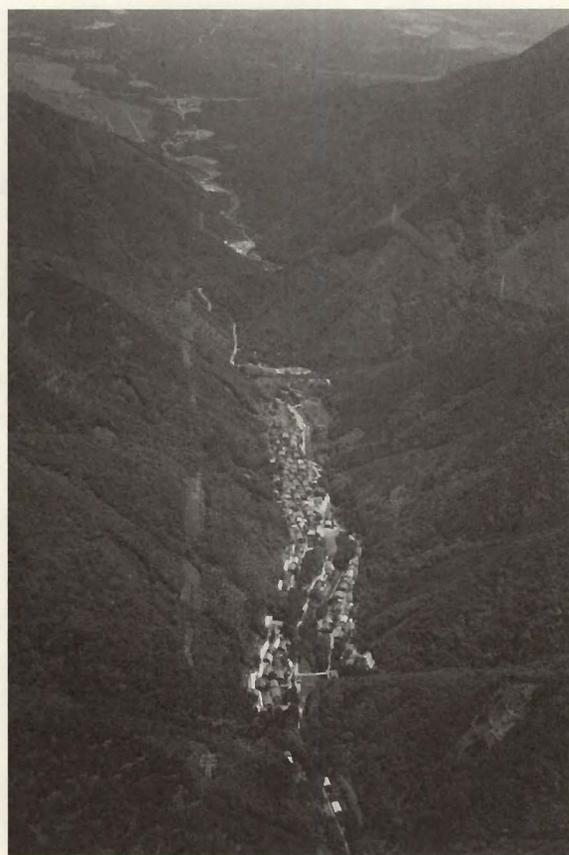
③くわを食べるかいこ



④まゆ

かみいしづ ときやま ちく  
上石津町で一番の山おくは、時山地区です。

ここは、山あいの村で、田畑はほとんどなく林業と炭やきでくらししていました。「時山炭」は有名でした。しかしガスや石油が使われるようになり、炭があまり使われなくなりました。それでわかい人がまちに出て働くようになって、住む人が少なくなってきました。



①空から見た時山



②時山の入口



③時山の家

そこで、山地の自然を生かしてみかある地いきづくりをすすめて、またにぎやかな<sup>ときやま</sup>時山にしようとしています。

最近では、<sup>さいきん</sup>時山<sup>ときやま</sup>生産組合<sup>さん</sup>をつくって、わさびづくり、しいたけづくりにも力を入れています。

また、バンガロー村をつくりゆたかな自然を都会の人にも楽しんでもらおうとしています。

今では、<sup>かっ</sup>活気<sup>き</sup>をとりもどしています。



① わさびづけづくり



① バンガロー村



① さしこ



① 炭やき



① 音楽祭 (バンガロー村)

## 川にかこまれた土地

わたしたちの住んでいる濃尾平野<sup>のうびへい</sup>は、西にいくにしたがって少しずつ土地が低くなっています。この大きな平野<sup>へい</sup>には、木曾川<sup>きそ</sup>、長良川<sup>ながら</sup>、揖斐川<sup>いび</sup>の3つの大きな川が流れています。昔は、<sup>なが</sup>じょうぶなていぼうがつくられていなかったの<sup>むかし</sup>で、大雨がふるとていぼうが切れ、村に水が入り、人びとに大きなそん<sup>がい</sup>害をあたえました。

## 2. 低地の くらし



①空から見た養老町

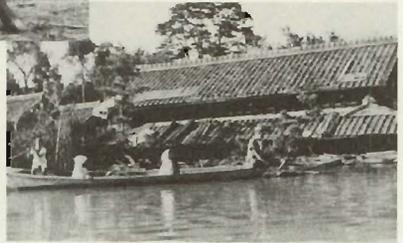
しょう わ かい  
昭和34年の大水害のようす



①切れたていぼう①

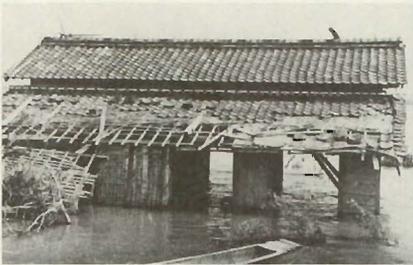


①たおれた電柱



②③水につかった家④

①ひなんのようす



①ひなんした人びと②



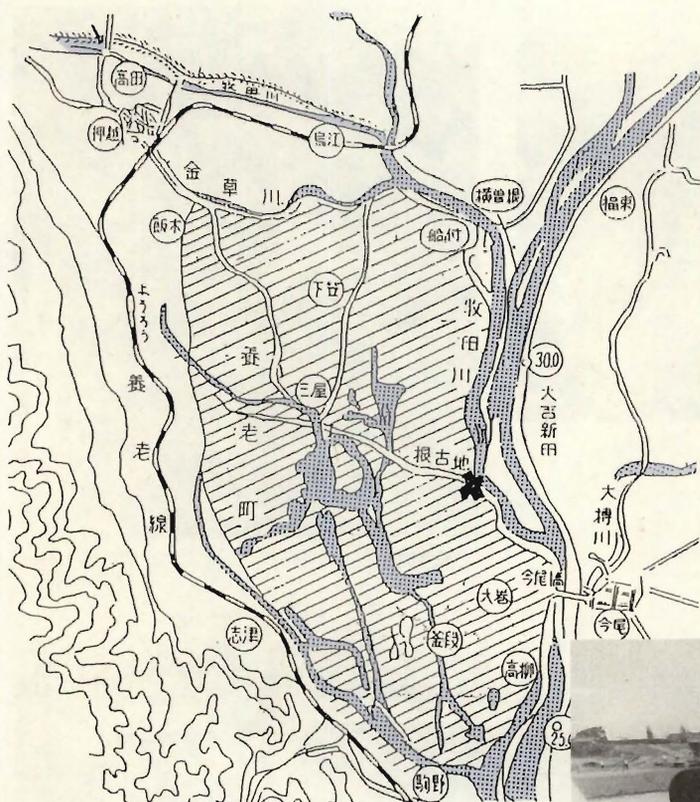
①水につかった校しゃ



人びどのくらしは、水とのたたかいの毎日でした。こう水によってていぼうが切れ、家を失うようなことが何回となくありました。

なかでも1959年（昭和34年）8月の台風7号にもなう集中ごう雨と、続いて9月の伊勢湾台風によるひ害はととても大きく、多くの人たちが死んだり、けがをしたり、家を失ったりしました。

大雨がふるたびに、生きるか死ぬかの生活だったのです。



①水につかったところ



②こわれたていぼう

## 大水から守る<sup>まも</sup>

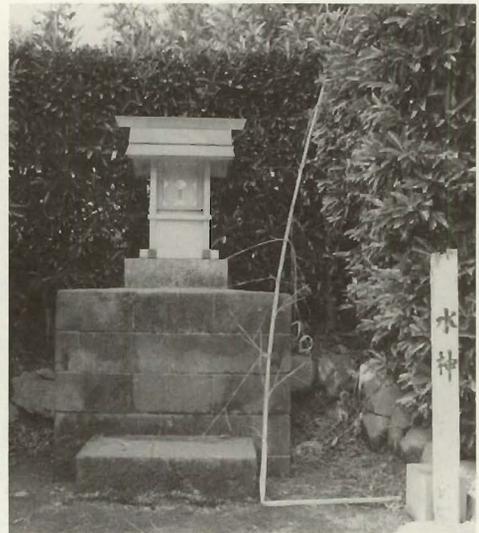
大水に苦しめられた人びとは、自分たちを守<sup>まも</sup>るためにいろいろな工夫<sup>くふう</sup>をしました。村のまわりをていぼうでぐるりと囲<sup>かこ</sup>って水が入らないようにしました。(輪中)<sup>わじゅう</sup>

また、4～5メートルも高く石がきをつみ、その上に家をたてたり(高屋敷<sup>やしき</sup>)、水屋をつくったりしました。

さらに、水神様<sup>じんさま</sup>をまつって水害<sup>がひ</sup>がおこらないようにいのりました。



①今ものこる輪中堤



①水神様



①高屋敷



①水屋

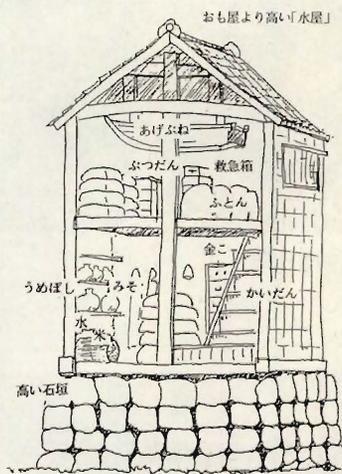
## 水屋

人びとは大水にそなえて高くしたやしきの一か所をさらに高くつみ上げ、その上に小屋を建てて万一の時のひなん所としました。これを水屋といいます。水屋の中には台所、水がめがあり、米やみそ、<sup>しお</sup>塩などがたくわえてあったので、しばらくの間はその中だけでくらしをしました。しかし、この水屋も、よほどのお金もちしか作ることはできず、ほとんどの人びとはていぼうの上などににげるしかありませんでした。



㊦ 水屋

### 水屋のつくり



#### 水屋の役目（水屋の持ち主の話）

今から二十四年前、牧田川の堤防が切れた時には、あつという間にどろ水が押し寄せてきました。どろ水は家のひさしの所までできてしまったので、母屋では暮らすことができなくなっていました。でも、水屋があったおかげで助かりました。

大雨が降って集中ごう雨となり、牧田川の水かさが増してきて、もしかしら堤防が切れるかもしれないと思ったので、堤防が切れる前に、仏さん、家の中の大切な道具、食べ物などを水屋の中へ運んでおきました。それで、水にぬれることなく、また使えるようになりました。

水がなかなかひかなくて、母屋では暮らすことができませんでしたが、その間、水屋で暮らすことができました。水屋には台所がついていて、大きな水がめもあったので、かん単な食事の用意ができました。また、ゆか下には、米やみそ、塩などがたくわえてあったので、ごはんもたけました。たたみの部屋もあったので、そこで食事をしたりねむったりできて、気持ちがいいなりました。

水屋は三メートルも高い所にたてられているので、ここではどろ水も入ってこないで安心して暮らしました。本当に水屋があつてよかったです。

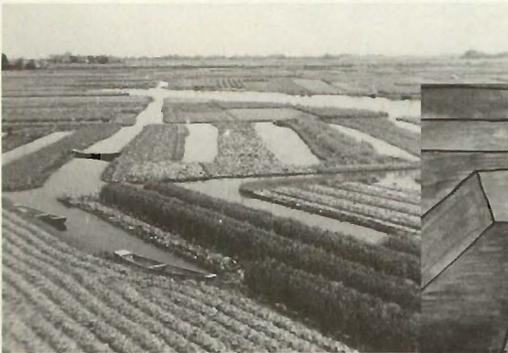
昔の人は本当によく考えて水屋を作ったものだと思います。昔の人の知恵はすばらしいと思います。



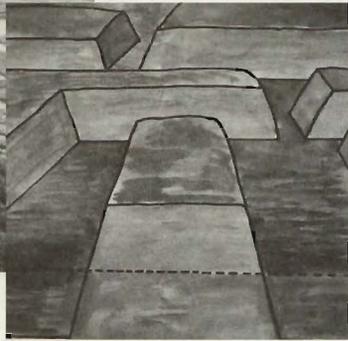
㊦ 上げ舟

## 米づくりの苦勞

昔の輪中むかし わじゅうの中は土地が低く水がたまりやすひくくどろぬまのようでした。せっかくうえたいねも水につかってしまい、お米がとれません。そこで土をほり上げて田を高くしました。これを「ほり田」といいます。土をほった所ところは水がたまり「ほりつぶれ」といいました。田の面積めんせきはへりましたが、米がとれるようになりました。大変な努力へんをして米づくりをしていたのです。



①ほり田



①ほり田の図

ほり田での米づくり  
ほり田づくりは、冬の水が少ないころにやりました。北風は強いし、ベタベタの土を「じょれん」ではり上げていく仕事は、とても苦しかったものです。また、こう地整理がありませんでしたから、とても不便でした。今のような道路もなく、舟（田舟）でしか田んぼへ行きませんでした。稲を見に行く時も舟でしか行けない所もあったのです。そのころの米づくりには、舟がとても大切な役目を果たしていたのです。



①田舟

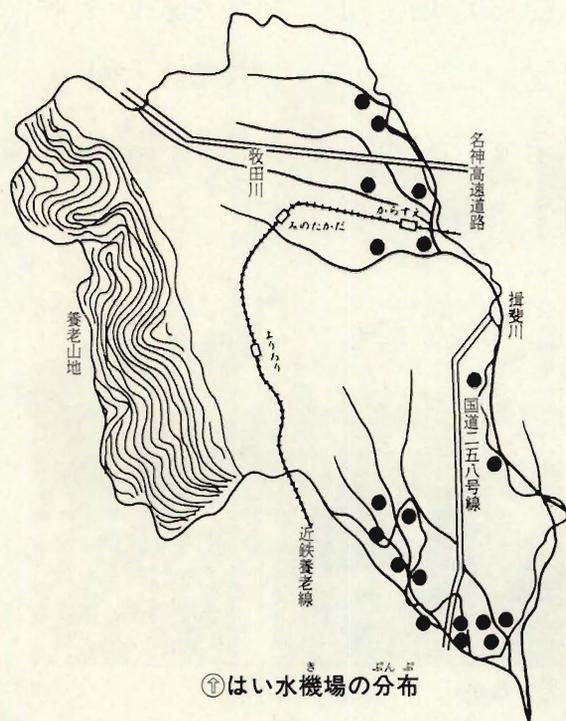


①じょれん

## こう地の変化

しゅんせつ船が川底を<sup>そこ</sup>さらえ、太いパイプからはき出された土やすなが「ほりつぶれ」や池をうめ立てていきます。

各地で昭和29年から44年にかけて行われた、土地改良<sup>かいく しょうわ</sup>によって、こう地が整理<sup>せい</sup>され、水はけがよくなり、農業<sup>のうぎょう</sup>のしかたは大きく<sup>か</sup>変わって<sup>い</sup>きました。



①しゅんせつ船



①はい水機場

## かわってきた農業のようす

池や「ほりつぶれ」をうめたててできた広い土地は、<sup>きかい</sup>機械をつかった<sup>のうぎよう</sup>農業がやりやすいように同じ形に分け、どの田畑にも道や水路がつけられました。

米づくりでは<sup>がた</sup>大型の<sup>きかい</sup>機械がとり入れられたり、ヘリコプターで<sup>のうやく</sup>農薬をまいたりするようになりました。

水はけのよくなった畑では、あたたかい<sup>こう</sup>気候を利用して、<sup>おん</sup>温室やビニールハウスでトマト・イチゴなどの<sup>さい</sup>野菜をつくるようになり、<sup>なごや</sup>名古屋、<sup>おおさか</sup>大阪、<sup>ほくりくほうめん</sup>北陸方面へ送られています。



①田植え



①いねかり



①広がる水田



①ビニルハウス

## 水害と今の私たち

人びとのちのちの努力によって、輪中に生きる私たちは安心して生活できるようになりました。しかし3つの大きな川に囲まれた低地に住むかぎりわすれてはならないことは、水害へのそなえです。昭和51年9月12日の安八町の大水害が、私たちにそれを教えてくれました。私たちひとりひとりが、水のおそろしさをわすれてはならないのです。



①水ぼう倉庫



②水ぼう訓練



③9.12水害



④牧田川堤防の欠かい



# 養老町のうつりかわり年表

せいれき	年号	で	き	ご	と									
1871	明治 4	みののくに	ぎふ		美濃国は岐阜県となる。									
		きめんざんたに	ごろう	な	鬼面山谷五郎が亡くなる。									
1872	5				高田ゆうびんとりあつかい所ができる。									
1873	6				各地に小学校ができる。									
1877	10				養老などに人力車 <small>ふ</small> が増えはじめる。									
1880	13				養老公園ができる。									
1889	22	かみ	たど	さんごう	ふなつけ	おぼた	たぎ	高田村、養老村、上多度、三郷村、船着村、小畑村、多岐村、						
		ひよし						日吉村、下多度村などができる。						
1891	24	のう	び					濃尾大しんさいがおこる。						
1893	26	こう	ずい					大洪水がおきる。						
1897	30	た	ぎ	ぐん		ぐん		多芸郡、上石津郡ががっぺいして養老郡になる。						
1908	41			なお	え	わた		高田橋がかけられる。直江の渡しはしだいにおとろえる。						
1913	大正 2	てつ	どう	いけ	の	かいつう		養老鉄道（養老～池野間）が開通し、汽車が行き来する。						
1919	8		てい	き				時・高田の間に定期バスが通るようになる。						
1928	昭和 3	さい	しよ	しゅう	ぎ	いん	せん	きよ	最初の衆議院選挙が行われ、佐竹直太郎氏が当選する。					
1932	7							リヤカーが広まる。						
1934	9							多芸橋が現在のコンクリート橋になる。						
1938	13	いま	お	かん	せい	いま	お	わた	今尾橋が完成する。今尾の渡しがなくなる。					
1941	16	たい	へい	よう	せん	そう			太平洋戦争がはじまる。小学校は国民学校と名をあらためる。					
1947	22			しん	せい		ほつ	そく	国民学校が小学校になる。新制中学校が発足する。					
1950	25	く	い	せ		かん	せい		牧田川、杭瀬川の分流工事が完成する。					
		から	す	え		かん	せい		木橋の烏江橋が完成する。					
1953	28	ほう	そう						テレビ放送がはじまる。					
1954	29			が	っ	べい		ほつ	そく	9カ町村が合併し、養老町が発足する。				
1957	32			しやう	ぼう	だん			養老町消防団ができる。					
1959	34	ごう		い	け	べ	ね	こ	じ	てい	ぼう	集中豪雨により池辺、根古地堤防が切れる。		
		い	せ	わん								伊勢湾台風により再び切れる。		
1960	35	かん	い				お	お	ま	き	こ	つ	ぼ	町営簡易水道ができる。（下笠、大場、大巻、小坪）
1961	36			ほ	そう									町道の舗装がはじまる。
1965	40			こう	みん	かん								養老町中央公民館ができる。

せいれき	年号	で き ご と
1966	41	養老簡易水道が完成する。
1971	46	養老町役場が新しく建てなおされる。 台風23号が養老山系に大きな被害をもたらす。
1973	48	養老町民憲章ができる。
1974	49	養老町の木が「ツゲ」と決定される。
1975	50	南濃清掃センターができる。 養老大橋が完成し、国道258号が開通する。 養老町の花が「キク」と決定される。
1976	51	養老町の人口が30,000人をこえる。 台風17号が各地に被害をもたらす。
1978	53	第1回養老町体育大会が開かれる。 養老町福祉センターができる。 養老町中央公民館が新しくなる。
1979	54	西南濃カントリーエレベーターが完成する。 養老町史ができる。
1980	55	県こどもの国がオープンする。 中央公園野球場がオープンする。
1982	57	総合体育館ができる。 老人福祉センターができる。
1985	60	菊水泉が名水百泉に選ばれる。 新今尾橋が開通する。
1988	63	南濃・関ヶ原線が開通する。 世界れんげ祭りが養老町で開かれる。 保健センターがオープンする。 町営笠郷テニスコートがオープンする。
1989	平成元	養老ふるさとフェスティバルが開かれる。
1990	2	養老の滝が滝百選に選ばれる。 養老パークゴルフ場がオープンする。 台風19号のために牧田川（烏江付近）の堤防が切れる。
1991	3	養老町民会館がオープンする。
1993	5	国際学習会館ができる。

# 上石津町のうつりかわり年表

せいき	年号	で き ご と
1873	明治 6	各地に小学校ができる。
1874	7	<sup>みや</sup> 宮村ゆうびんきょく・ <sup>まさだ</sup> 牧田ゆうびんきょくができる。
1891	24	<sup>のうび</sup> 濃尾大しんさいがおこる。
1897	30	<sup>たぎん</sup> 多芸郡、 <sup>ぐん</sup> 上石津郡ががっぺいして <sup>ぐん</sup> 養老郡になる。
1904	37	<sup>みや</sup> 宮村ゆうびんきょくが <sup>たら</sup> 多良ゆうびんきょくになる。
1916	大正 5	<sup>とき</sup> 時村ゆうびんきょくができる。
1923	12	多良自動車かぶ式会社ができる。 <sup>きょう</sup> 多良峡の道路工事が行われる。
1935	昭和 10	時～高田、時～ <sup>せきがほら</sup> 関ヶ原をバスが走るようになる。
1945	20	<sup>そかいじどう</sup> 疎開児童が多くなる。
1946	21	<sup>いちのせ</sup> 一之瀬ゆうびんきょくができる。
1955	30	牧田村・一之瀬村・多良村・時村ががっぺいして上石津村となる。
1956	31	<sup>ちやえん</sup> 茶園がつくられるようになる。
1958	33	多良小学校ができる。 多良・時に <sup>せいちゃ</sup> 製茶工場ができる。
1959	34	<sup>にしやまぶんこう</sup> 西山分校が多良小学校に <sup>とうごう</sup> 統合される。 <sup>いせわんたいふう</sup> 伊勢湾台風で、 <sup>そんない</sup> 村内のおもな橋のほとんどが <sup>はし</sup> 流される。
1961	36	<sup>ほいくえん</sup> 時保育園ができる。
1962	37	村内の県道のほそ工事がはじまる。
1964	39	すべての学校で完全給食がおこなわれるようになる。
1965	40	全村に水道が完成する。
1968	43	一之瀬農協と牧田農協ががっぺいして牧田川農協となる。
1969	44	上石津町になる。 多良農協と時農協と時山農協ががっぺいして上石津農協となる。
1970	45	県道 <sup>なんのう</sup> 南濃～ <sup>かいつう</sup> 関ヶ原線が開通する。
1971	46	牧田保育園ができる。
1972	47	時山小学校が時小学校に統合される。
1973	48	青少年プールができる。 時小学校にプールができる。 第1回町民体育大会がおこなわれる。

せいれき	年号	で き ご と
1974	49	「ひのき」が町の木に、「しゃくなげ」が町の花に決まる。 中央 <small>こうみんかん</small> 公民館ができる。
1975	50	県道四日市～関ヶ原線が国道365号となる。 上石津中学校 <small>かいこう</small> が開校する。 ごみの収 <small>しゅうしゅう</small> 集 <small>じぎょう</small> 事 <small>じ</small> がはじまる。
1977	52	上石津グリーンランドができる。 しゅうぎょう改善 <small>かいぜん</small> センターができる。
1979	54	養老町消 <small>しょうぼう</small> 防 <small>ぼん</small> 本部 <small>ぶ</small> 上石津消 <small>しょう</small> 防 <small>ぼう</small> 署 <small>しや</small> 庁 <small>ちやう</small> 舎 <small>しゃ</small> ができる。
1980	55	牧田小学校 <small>たいいくかん</small> に体育館 <small>たいいくかん</small> ができる。 牧田かんい水道改 <small>かいりやう</small> 良 <small>じぎょう</small> 事 <small>じ</small> 業 <small>ぎやう</small> が終 <small>しゆう</small> わ <small>わ</small> る。
1981	56	上石津中学校にプールができる。
1982	57	緑の村公園がオープンする。
1983	58	町保 <small>ほけん</small> 健 <small>けん</small> センターができる。 農村環 <small>かんきやう</small> 境 <small>きやう</small> サ <small>さ</small> ブ <small>ぶ</small> セ <small>せ</small> ン <small>ん</small> タ <small>た</small> ー <small>ー</small> ができる。 一之瀬小学校にプールができる。
1984	59	上石津共済組合と養老町共済組合ががっぺいして養老郡共済組 合となる。 上石津第一トンネルが開通する。
1986	61	町勤 <small>きんろう</small> 労 <small>ろう</small> 者 <small>しゃ</small> 体 <small>たい</small> 育 <small>いく</small> セ <small>せ</small> ン <small>ん</small> タ <small>た</small> ー <small>ー</small> ができる。 上石津診 <small>しんりやう</small> 療 <small>じやう</small> 所 <small>じよ</small> ができる。 上石津トンネルが全線開通する。
1988	63	ウッディドームができる。
1989	平成元	老人福 <small>ふくし</small> 祉 <small>し</small> センターができる。
1990	2	役場の新庁舎ができる。 農村環 <small>かんきやう</small> 境 <small>きやう</small> 改 <small>かい</small> 善 <small>ぜん</small> セ <small>せ</small> ン <small>ん</small> タ <small>た</small> ー <small>ー</small> ができる。
1991	3	町防災無線局ができる。
1992	4	一之瀬大橋ができる。
1994	6	江口夜詩記念館ができる。 上石津町総合体育館ができる。

# 養 老 町



## 養 老 町 民 憲 章

わたしたちの町、養老町は、緑の山、清らかな水に恵まれた歴史の町です。

わたしたちの、この美しいふるさととは、先人のたゆまぬ努力によって伸びつづけてきました。

わたしたちは、愛の輪をさらにひろげ、力をあわせて未来につづく明るい町をつくります。

1. おはよう こんにちは と元気な声  
がわく町にしましょう。

1. 美しい自然の中で カいっぱい働け  
る町にしましょう。

1. おとしよりが 豊かにくらせる町に  
しましょう。

# 上石津町



## 上石津町民憲章

わたくしたちは、清流牧田川で結ばれ、連帯し自立をめざす上石津の町民です。

●上石津町は、豊かな緑と清い水に恵まれ、先人の努力を受けつぎ、限りない繁栄に向かって進んでいる。希望の町です。

●わたくしたちは、この町を愛し、町民相互のつながりを強め、心を合わせて住みよい町づくりをめざすことを誓い、ここに町民憲章を定めます。

「自然を愛し、美しい町をつくります。」

●山のみどりを守り、川をきれいにします。

●道路をきれいにし、花のある町にします。

●環境衛生に気をつけ、住みよくします。

「強い心と体で、明るい家庭の町をつくります。」

●スポーツを楽しみ、体を鍛えます。

●交通安全につとめます。

●思いやりの深い家庭をつくります。

「仕事にはげみ、活気のある町をつくります。」

●仕事に誇りを持ち、生き生きした職場をつくります。

●力を合わせて、生産を高めます。

●進んで、共同作業に参加します。

「きまりを守り、助け合いのある町をつくります。」

●集会の時刻を守り、人に迷惑をかけません。

●あいさつで、明るい心をつなぎます。

●公共物を大切にします。

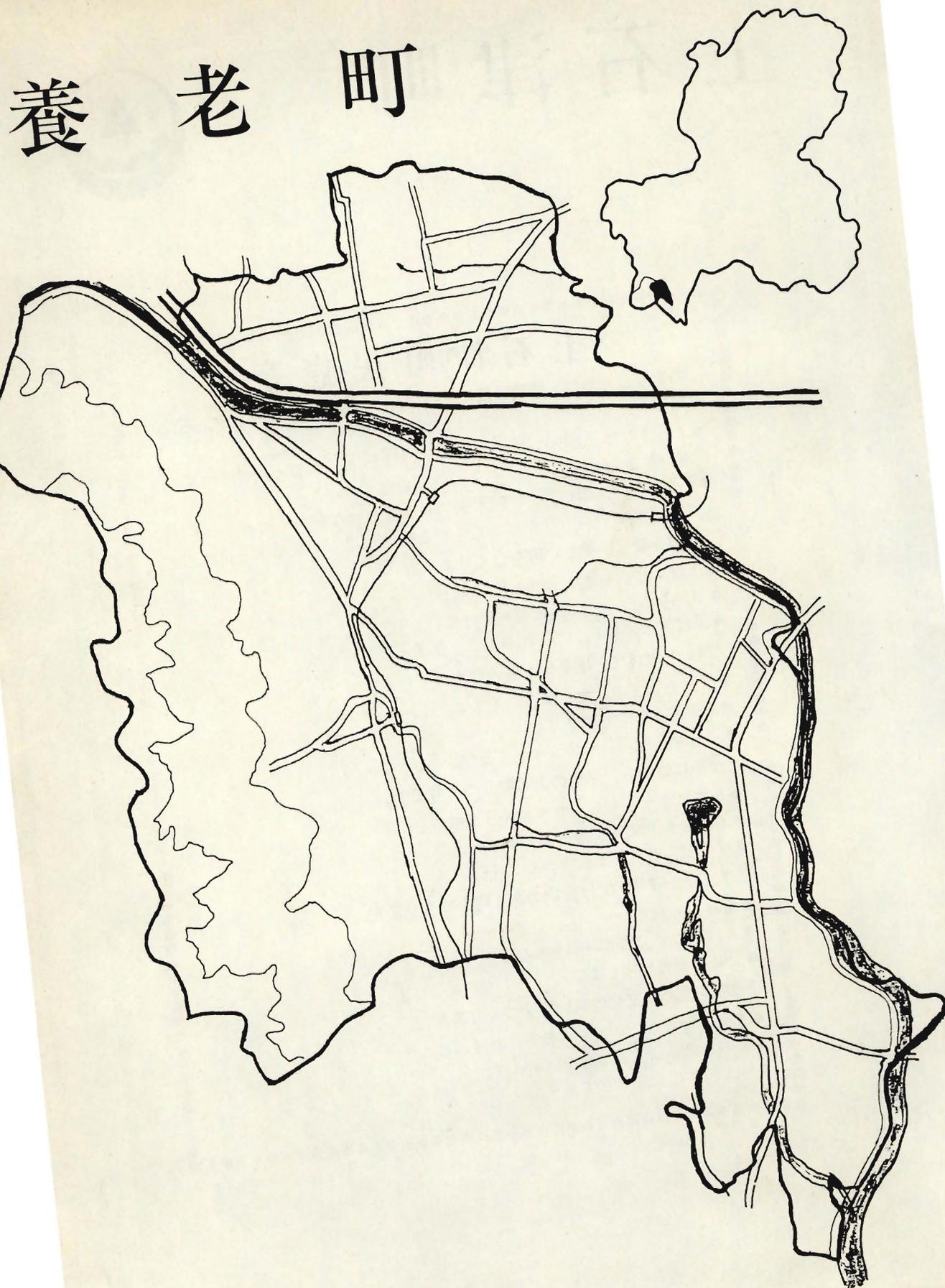
「教養を深め、文化の高い町をつくります。」

●未来をつくる、こどもの教育に力を入れます。

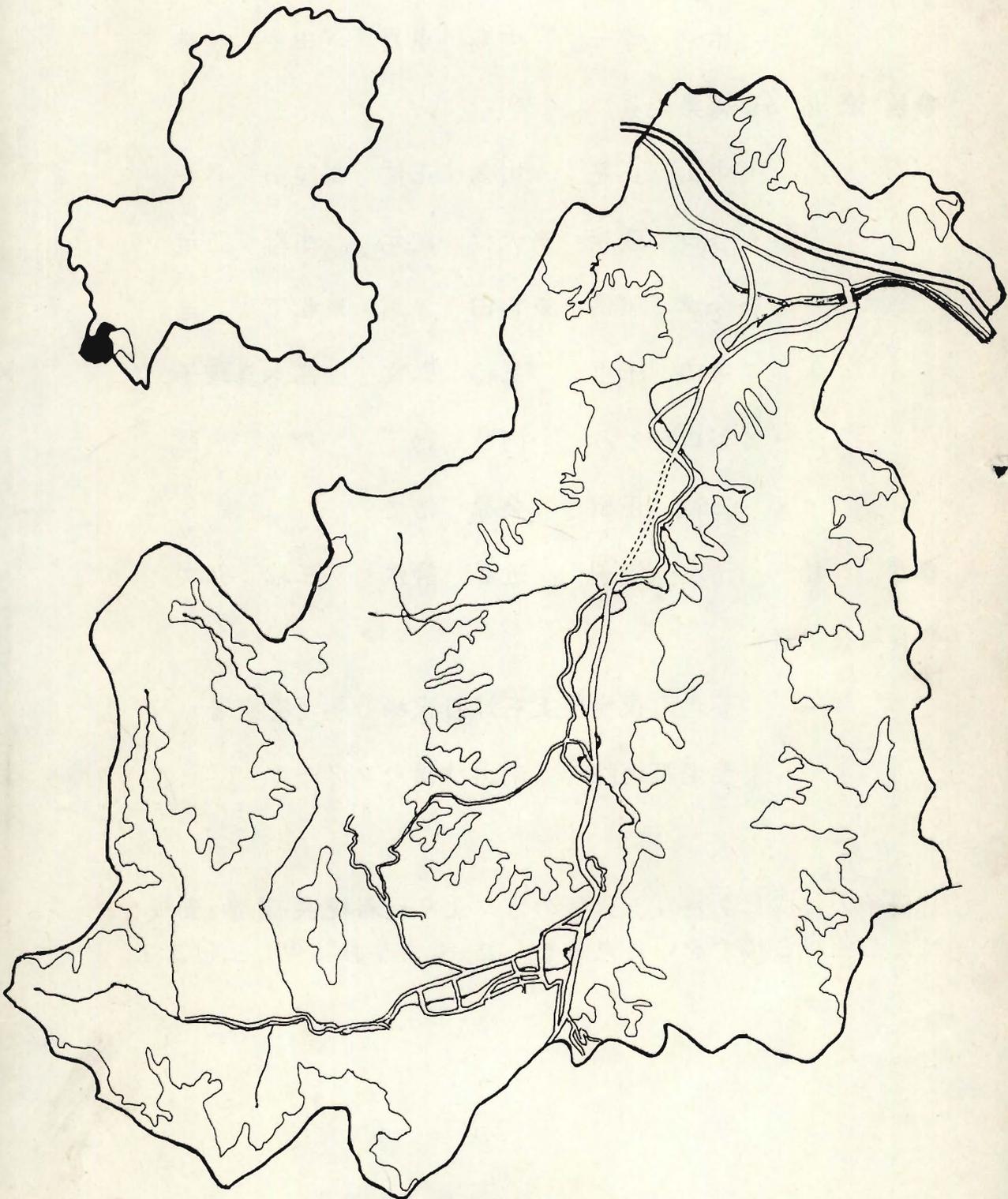
●余暇を見い出し、趣味を深めます。

●郷土の文化を守り育てます。

# 養老町



# 上石津町



# ふるさと養老編纂委員会

◆顧問 広瀬 桂 香村 一好 石井 忠夫  
木戸 孝一 中島 恵男 田中 桂造

◆執筆者（※編集委員）

中山 正晃 川島 正信 ※陸田 孝幸  
※谷口 隆康 ※大橋 紀元 水野 正道  
※今津 雅信 ※吉田 恵 ※松下 達  
栗田 千里 三輪 弘文 高木真理子  
谷口ひとみ 阿藤 勤子 森島 恵照  
三輪 正樹 桑原 信之

◆さし絵 清水 優子 近藤 静代 三輪 弘文

◆資料提供者

養老町役場 上石津町役場 養老警察署  
養老町消防署 南濃清掃センター

冊子の作成にあたり、大勢の方々より資料提供・見学・面談などをご指導ご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

発行 養老郡教育振興会学校教育部会  
編集者 ふるさと養老編纂委員会  
印刷所 サンメッセ株式会社

